

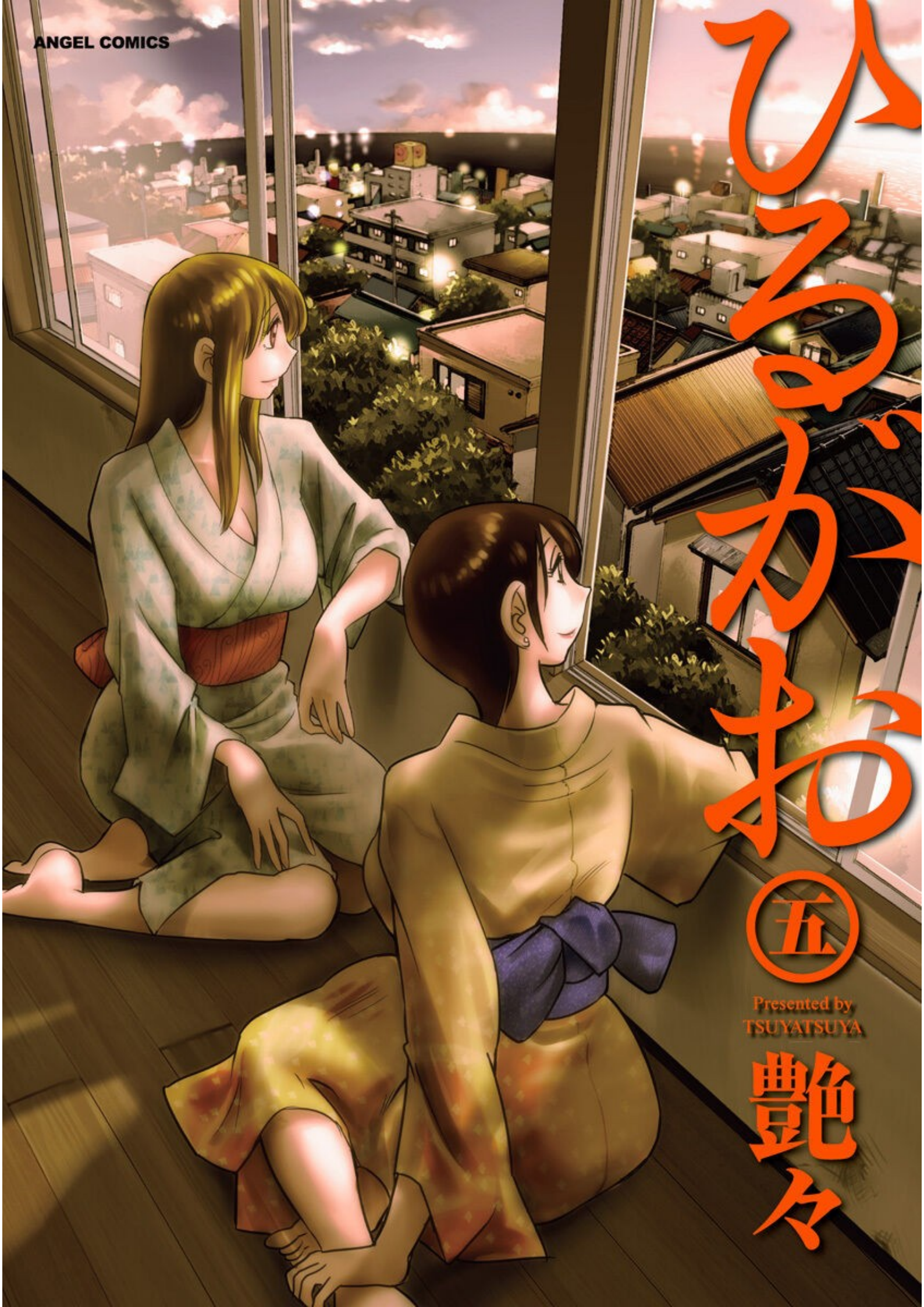
ANGEL COMICS

# ひるがお

⑤

Presented by  
TSUYATSUYA

## 艶々







# ひるがお



Presented by  
TSUYATSUYA

## 艶々



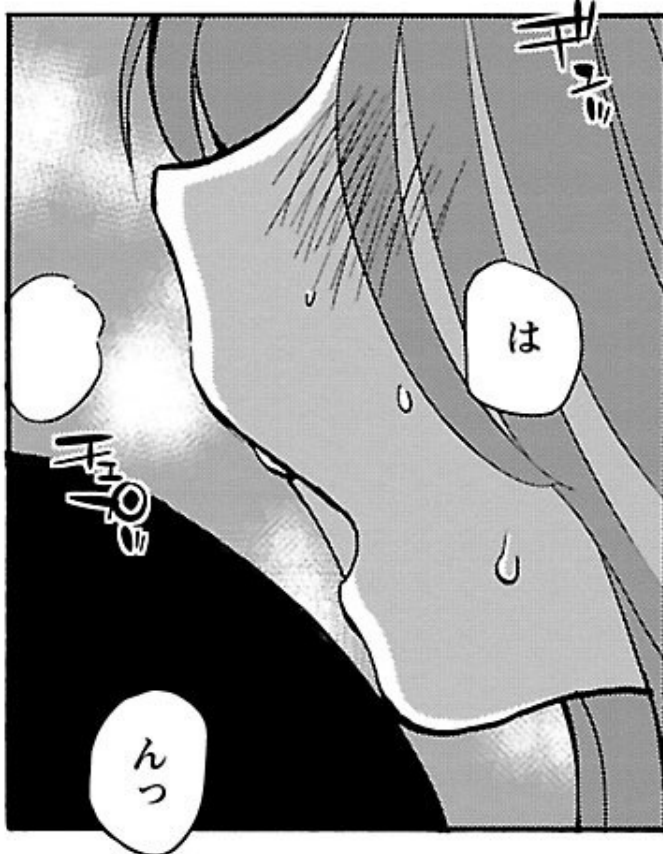
## 目次 CONTENTS

|      |   |      |     |
|------|---|------|-----|
| 第33話 | 姦 | かん   | 5   |
| 第34話 | 生 | おいたち | 25  |
| 第35話 | 血 | つながり | 47  |
| 第36話 | 胚 | たまご  | 67  |
| 第37話 | 籍 | せき   | 89  |
| 第38話 | 時 | とき   | 109 |
| 第39話 | 娘 | むすめ  | 131 |
| 最終話  | 絆 | きずな  | 151 |



第33話 女女 かん









あ...

は

ん

気持ち  
いいのかい  
.....?

んっ

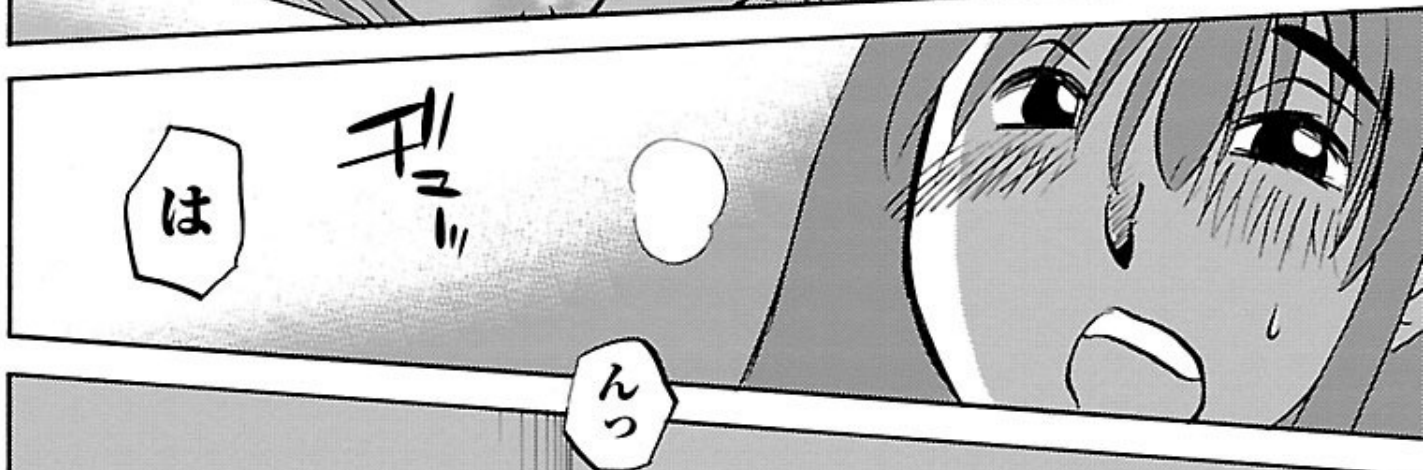
うん





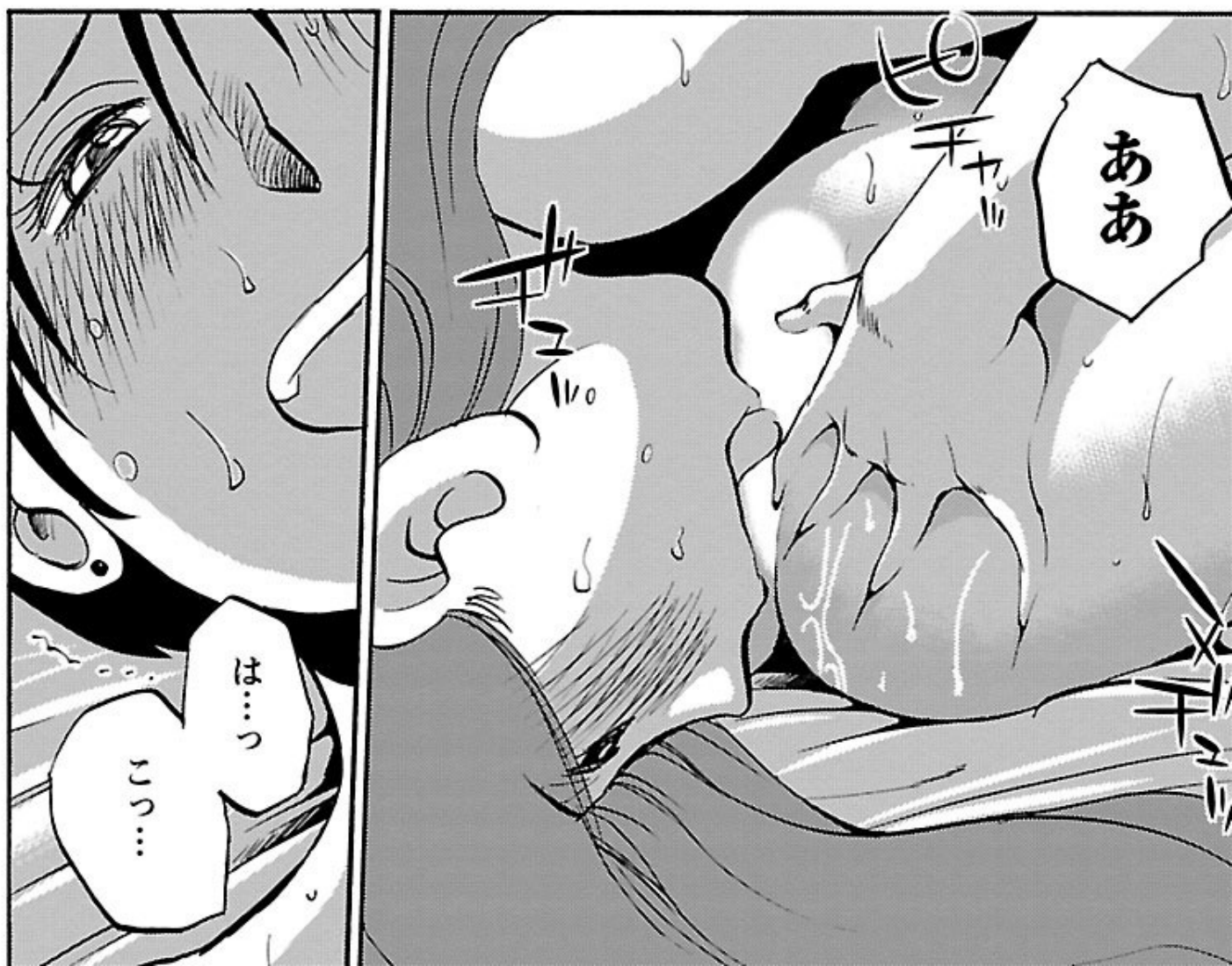




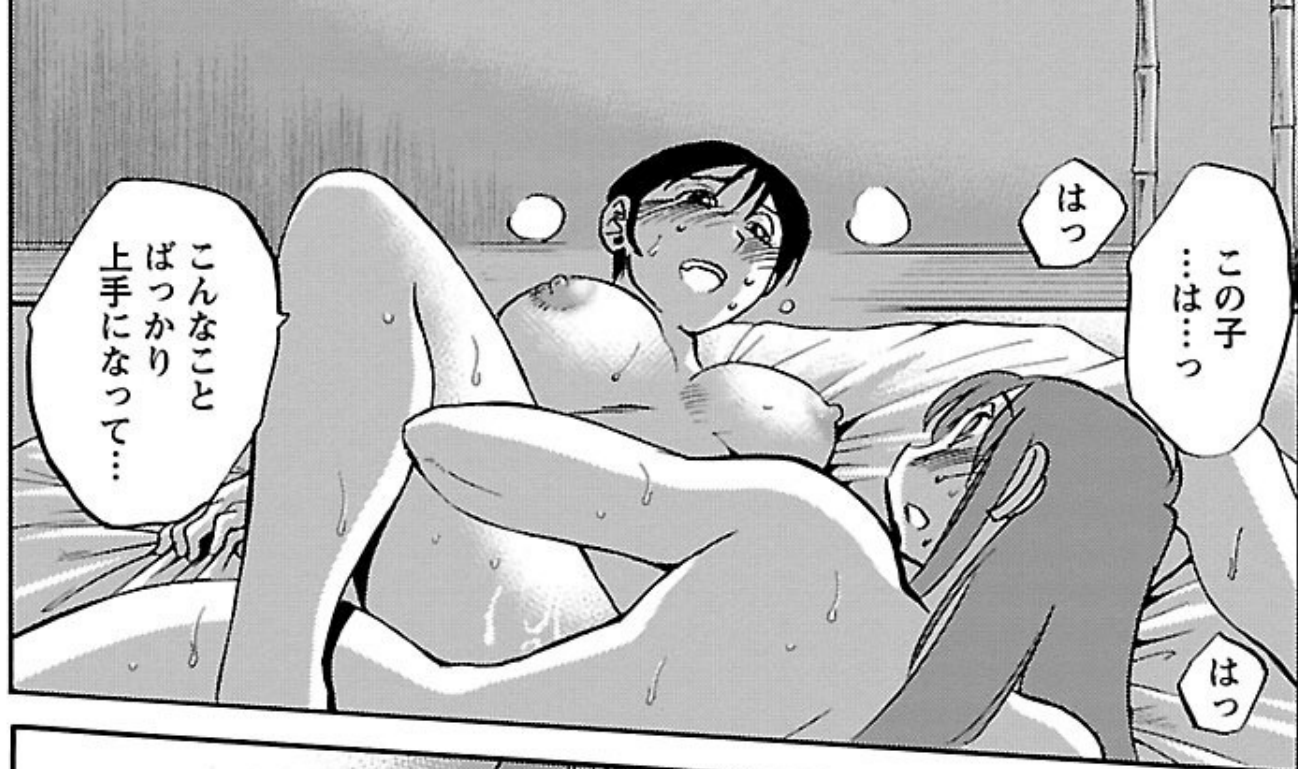
















あ...ッ

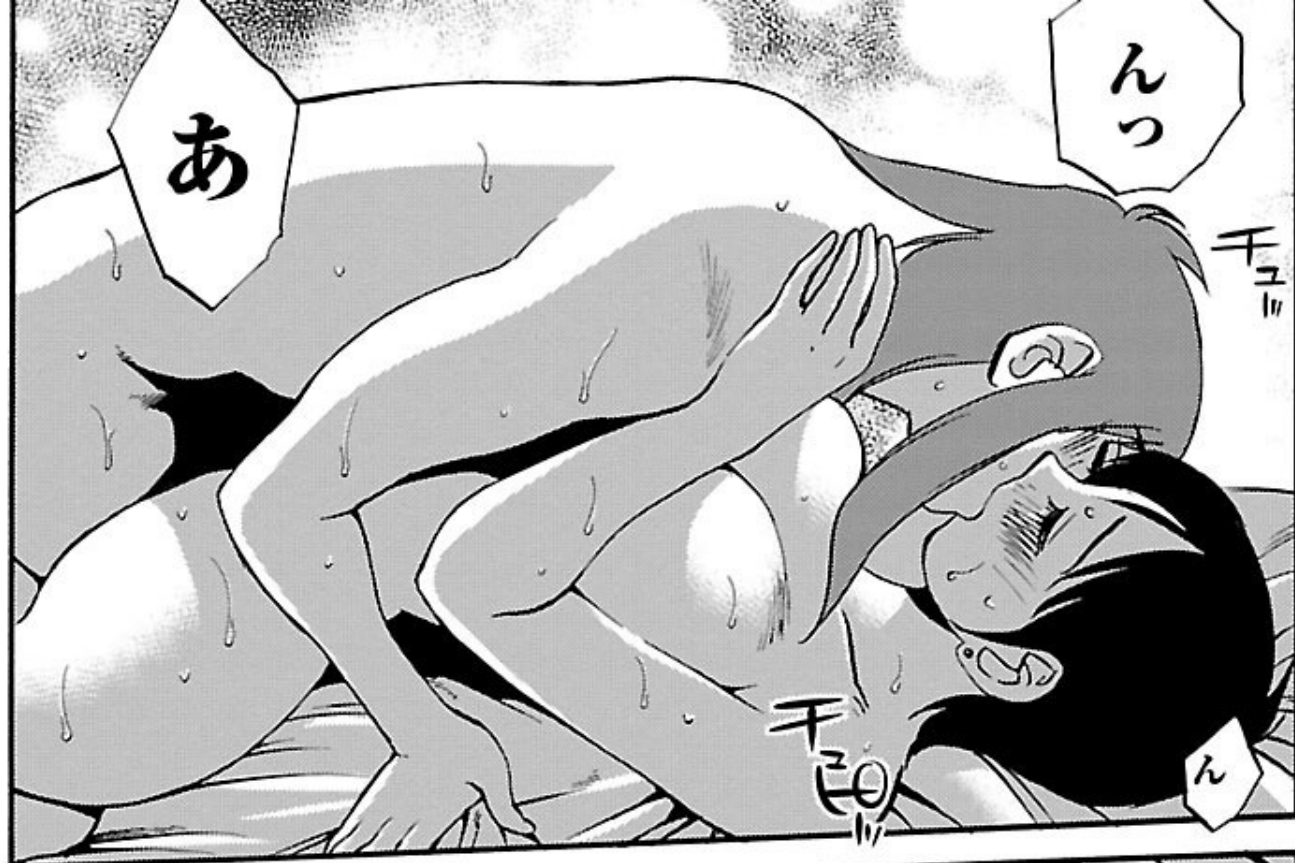
んっ...



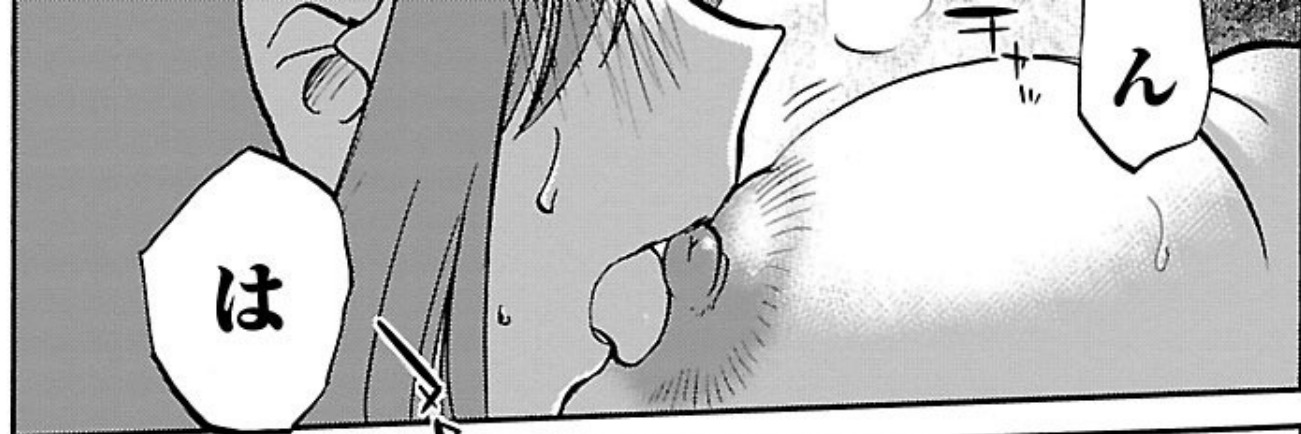
は

あ







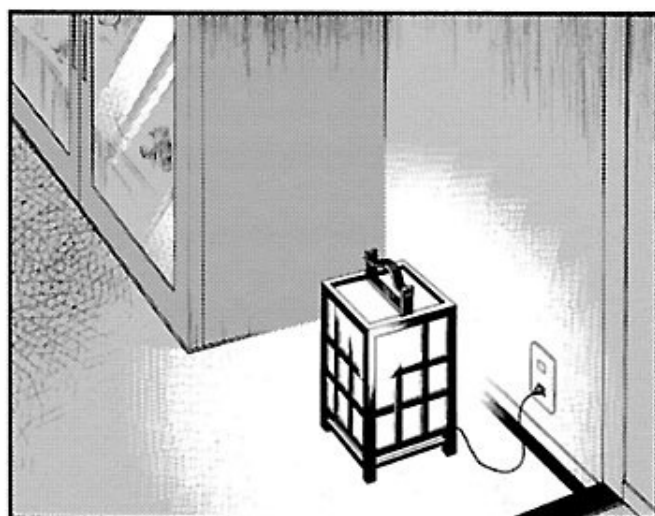
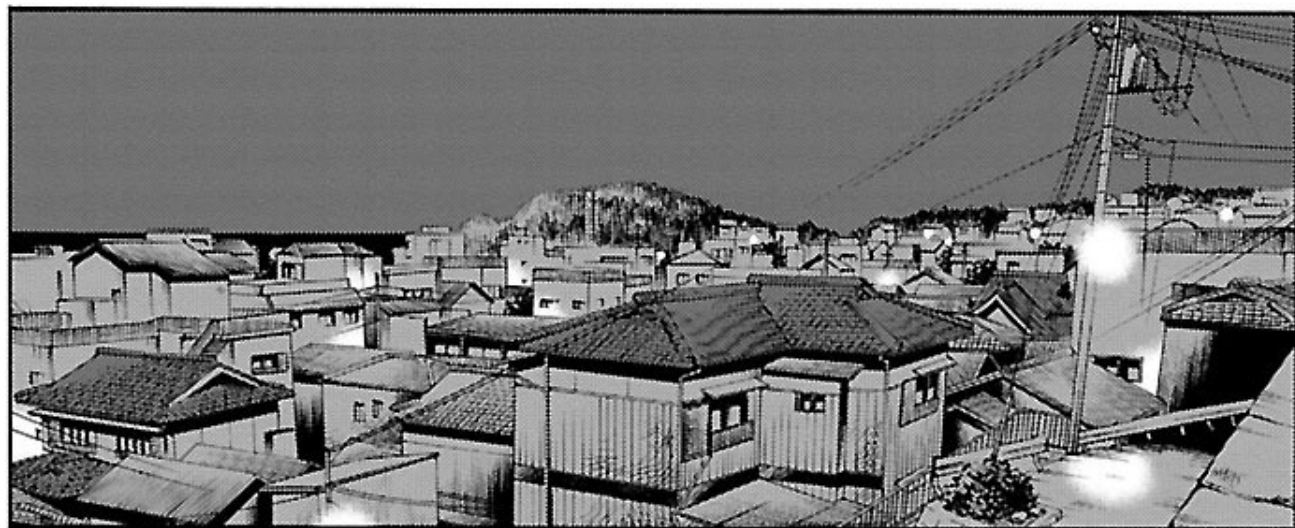


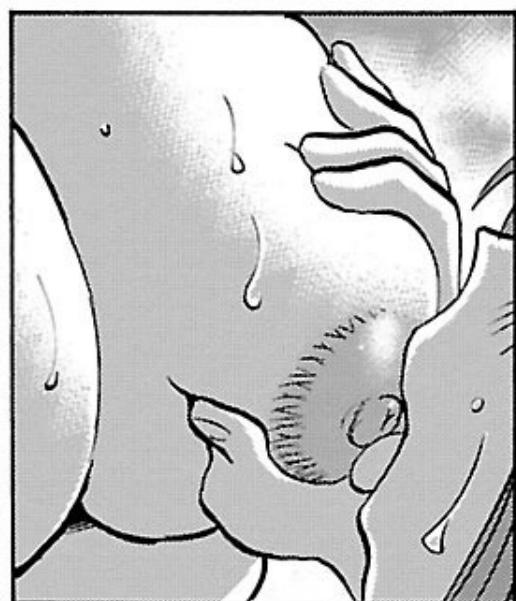
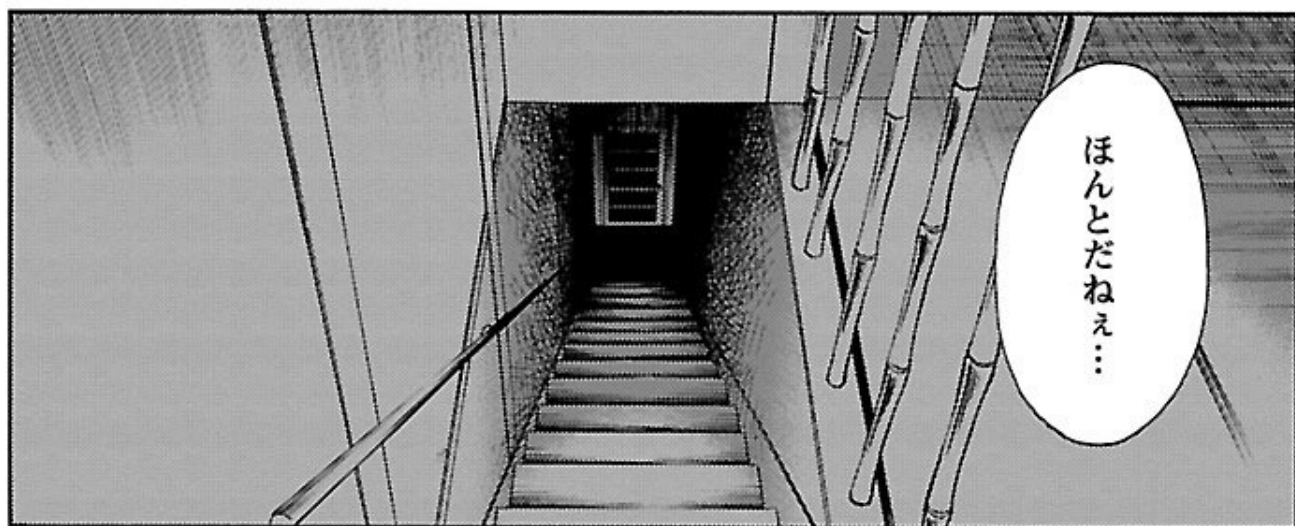






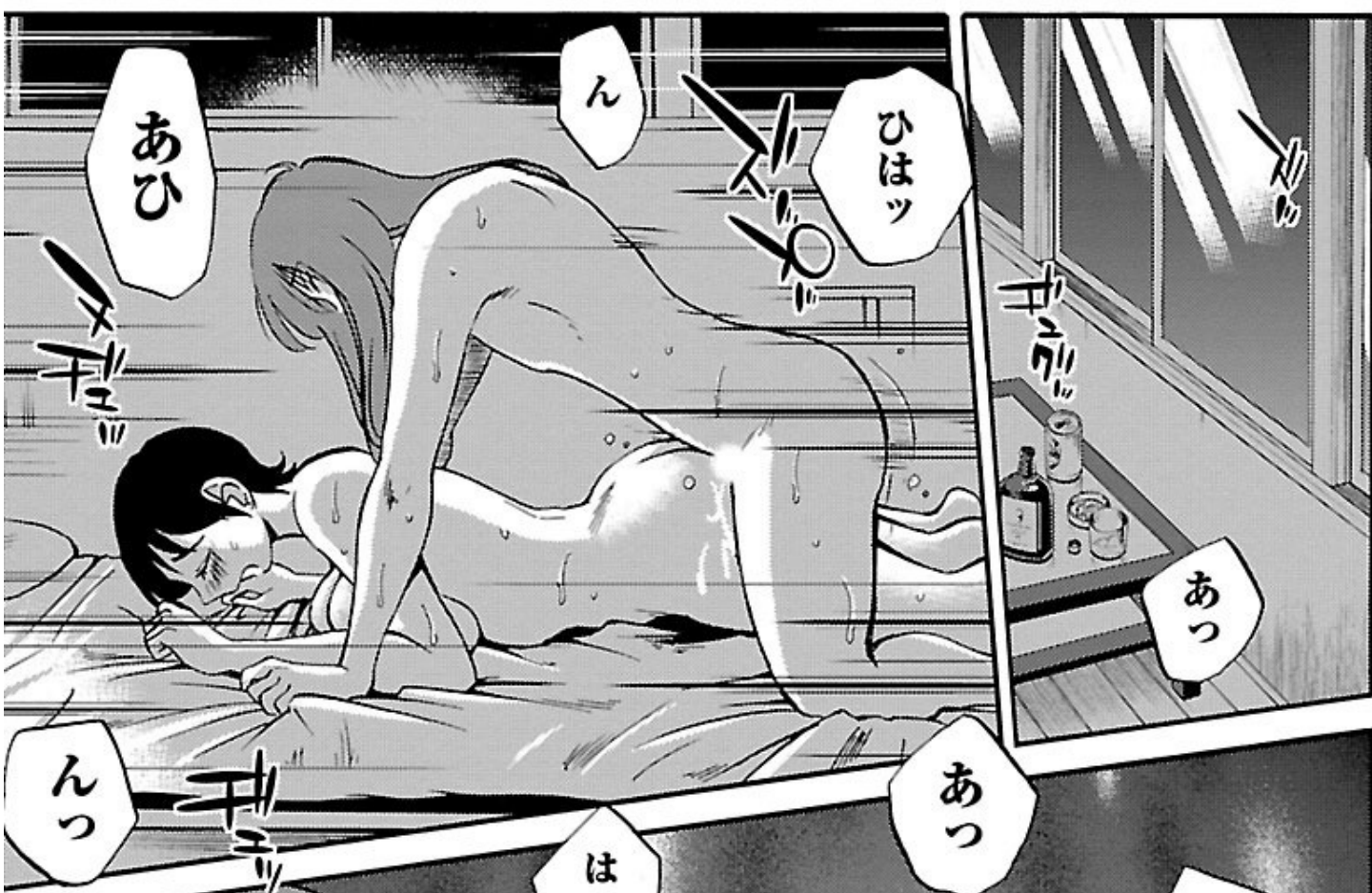
















慰めあっている



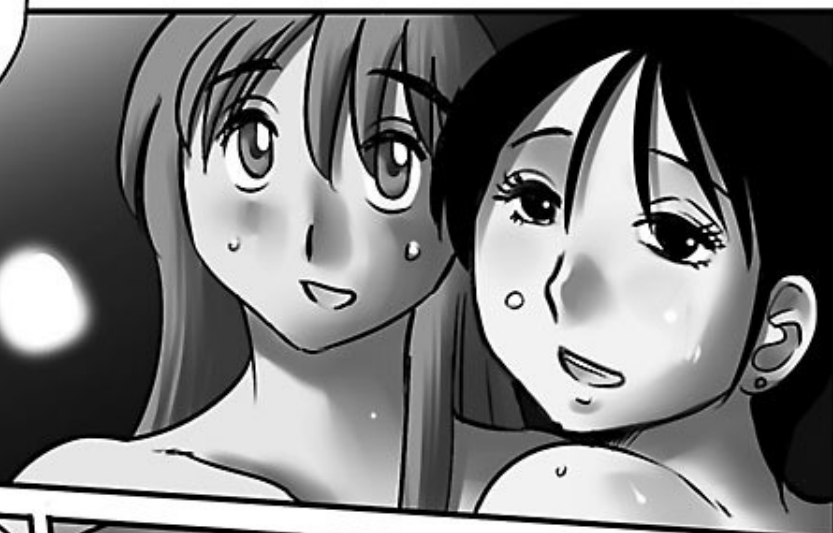




月が…

ほんとだ

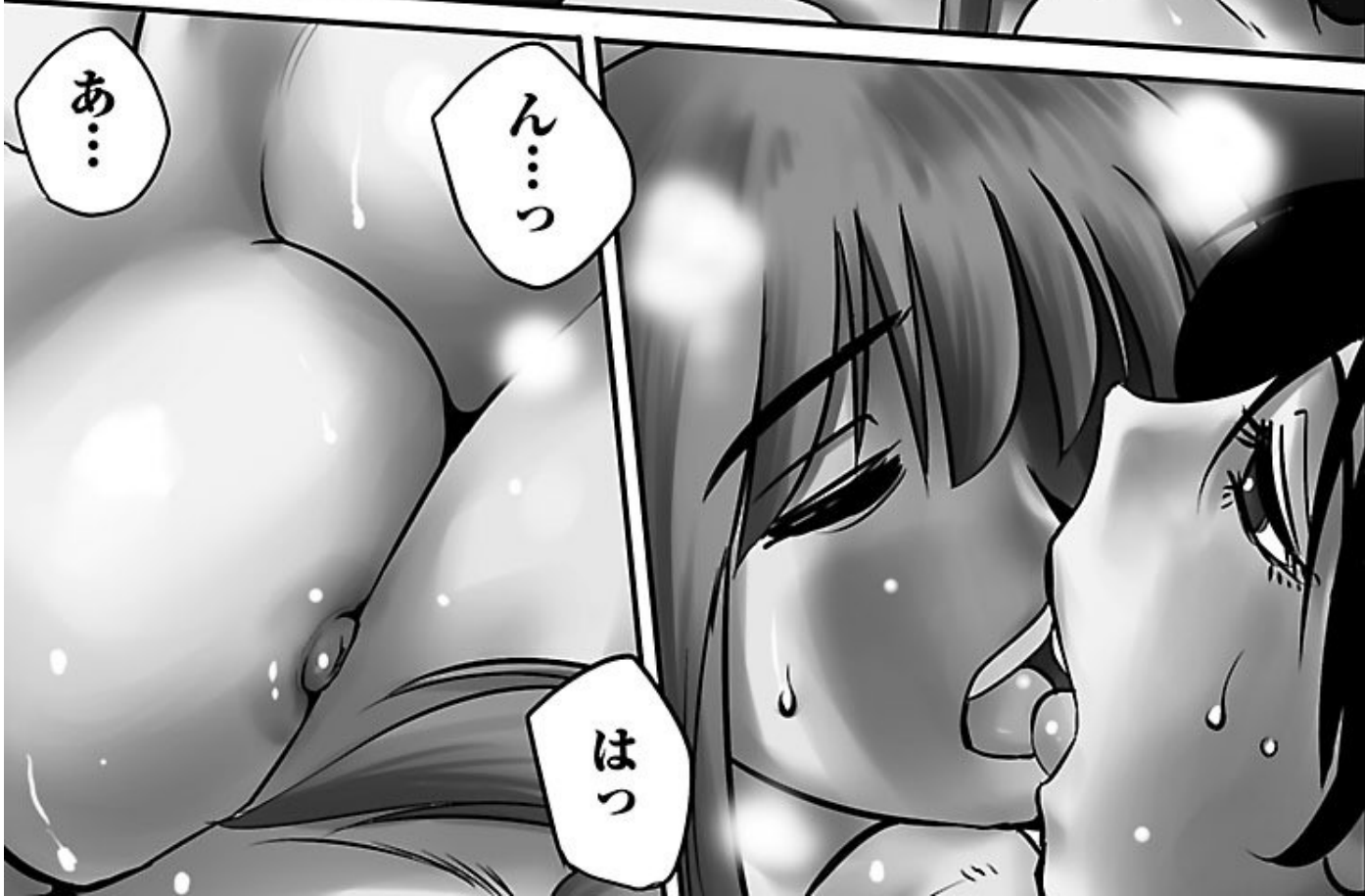
大っきい…



あ…

ん…っ

はっ



第34話 生 おいたち

はっ…

んっ

ん…









はつ

うれしくて  
……こんな  
ふう……に……っ

だつて

はっ

はっ  
あ

はあんつ

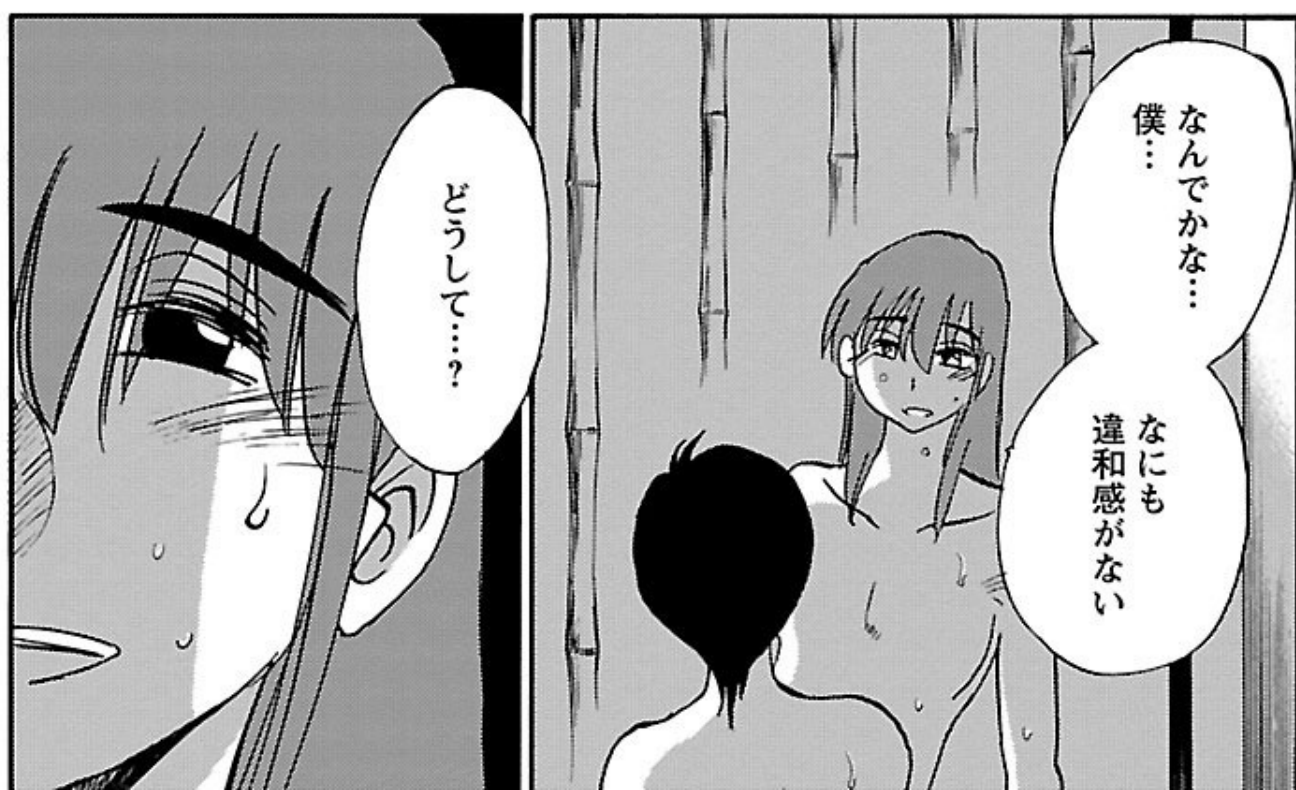
제











どうして  
お母さんは

そんなに  
自然なの？



あのね

はる  
陽……

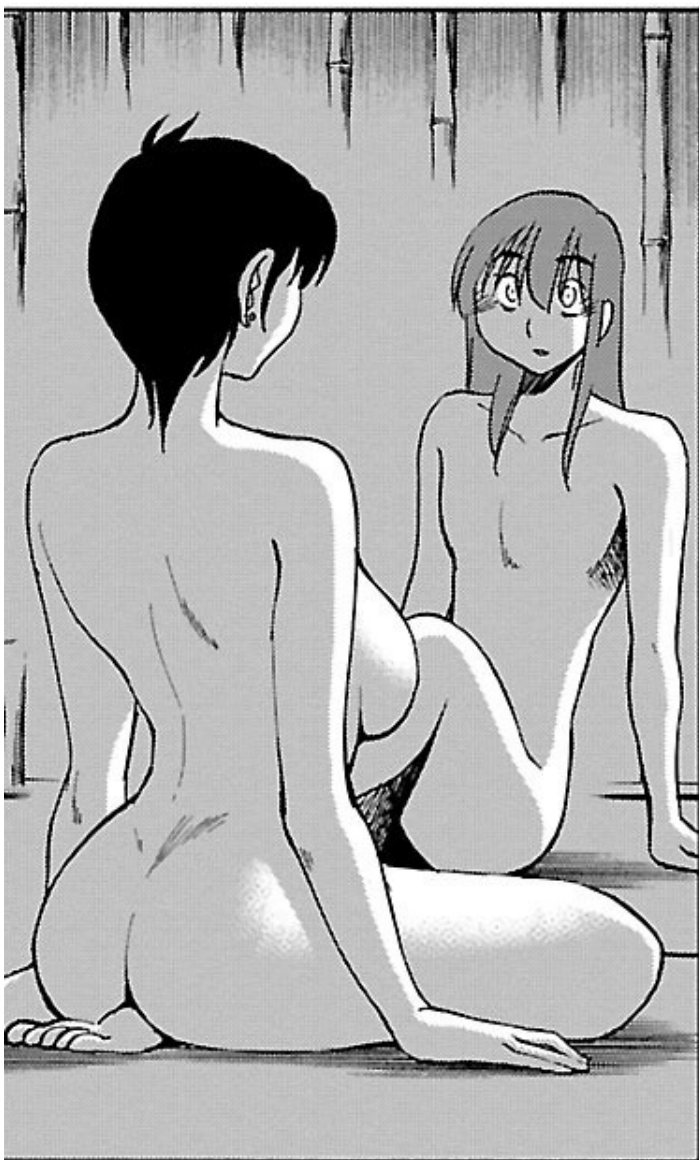
ね

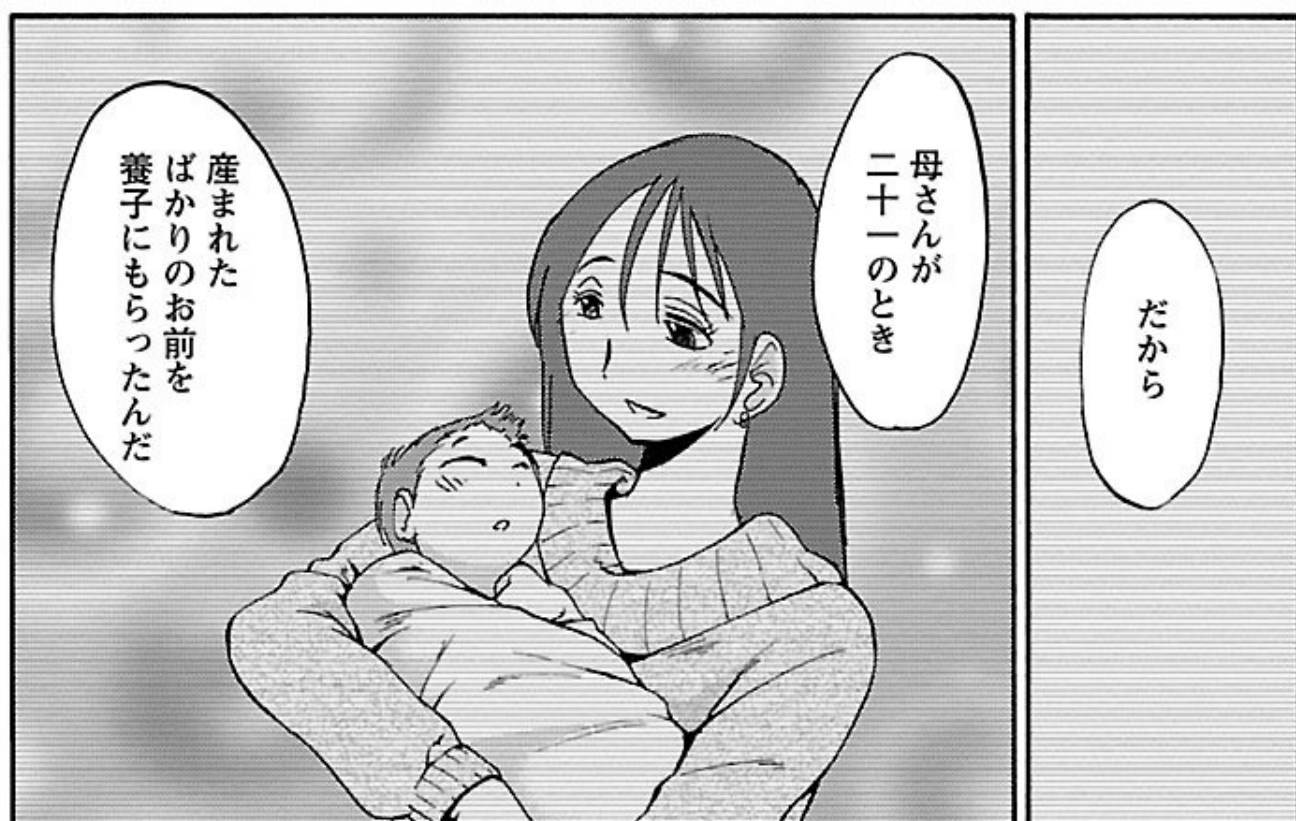


お前は

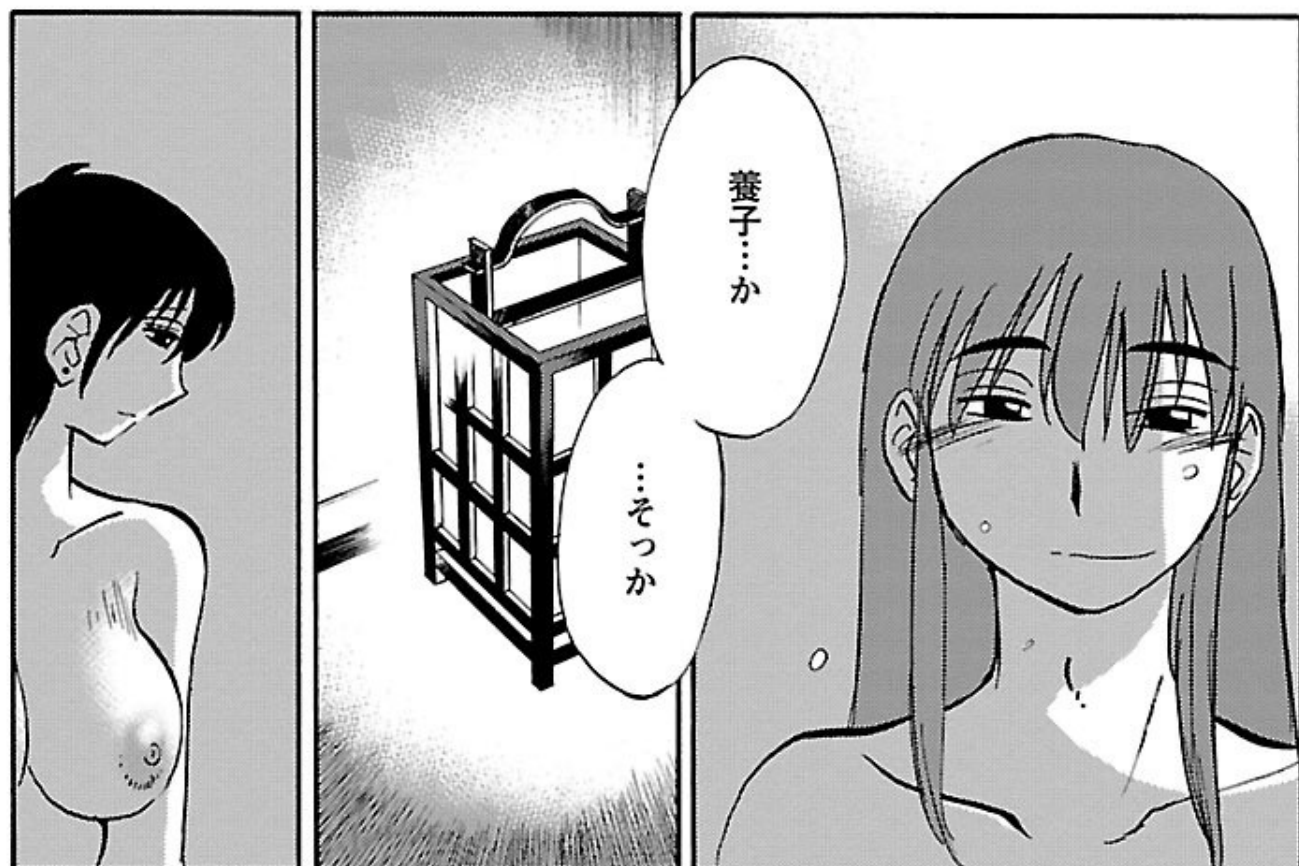
私の産んだ  
子じゃないの











そうでなきや  
僕は

お母さんの  
子供に  
なれなかったん  
でしょ？

だったら  
僕はその  
出会いに  
感謝するよ

今こうして  
関係を  
持ったとしても

ううん  
そうだった  
ことも含めて

こうして  
お母さんと  
一緒に  
いられることが

僕は  
全部  
幸せだよ







それだけが…  
心苦しくて  
さみしかった…



…どうして？



私と  
同じくらい  
お前を愛してる



…僕を  
産んだ  
母親…と



お前を  
産んだ母親と  
そう決めたから

ずっと  
ずっと

お前の  
そばにいた





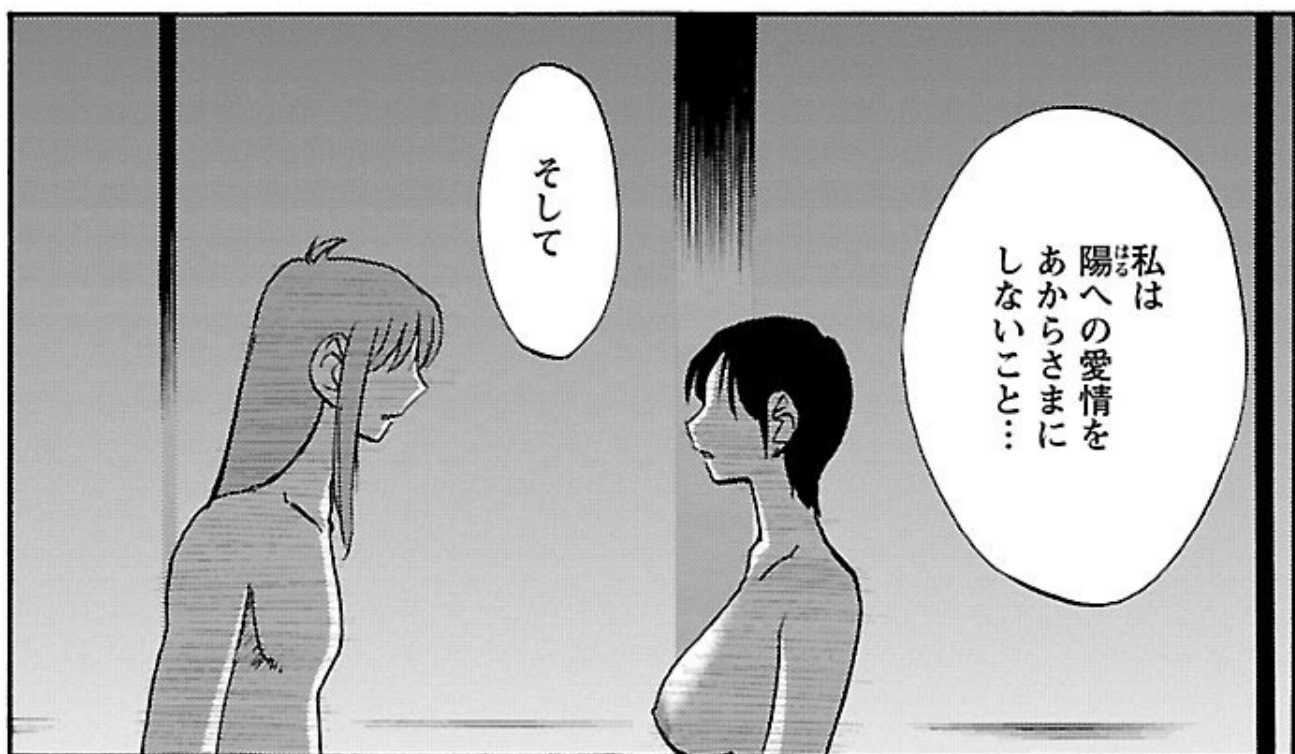
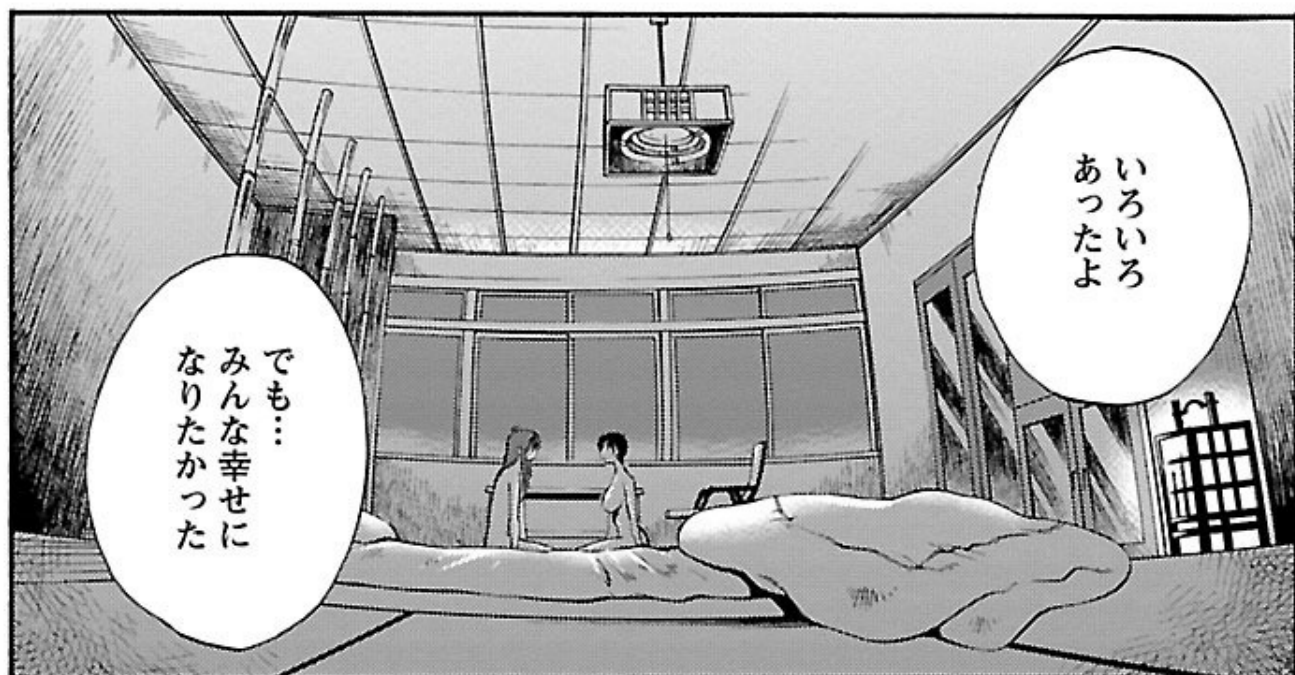
十三のとき  
あの子は  
うちにきて

あやめが…!!

あやめ…!!

十四で  
お前を  
産んだんだ







ひるがお

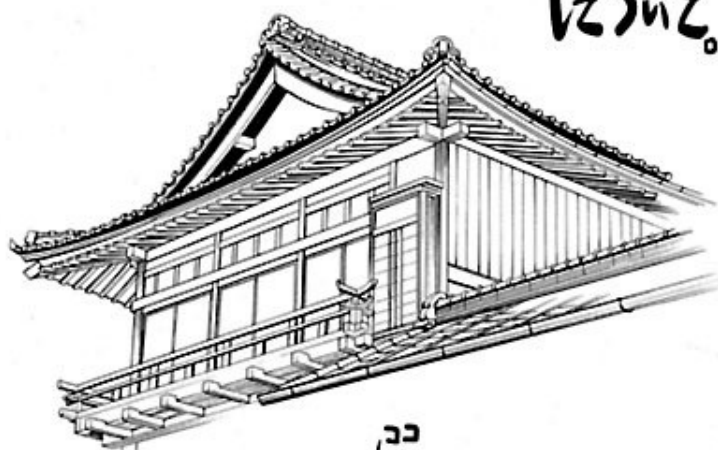
Presented by  
TSUYATSUYA



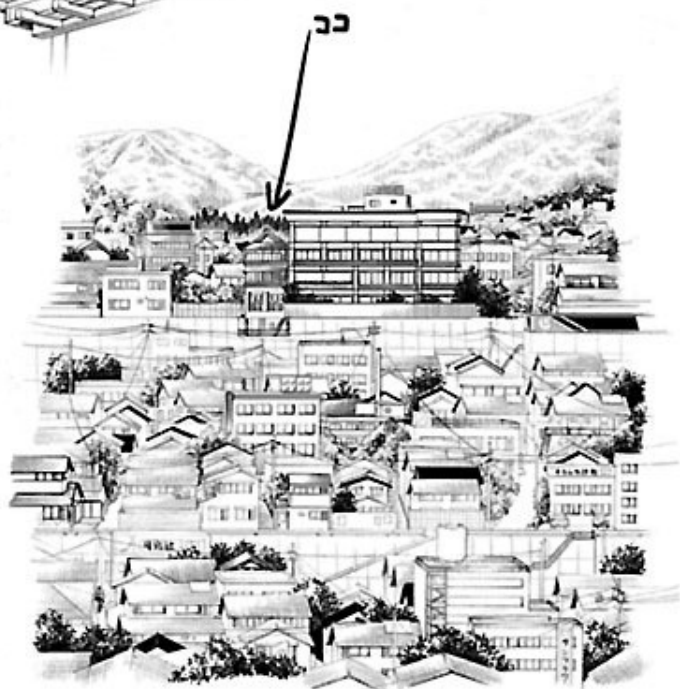
# 天守

にんじ。

本来「天守」というのは城のいちばん  
てっぺんの事なんですが、この旅館の端々  
の家が族や主の棟のことを「天守」と  
呼んでました。見たとおり  
エラうな建つものだったのに誰からとも  
なくそう呼ぶようになった。



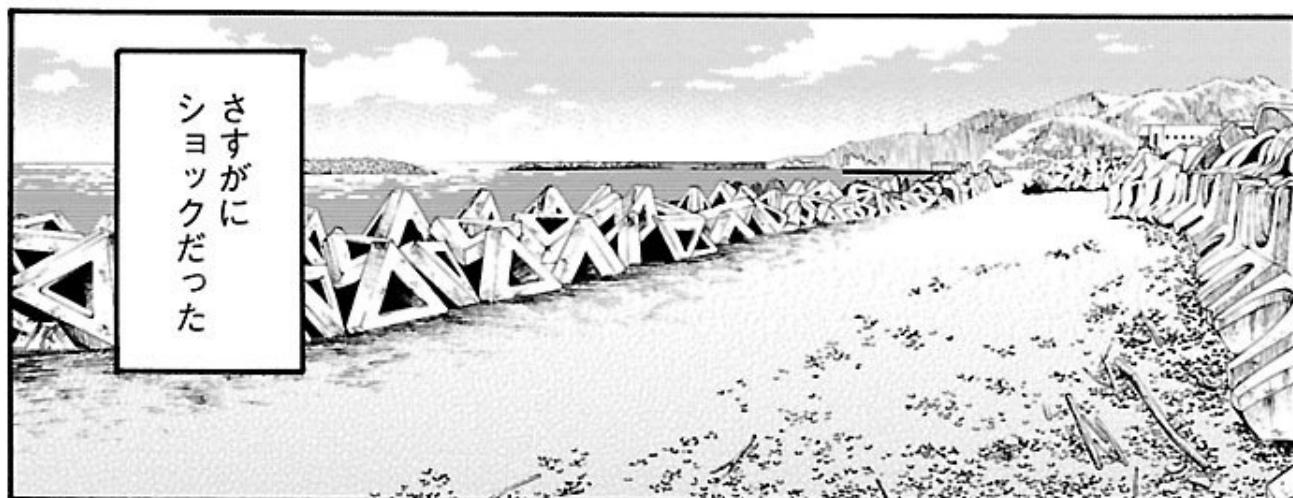
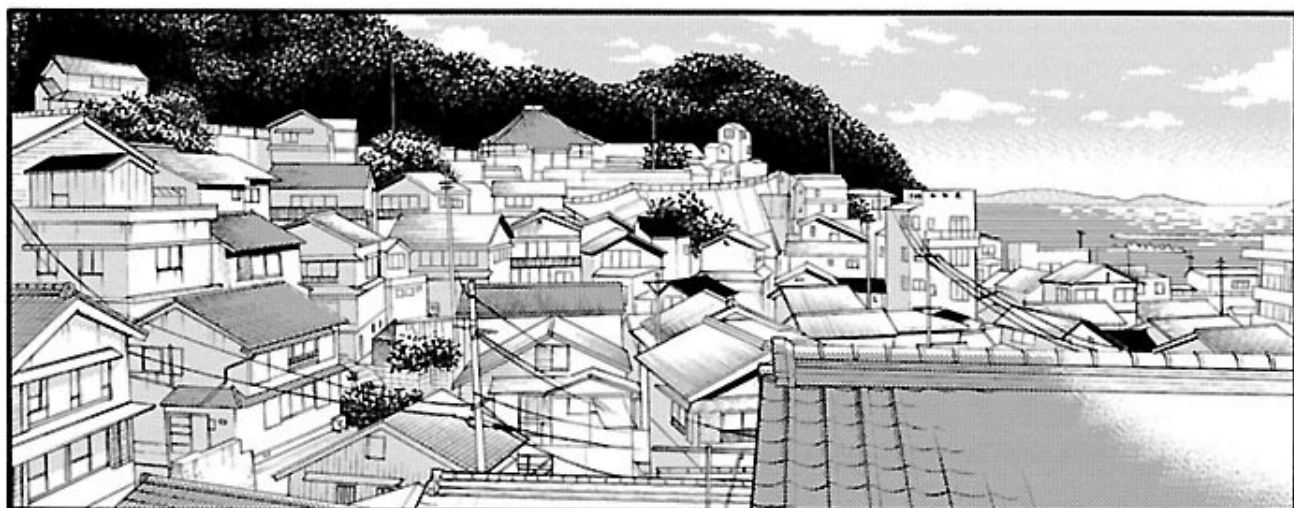
「このマどうする？」  
「天守のアサリで  
……んじやない？」  
とかいう  
使いがた。



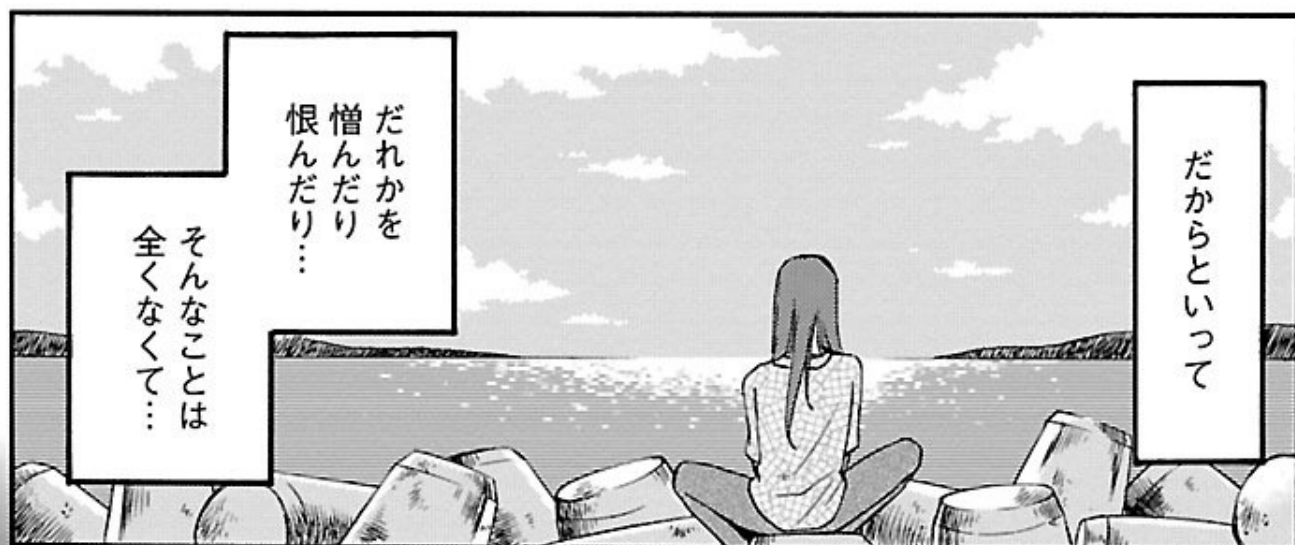
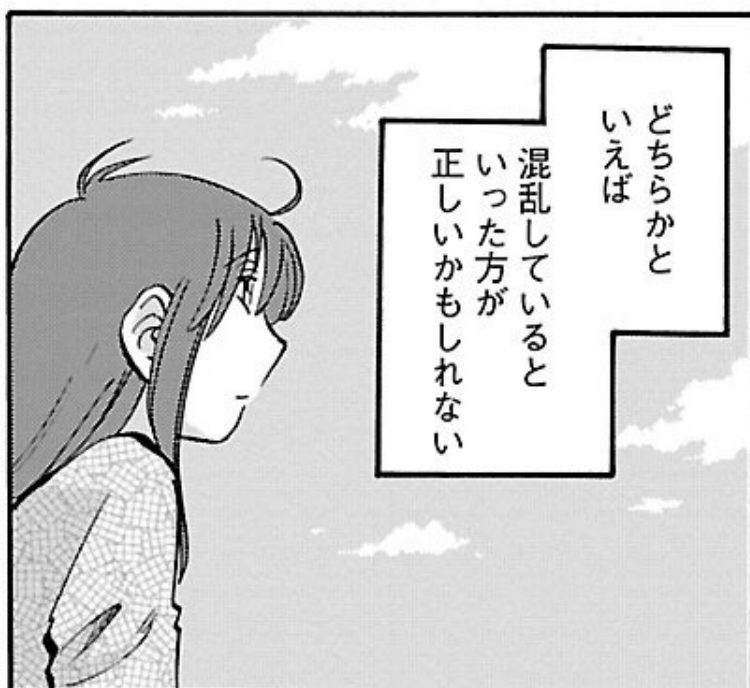
—と、よくお作業中の呼び名だったのに、井ノ口でマアが普通に「天守部屋」と言っちゃった……  
まあ相羽英の中にもき、とそう呼ばれている人でしょう。

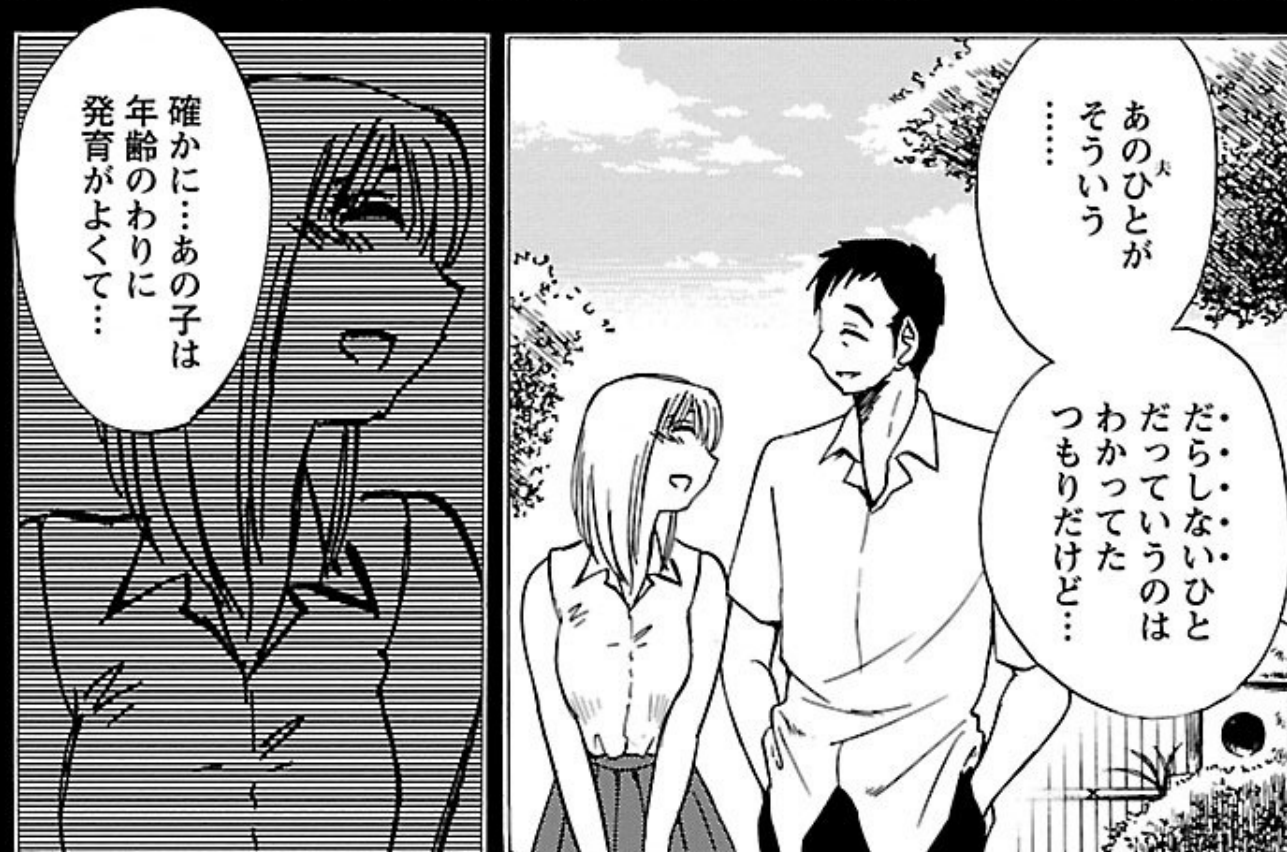
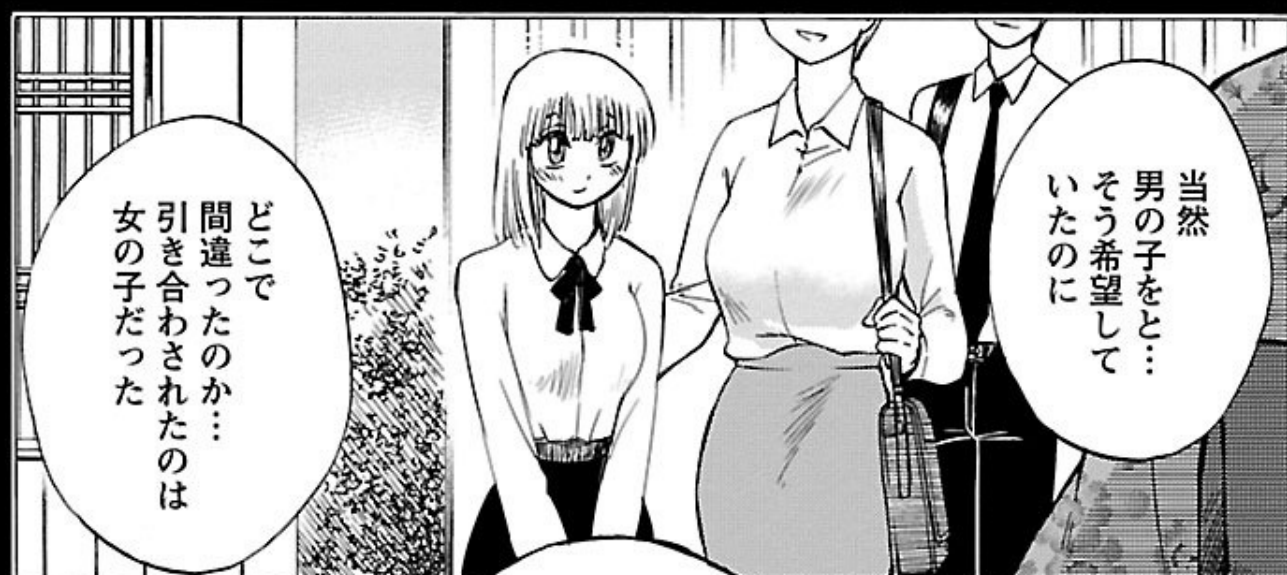


第35話 血 つながり





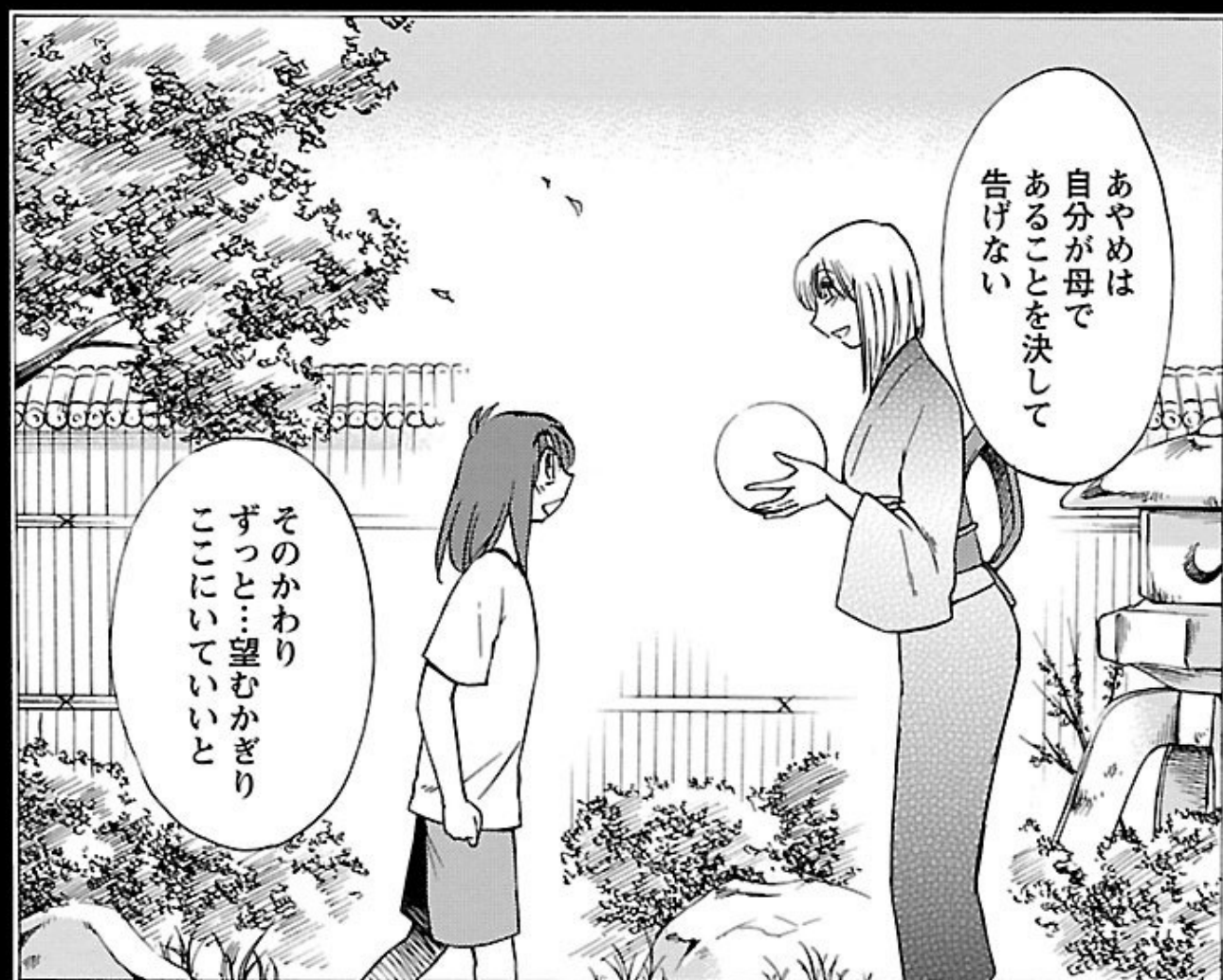


















やっぱり陽は  
跡とりとして  
育てなきゃ  
いけないと  
思っただからね

それが  
一番



けど...  
あやめの手前

甘えさせて...  
優しくする  
ことは

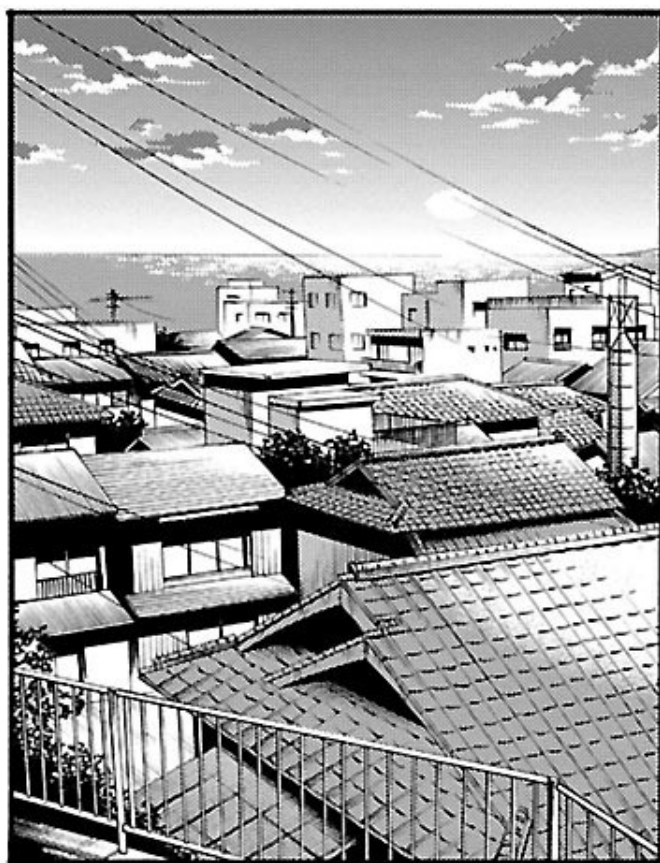
心苦しかったのも  
... あったかな

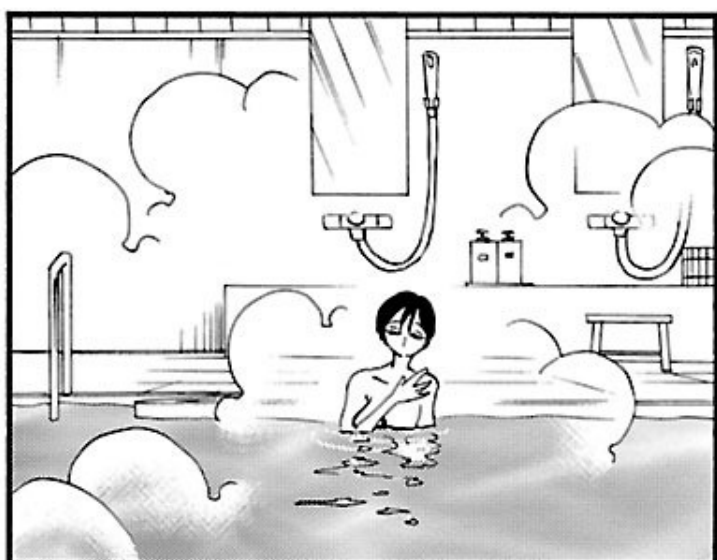
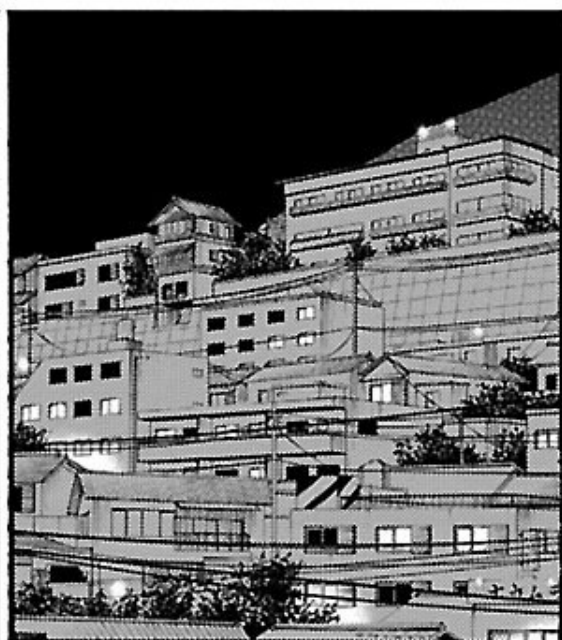
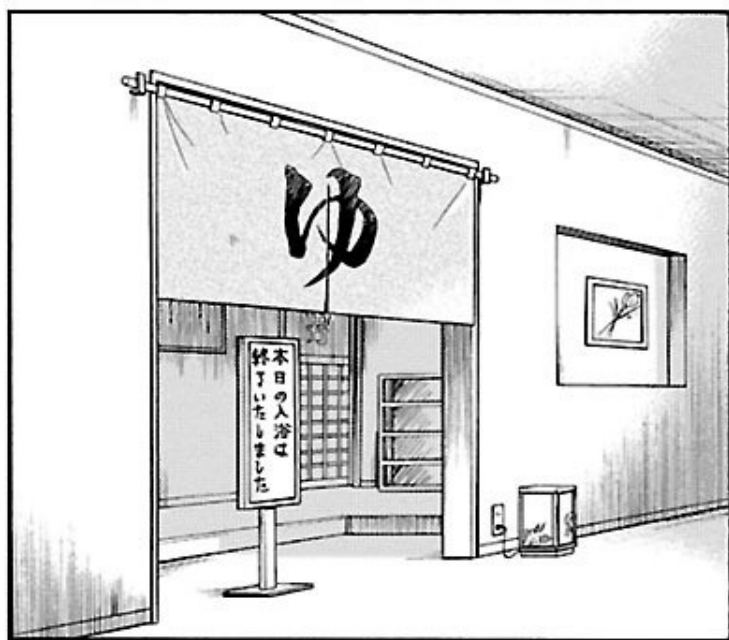
あれ、  
陽君!

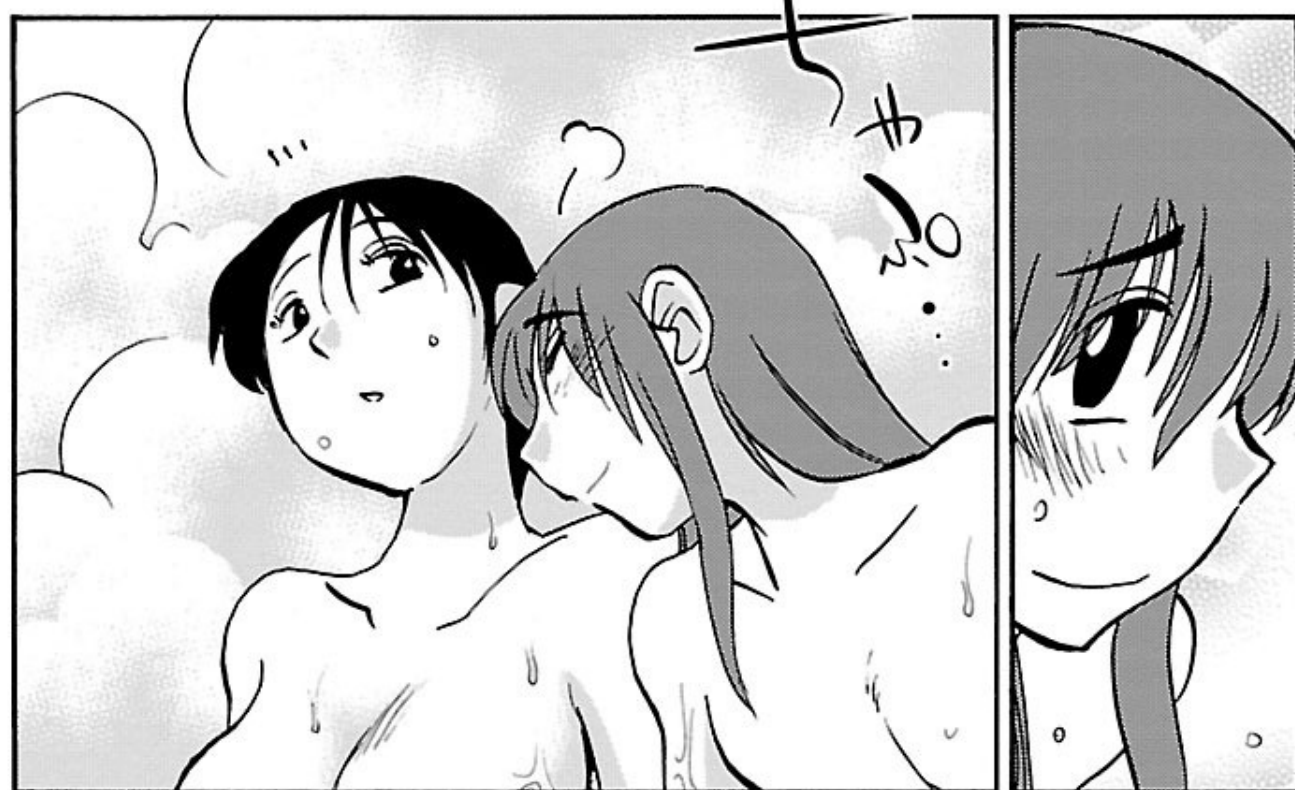
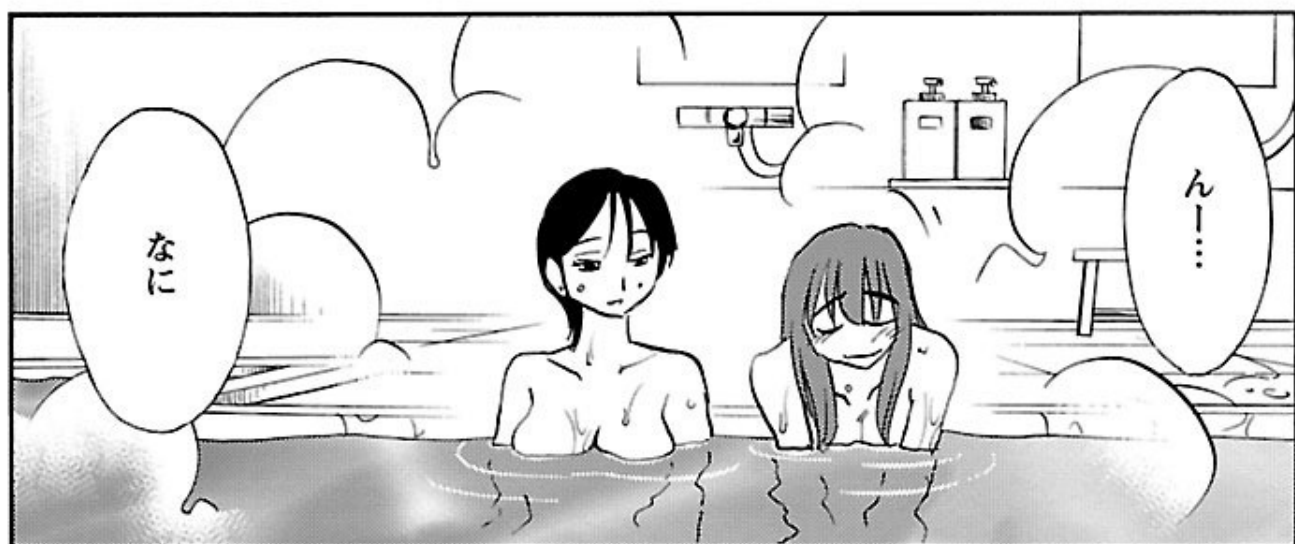








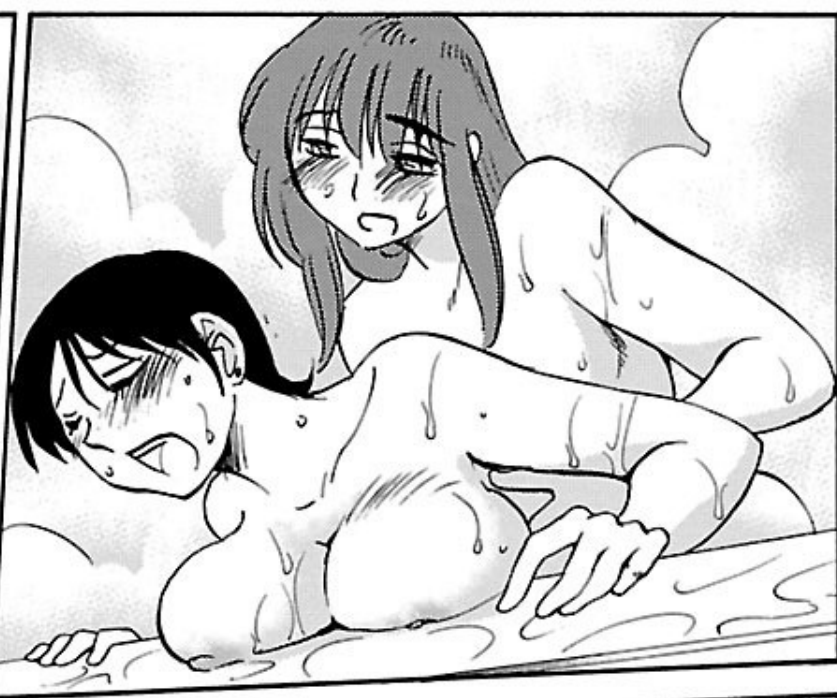




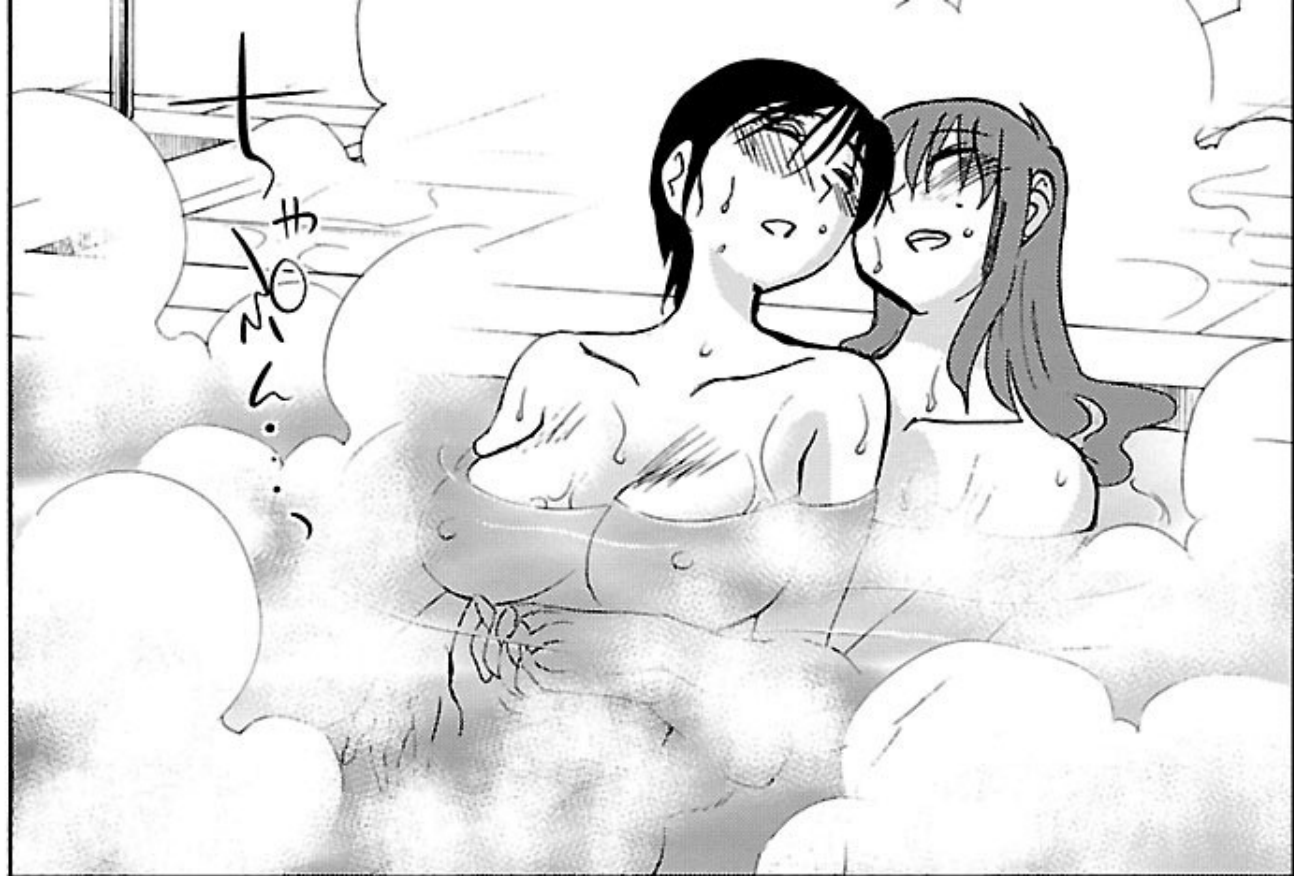










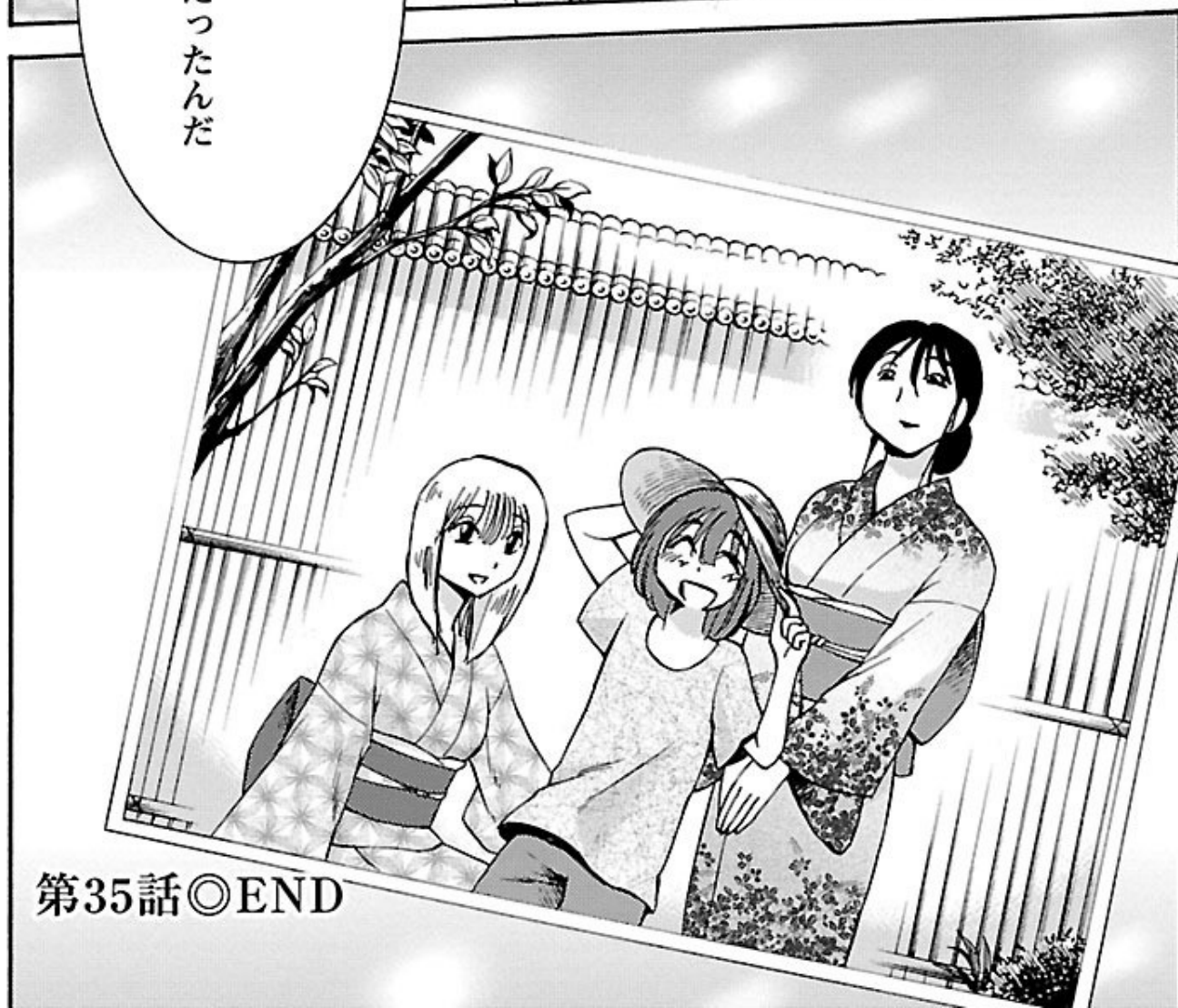


私が愛してたのと  
同じくらい

お互い：  
ずっとこうして  
わかりあって  
きたのよ

惚れたただの  
寝取っただのは  
女のうちさ

あやめも  
お前を  
愛してたろうよ





第36話 胚 たまご







あれは

あやめを  
女として  
感じてしまった  
僕への

愛情だった



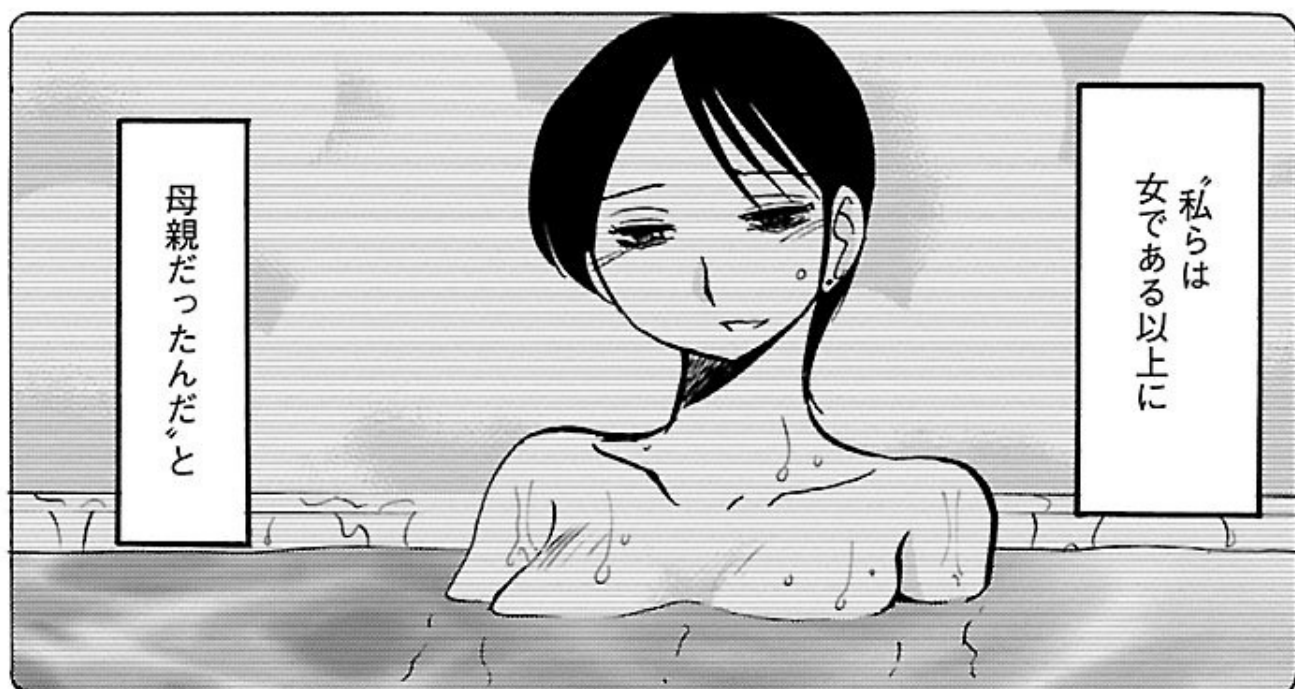
そして  
母さんの  
言ったこと…

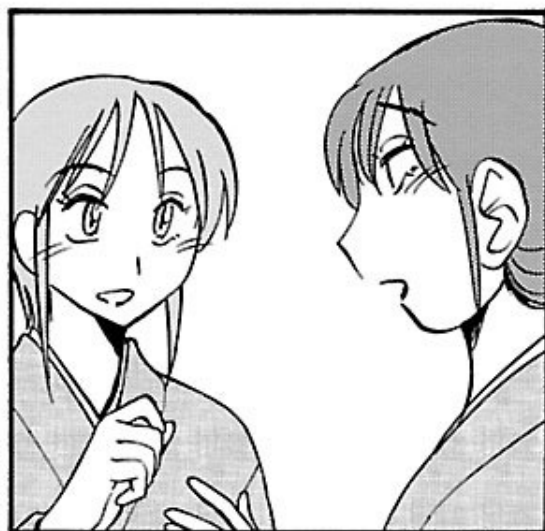
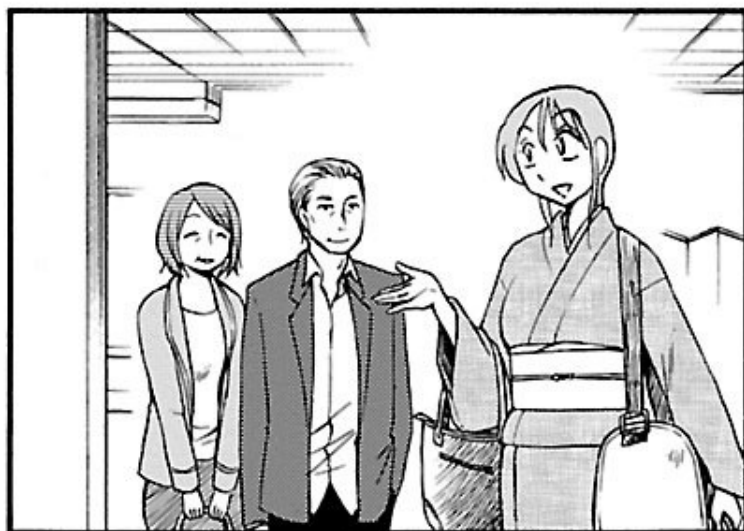


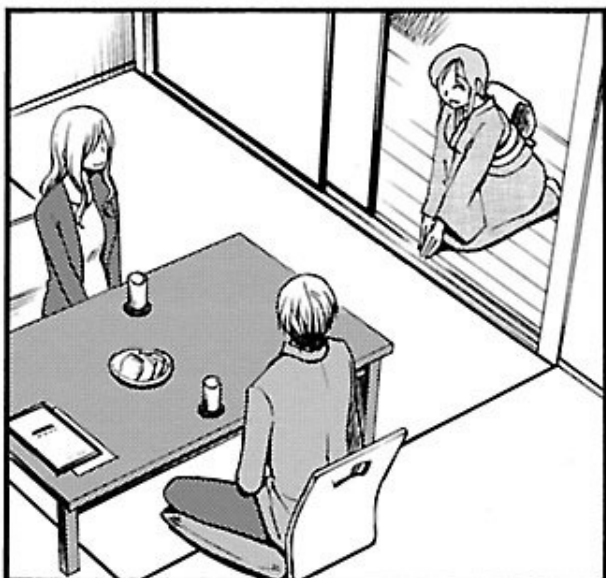
母として  
過ごせなかった  
あやめは…

せめて女として  
自分の温もりを  
伝えようと  
したのかも  
しれない…

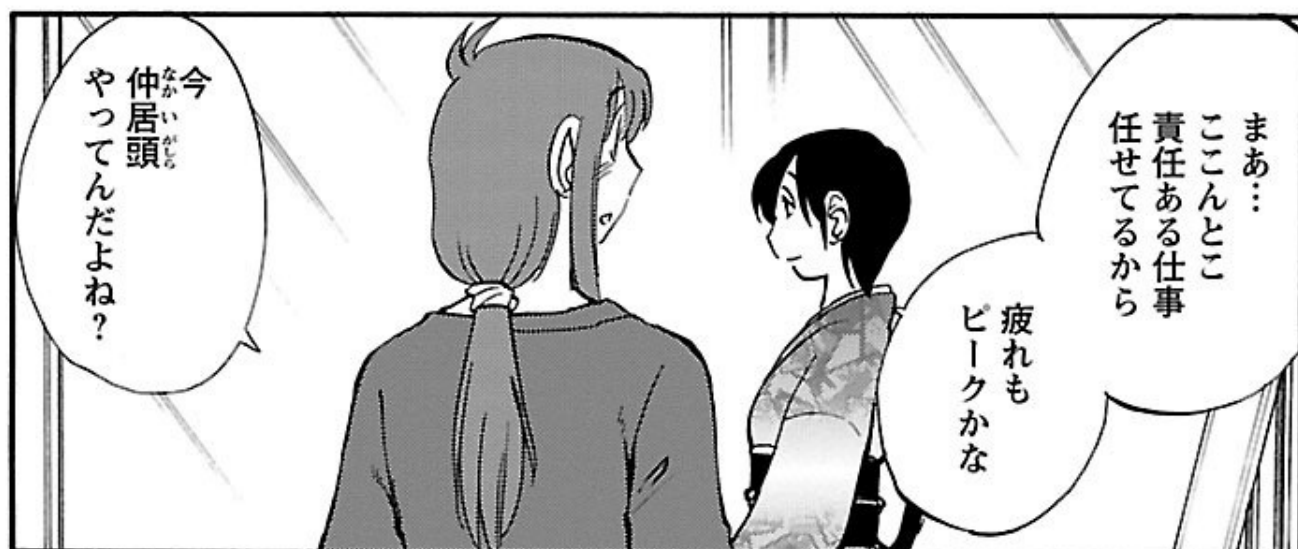




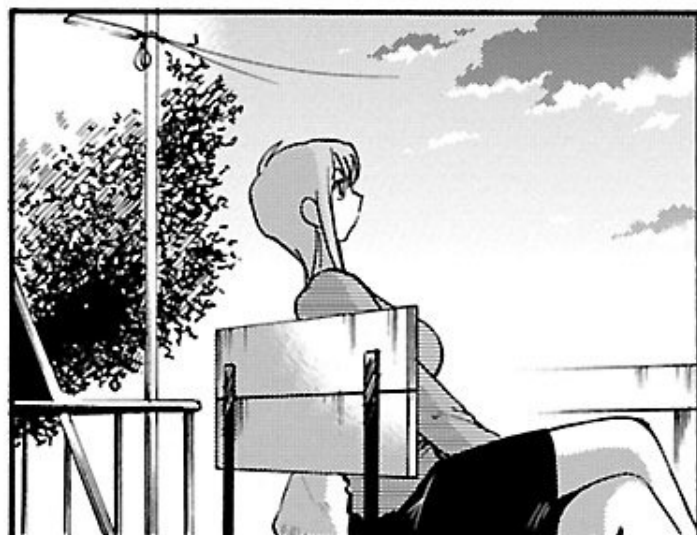




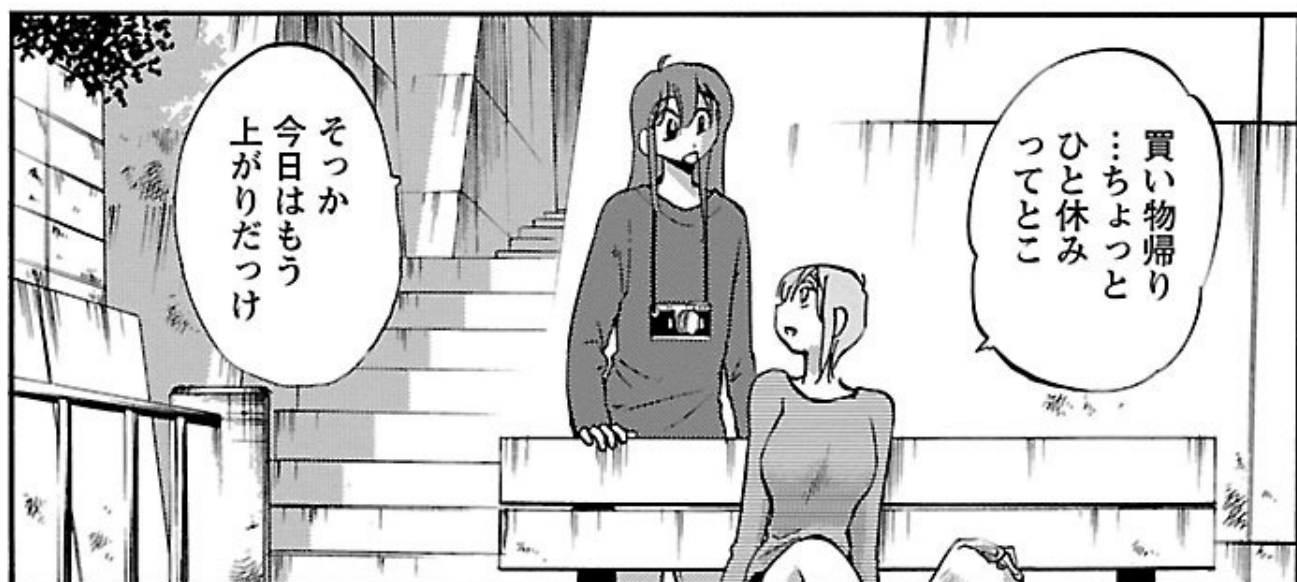










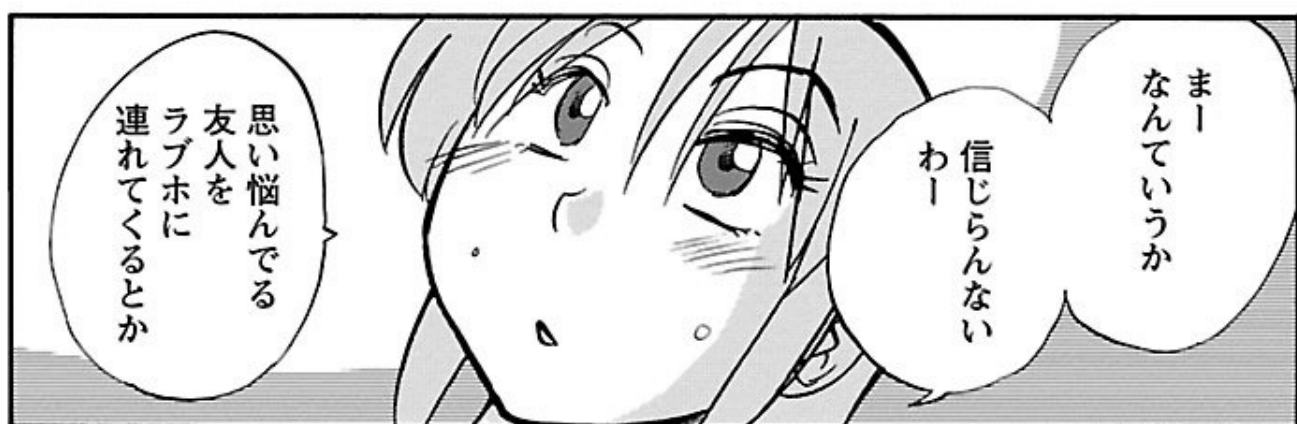


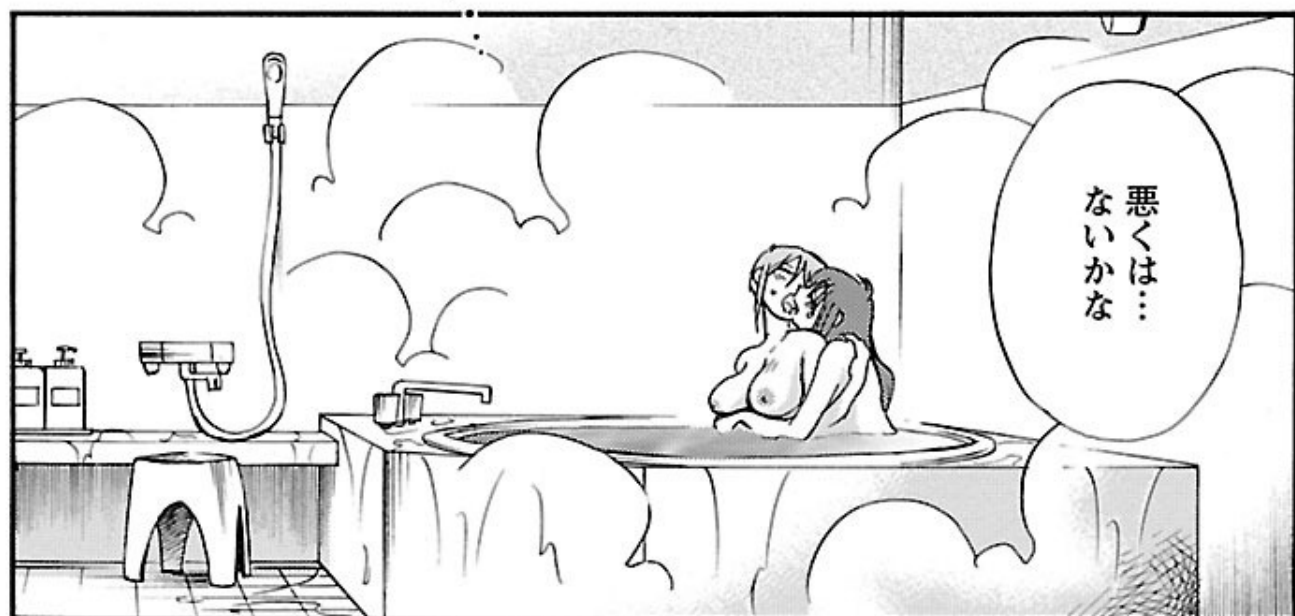
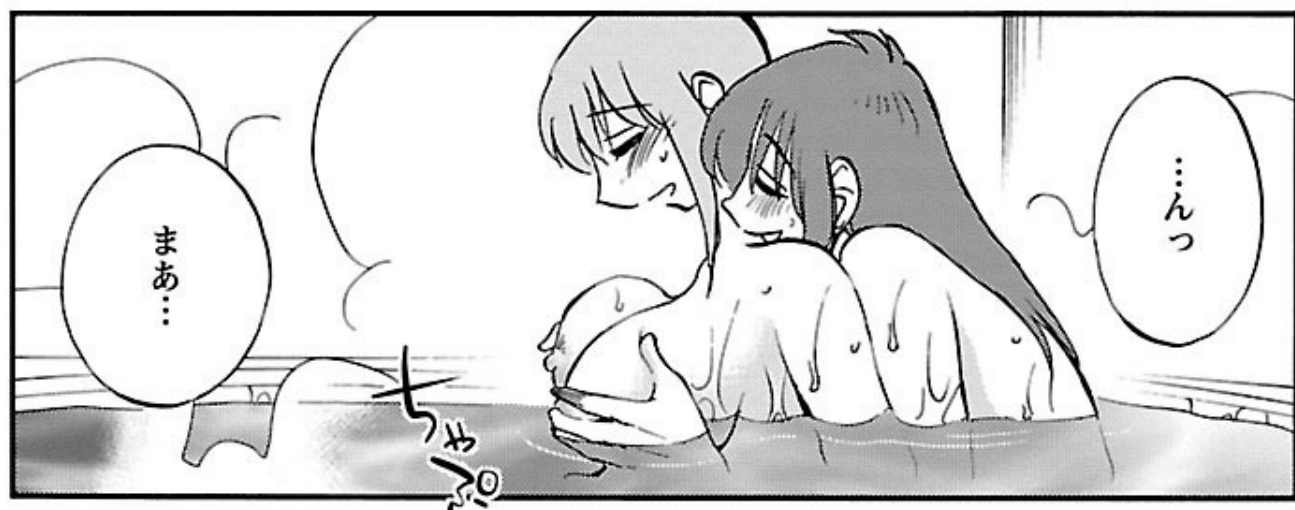




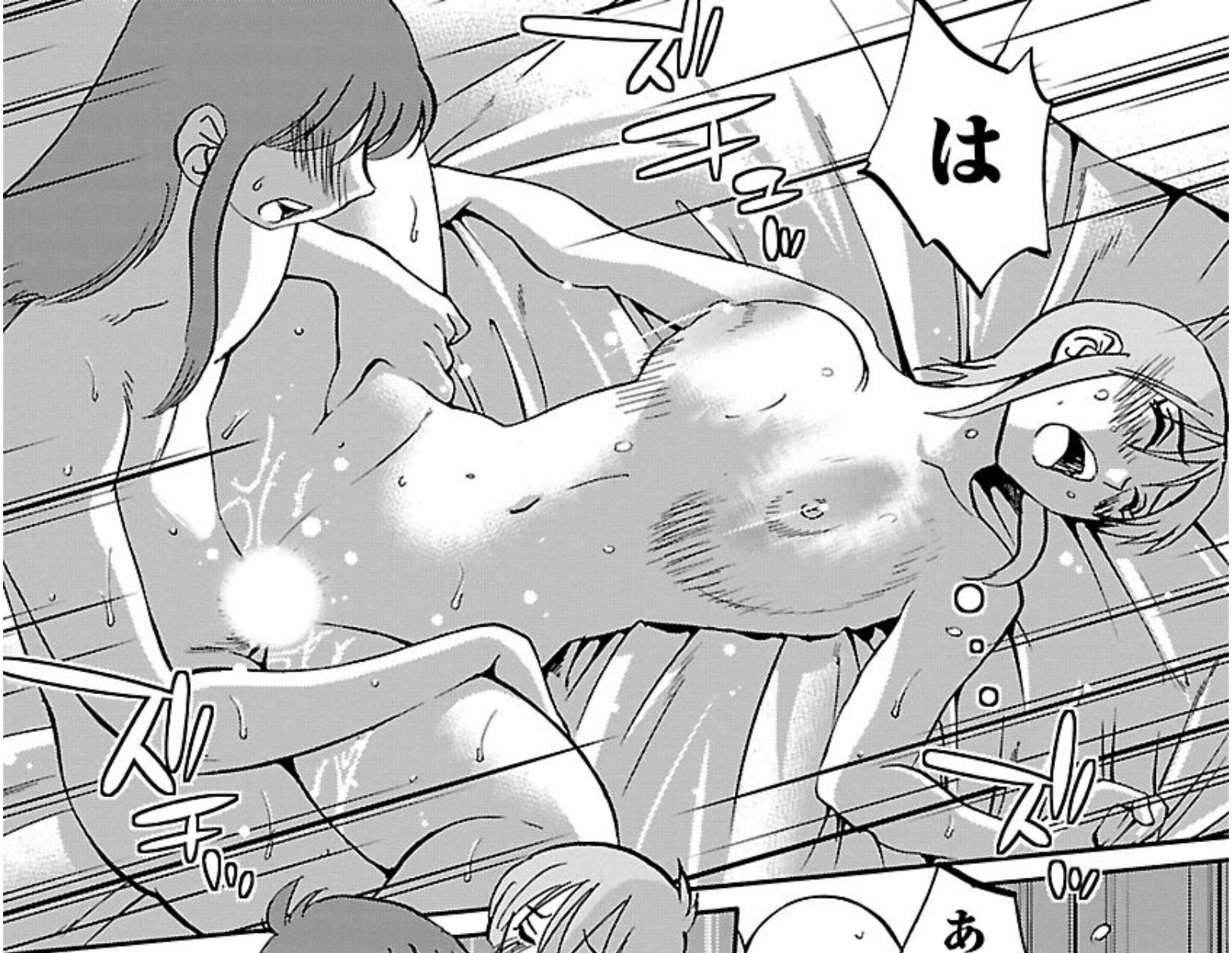






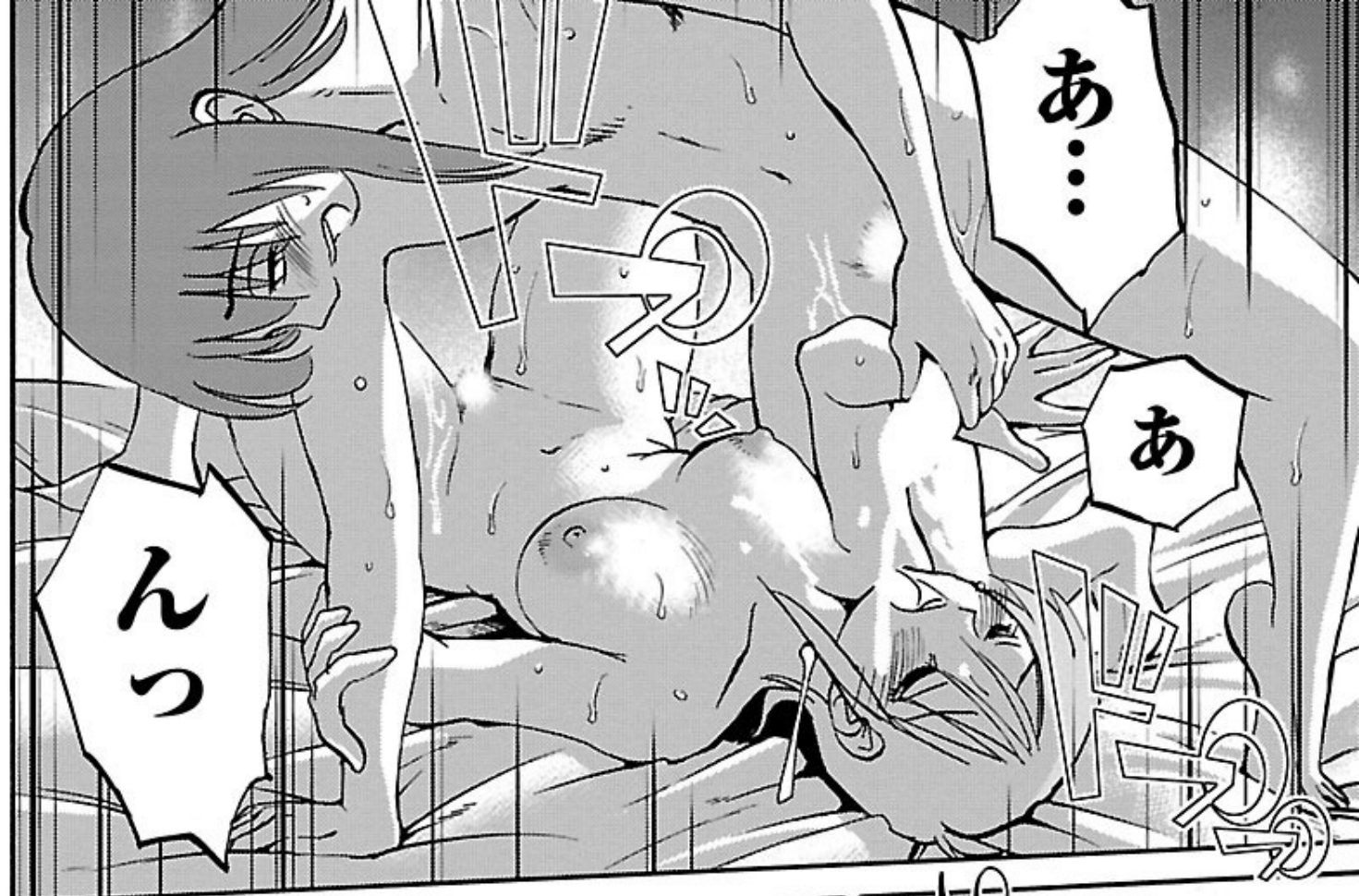














どういう関係  
なんだろう…?

んー

セフレ?

クズだな

でも  
そうだよ  
私達は  
決して…

恋人じゃない…  
気がする

…でも  
寄りそうくらいは  
できるよ

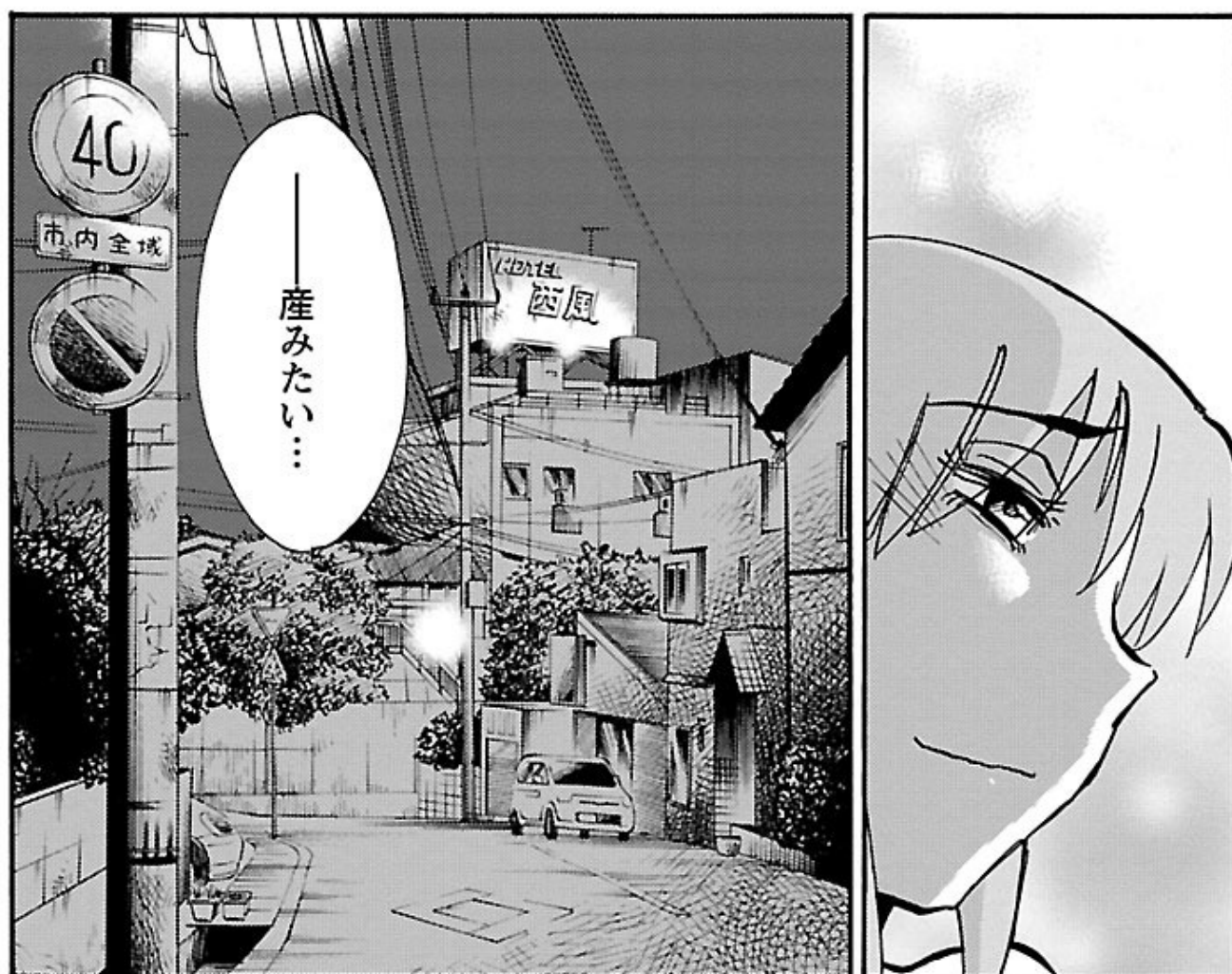
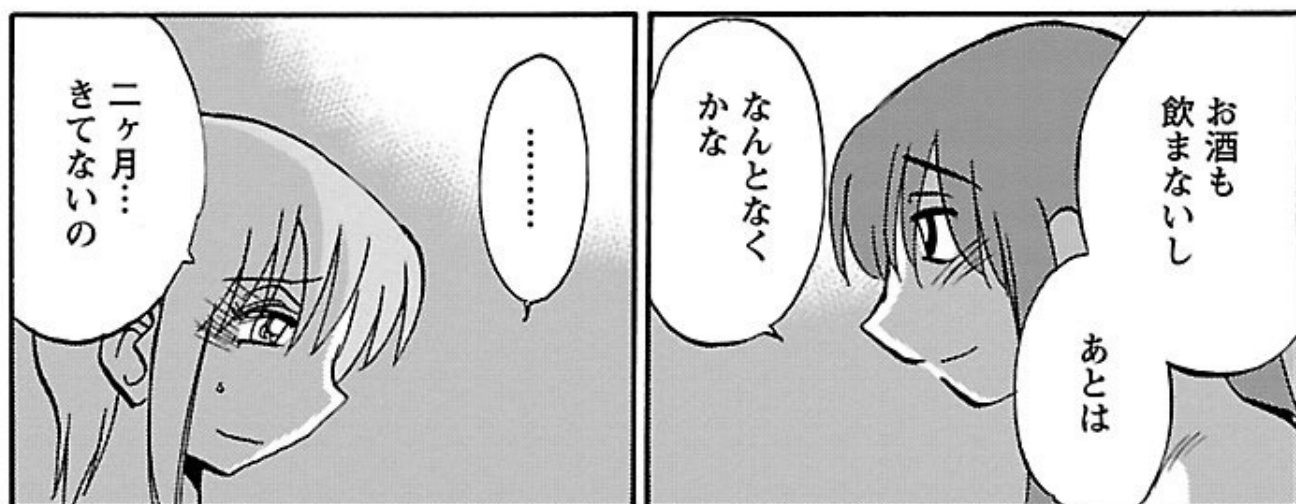
例えば  
マチコちゃんの  
悩みにも…ね

え

できちゃったかも  
しれない…とか?

!!

どうして…!?



ひるがお

Presented by  
TSUYATSUYA



本編で  
描かれた  
中学生の頃の  
陽。



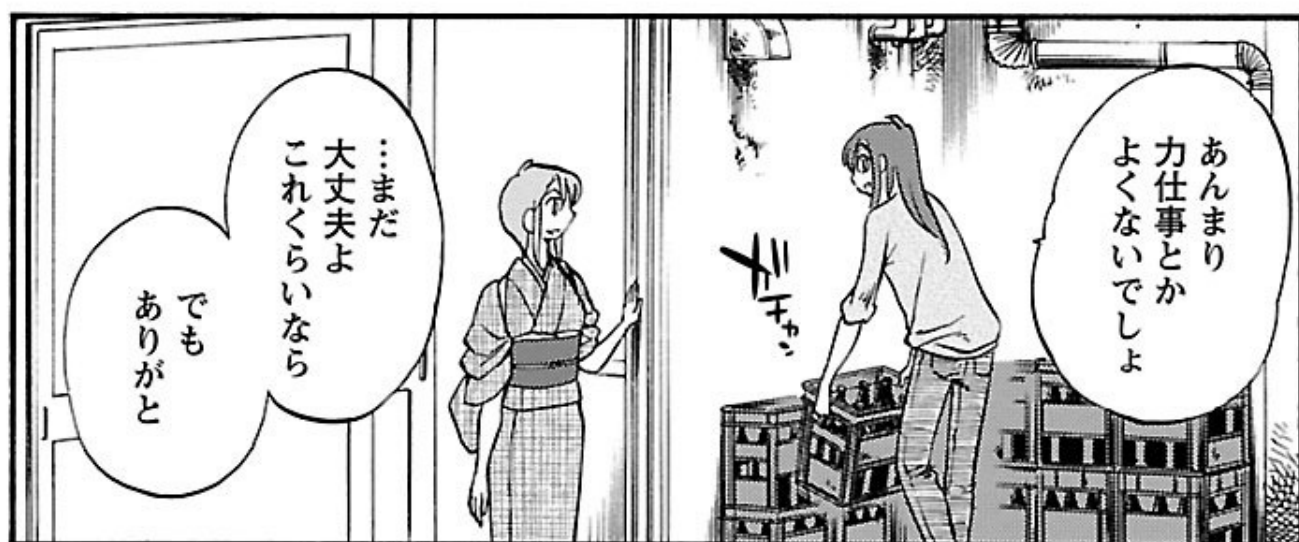
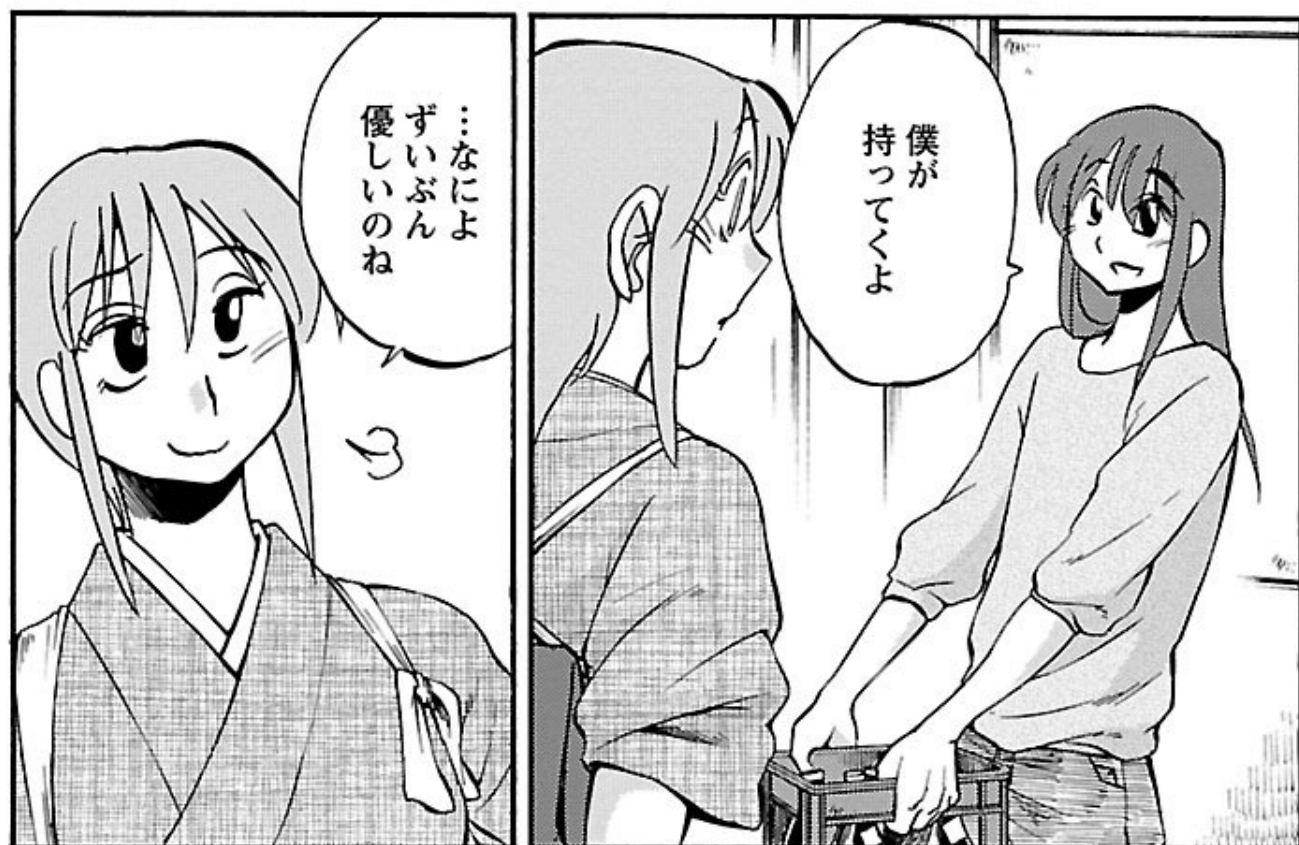
〇〇行方正で  
成績は  
よかったが  
長髪だけは  
あきらめず。  
そのせいもある  
先生方の心証は  
よくなった。

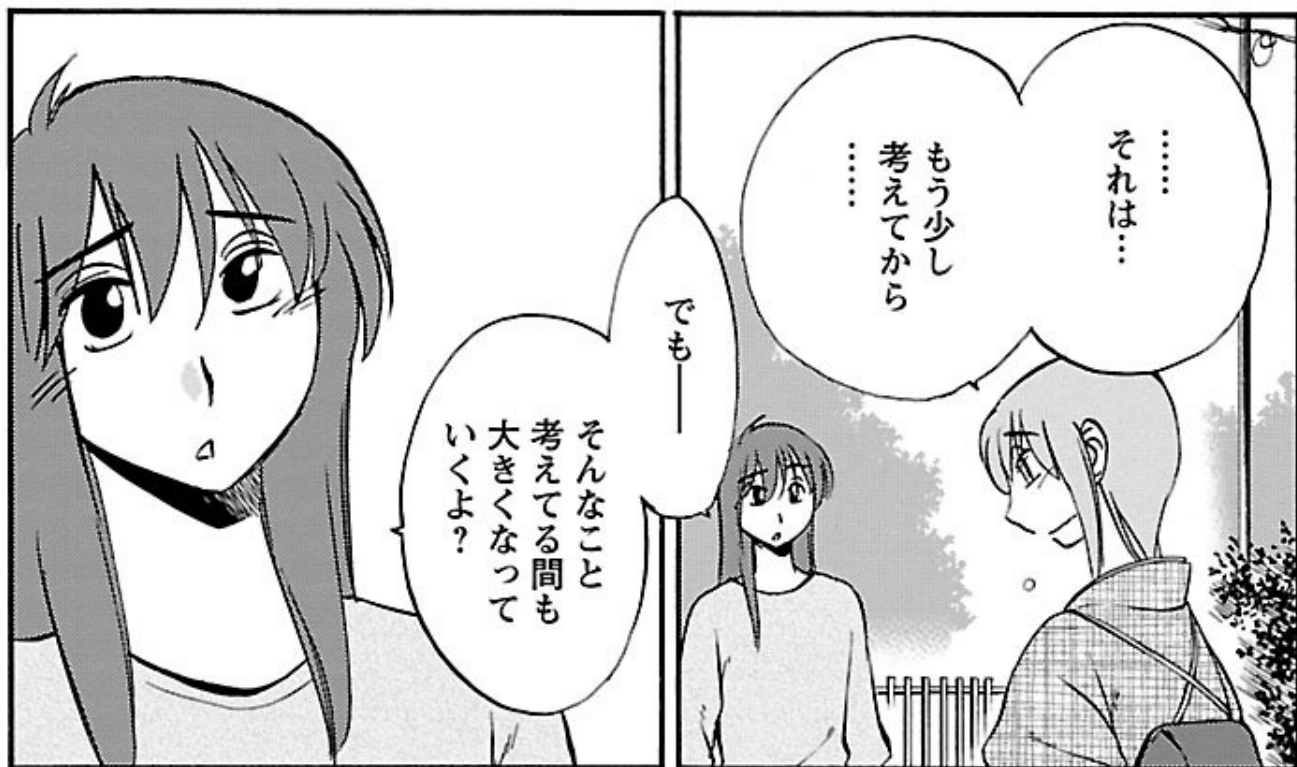
第37話 籍 せき











でも  
大事なのは

そこに  
新しいのちが  
あるってことじゃ  
ないの…？

だから…

だからじゃない！

今ありのままを  
話したって…

堕ろせって  
言われかねない  
でしょ…？

だったら  
それがもう  
不可能になる  
時期まで…

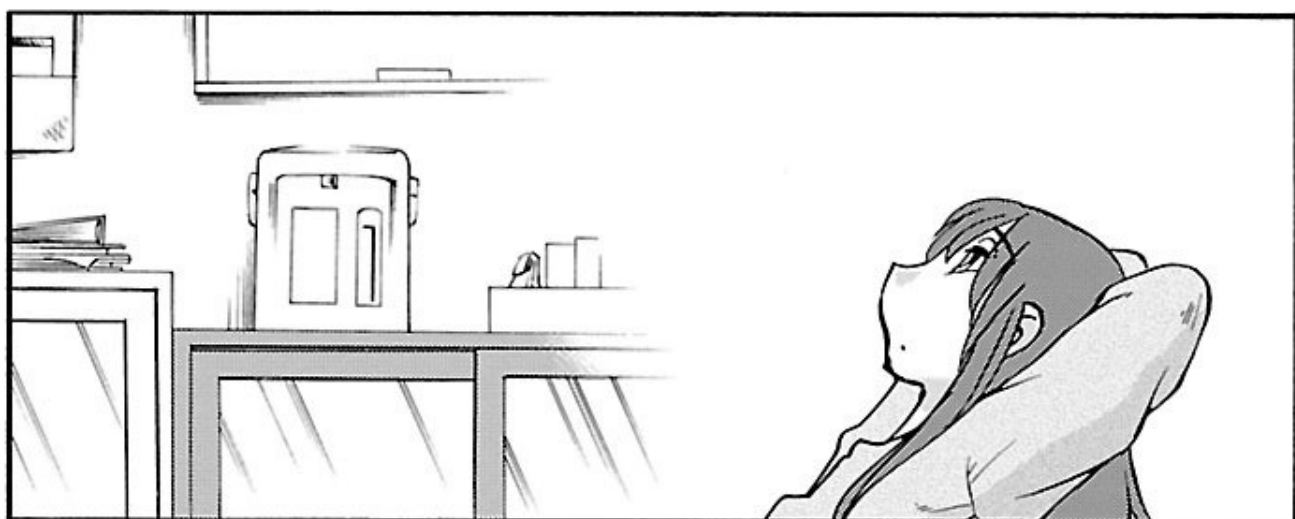
黙って  
おこうかな  
…って

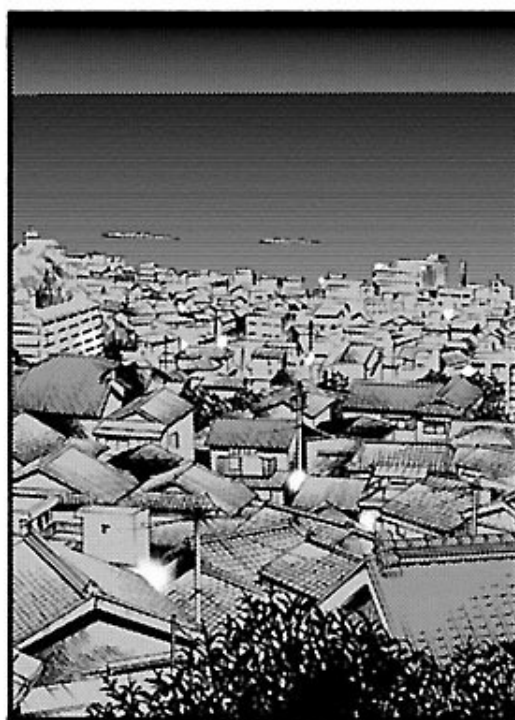
でなきゃ  
あとは…

全部捨てて  
家出でも  
するしか  
ないかな…

フフ

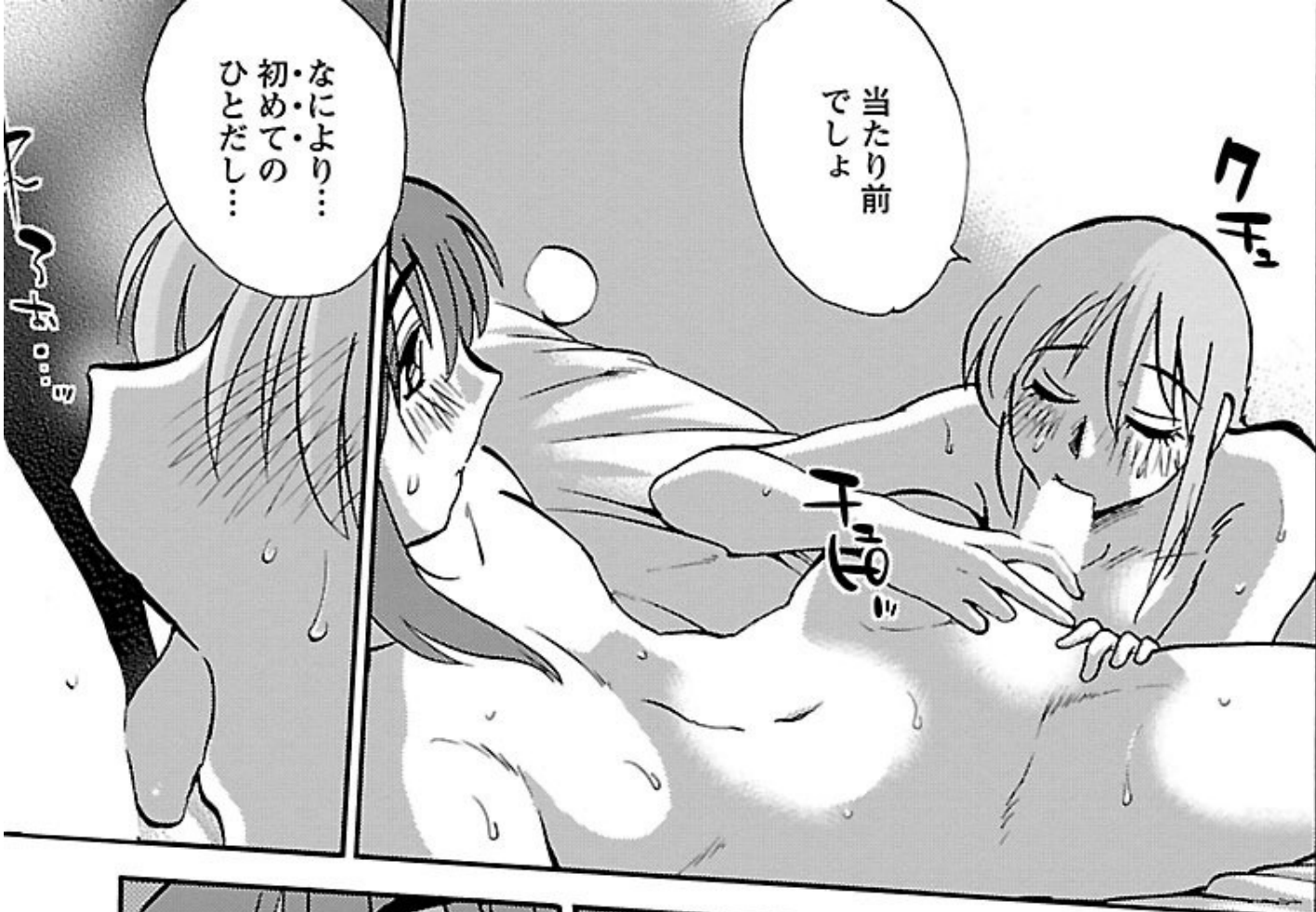


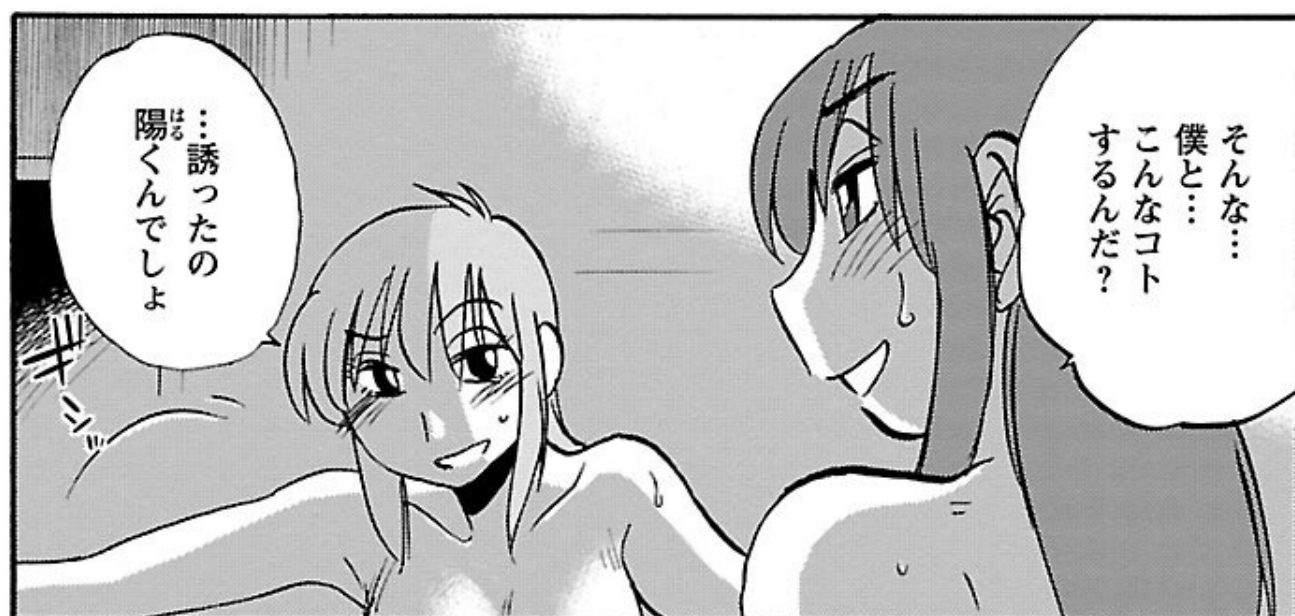


















あ...

ズン

チン

ん...

チン

はっ

あんっ

ズン







優しく...

しないと...

ね

はっ

は

チュッ

...んっ

私も

あっ

チュッ

チュッ

ズッ



自分で  
思ってたより

エッチ  
なんだな…って  
なんか…

わかつちや…った

あ

はっ

…どれくらいに  
見積もってたのか  
知らないけど

あっ

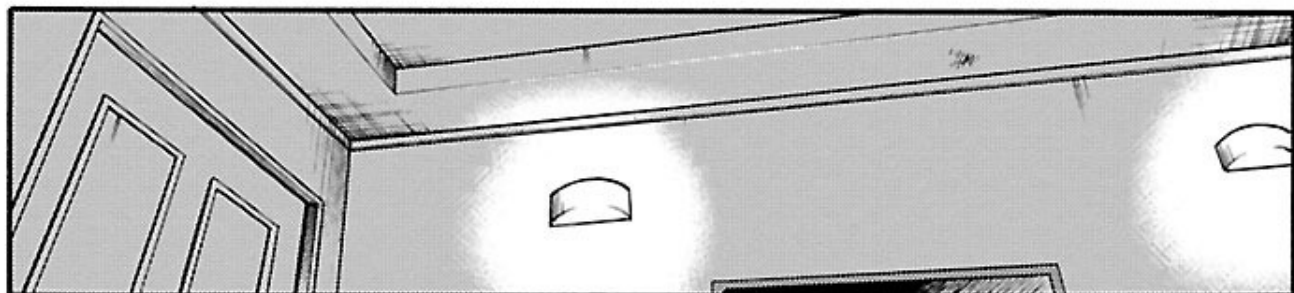
ああっ  
い…くっ

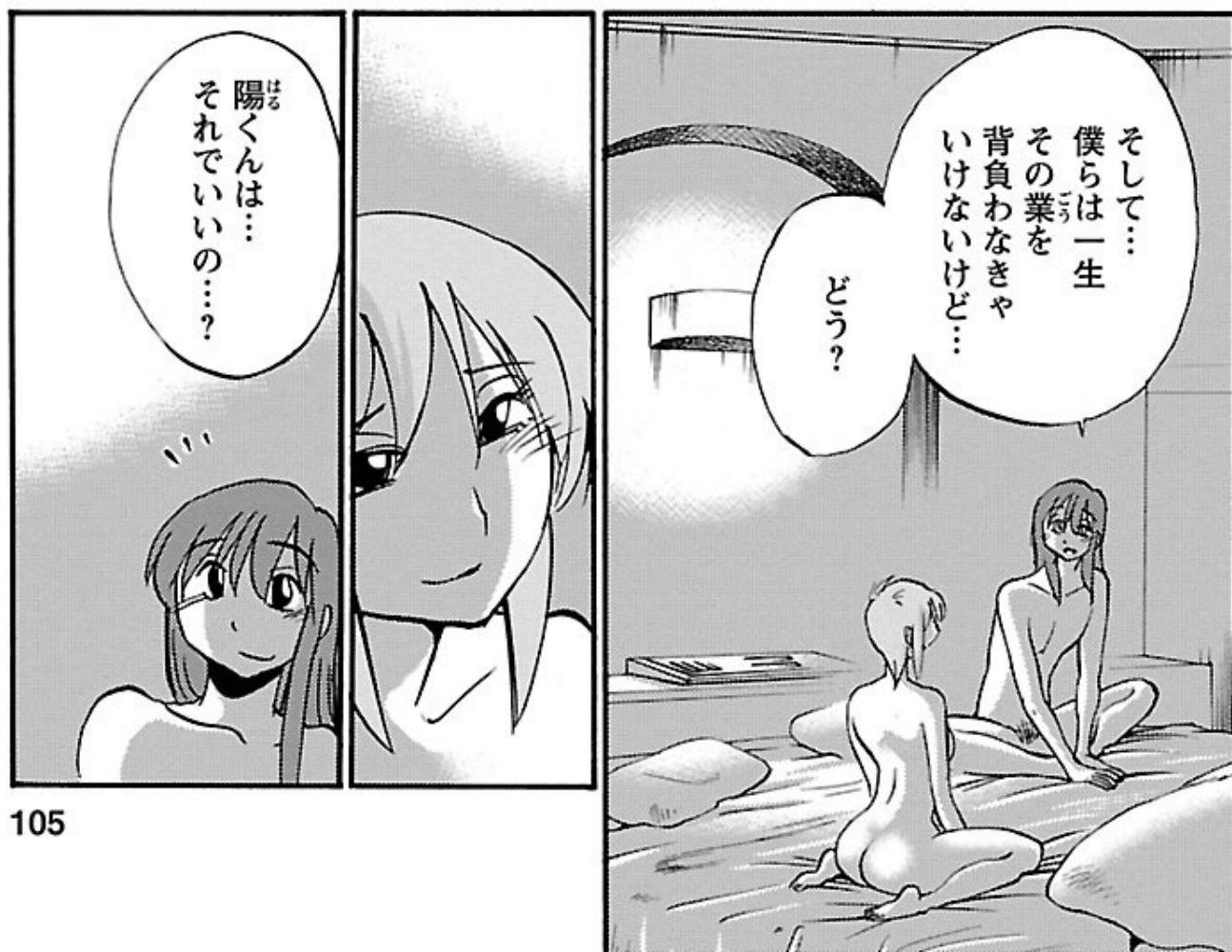
結構な  
もんだよ

あっ

はっ









僕は…

僕と  
僕の周りの  
みんなが

一緒に  
幸せになれるのが  
いいな

産まれた命が  
幸せに  
出てこられる  
なら

その方が  
——いいよね…?

…うん

それに  
マチコちゃんが  
女将になれば

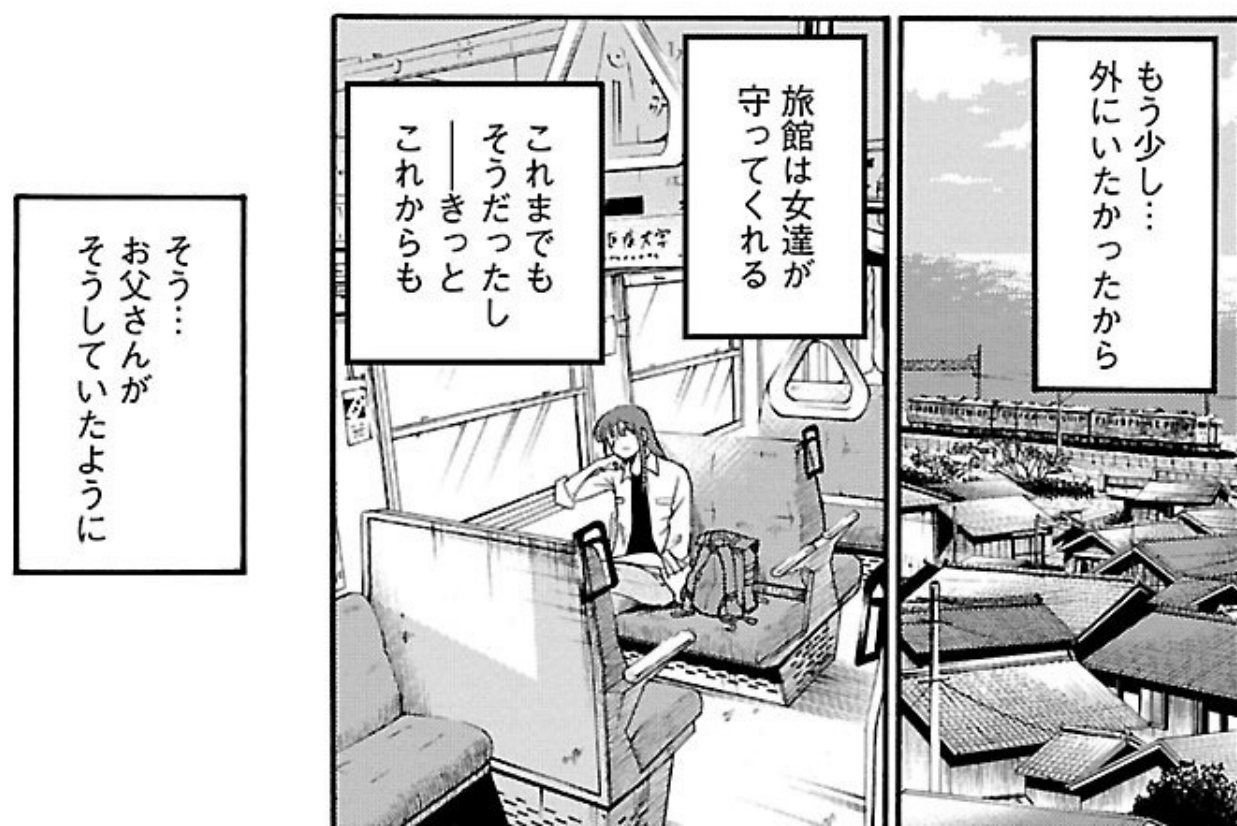
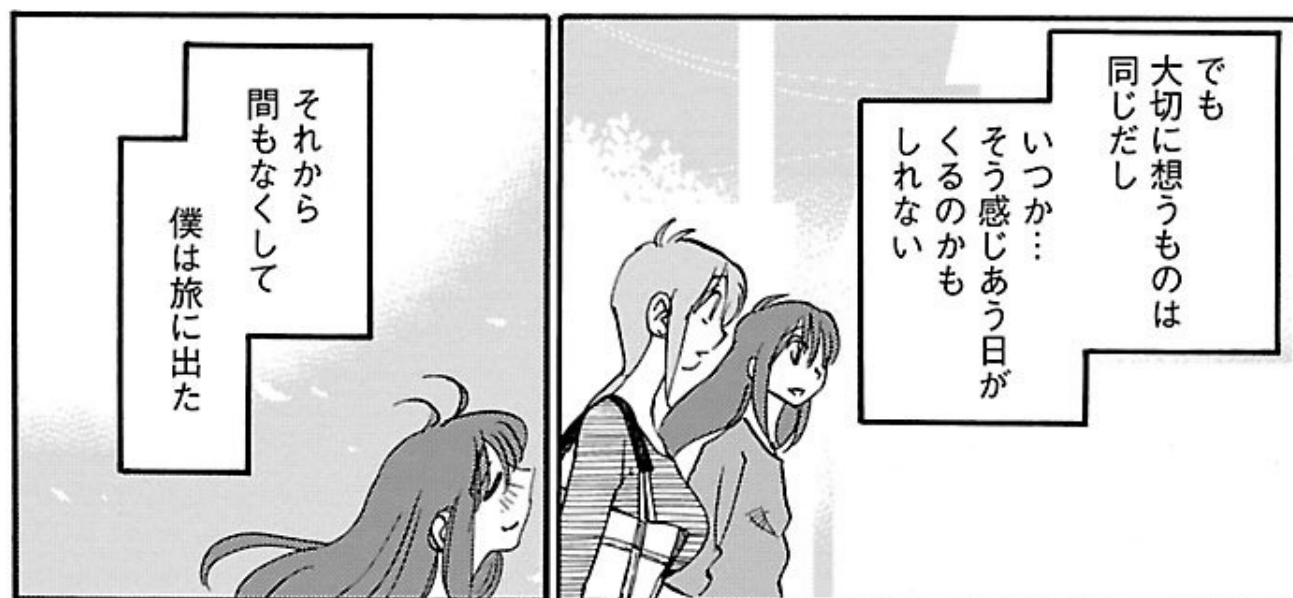
…うちも  
安泰だ

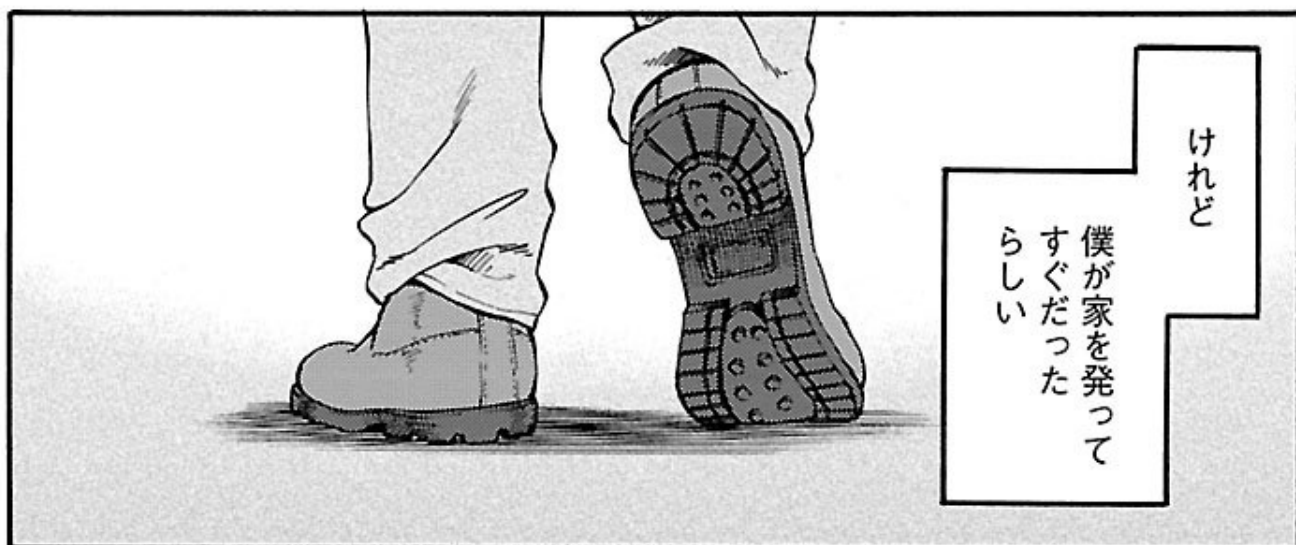
僕とマチコちゃんは

この数日後  
入籍をした

式は挙げない

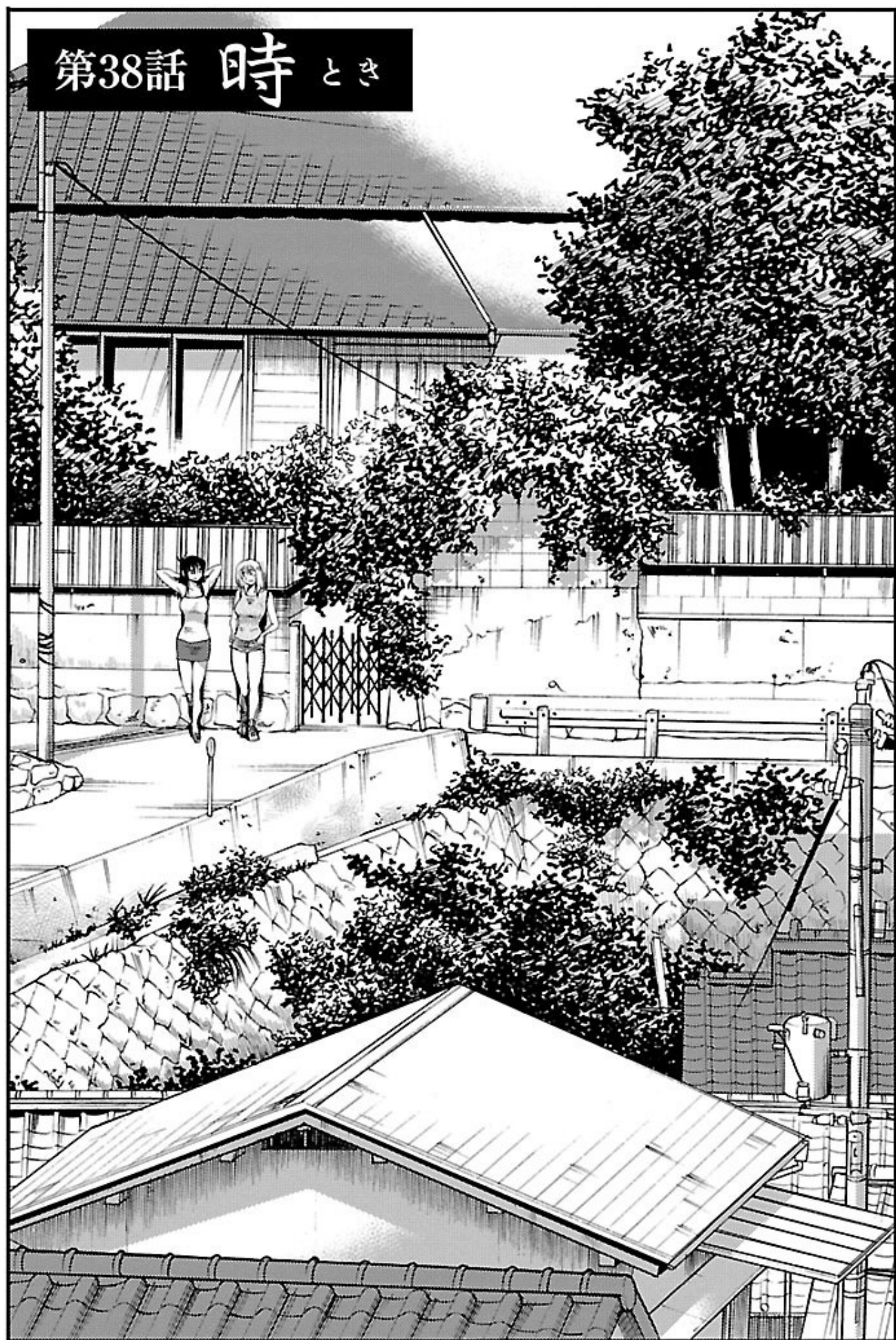
——だって







# 第38話 時とき





あつ

や

はっ

撮っちや  
だめえ……っ

こんな  
カオ……ッ!!

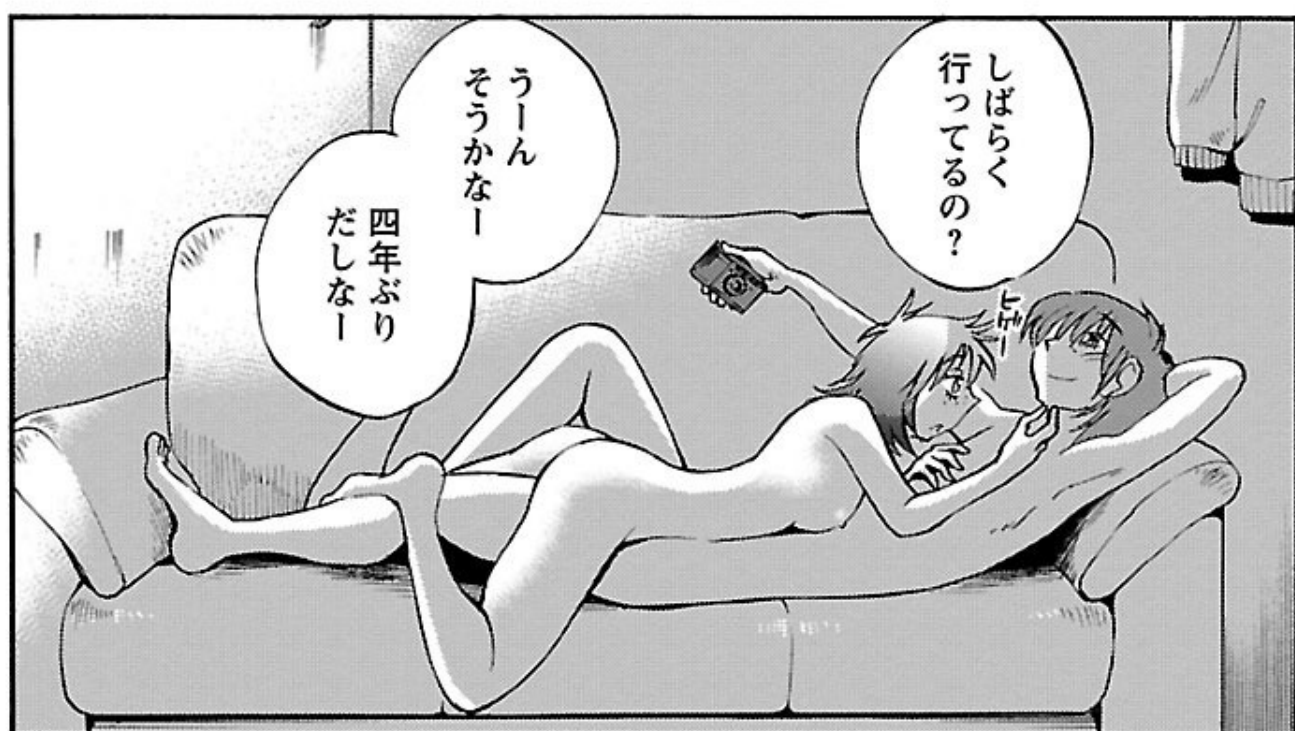
ああっ

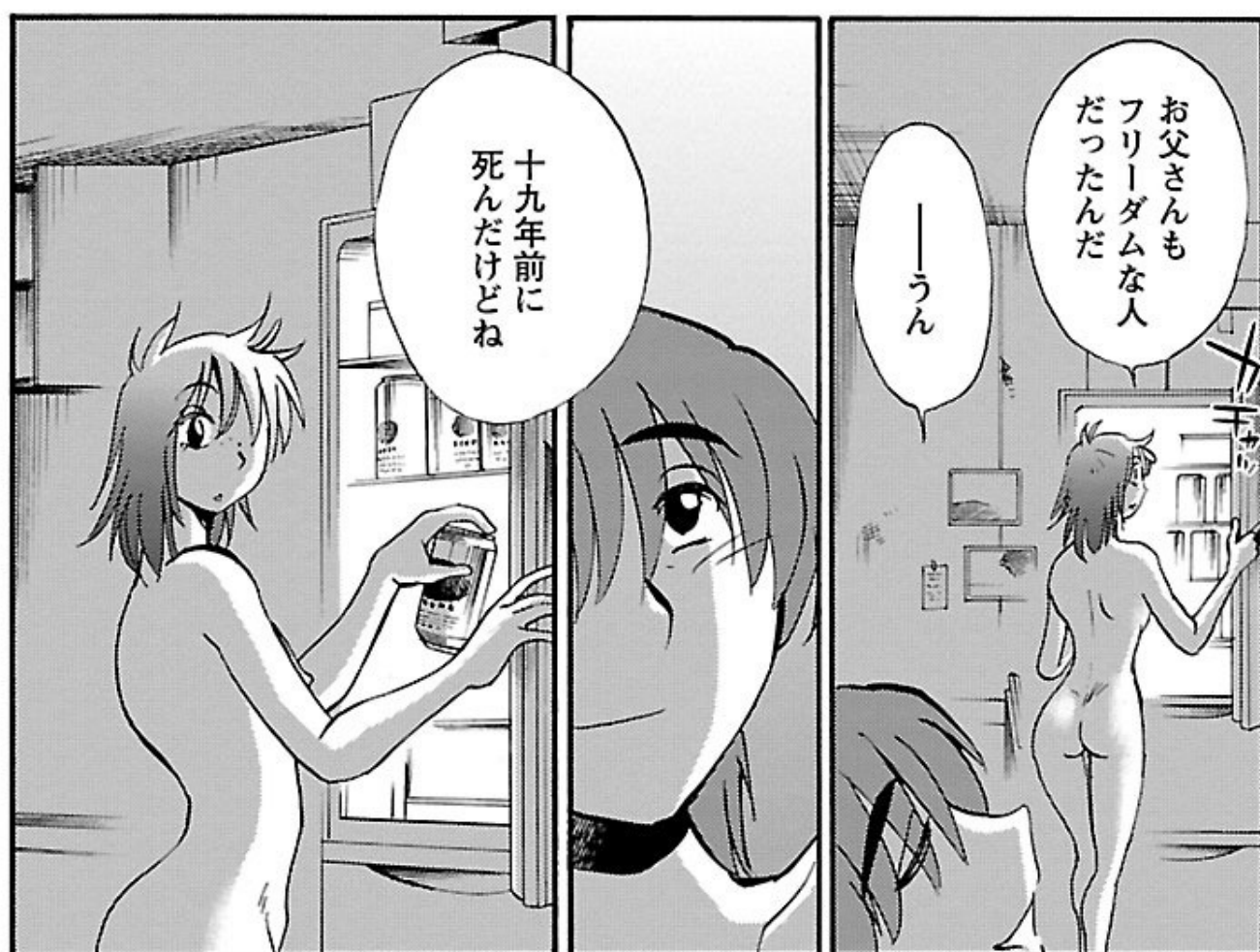




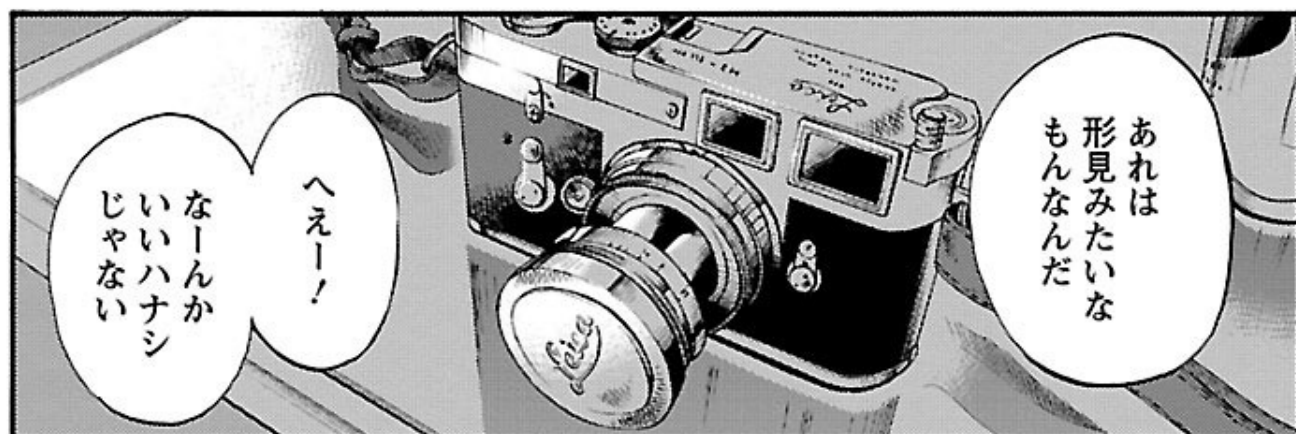


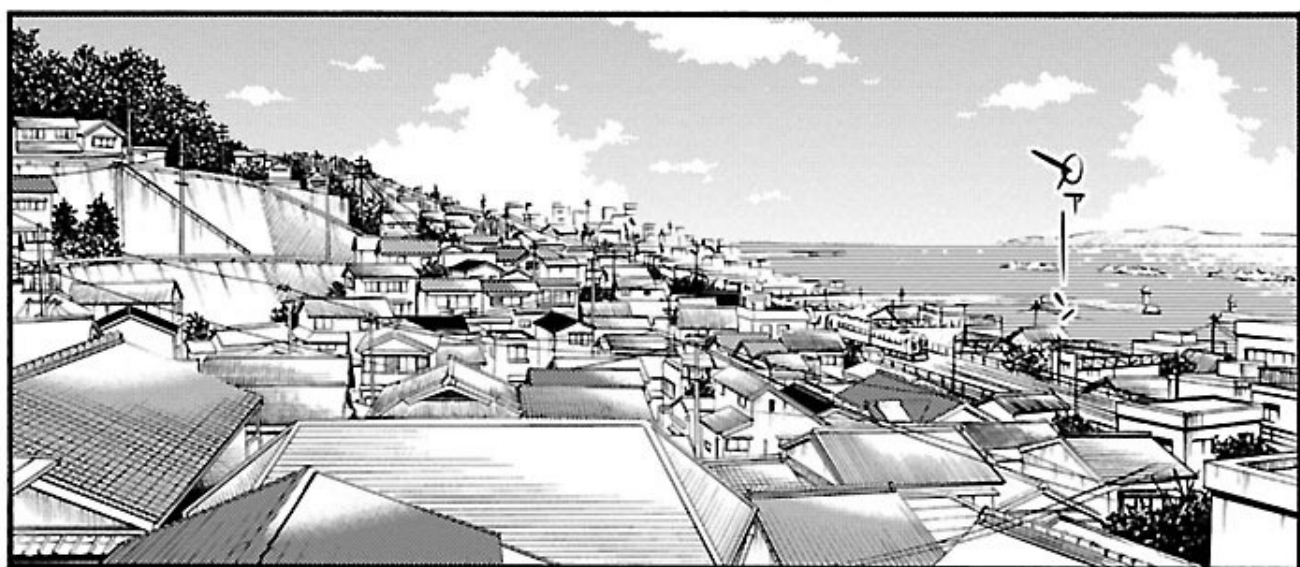
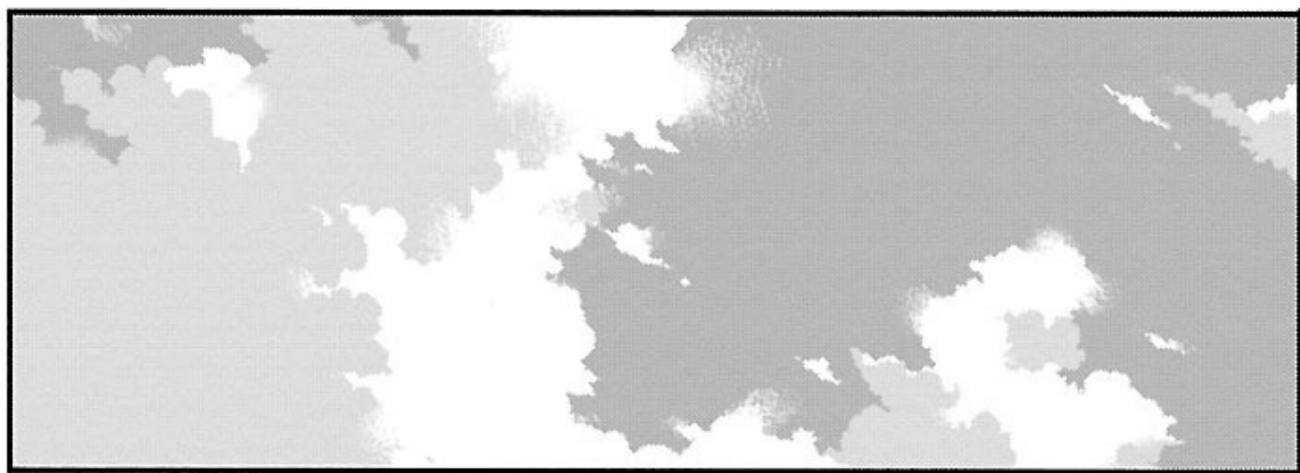












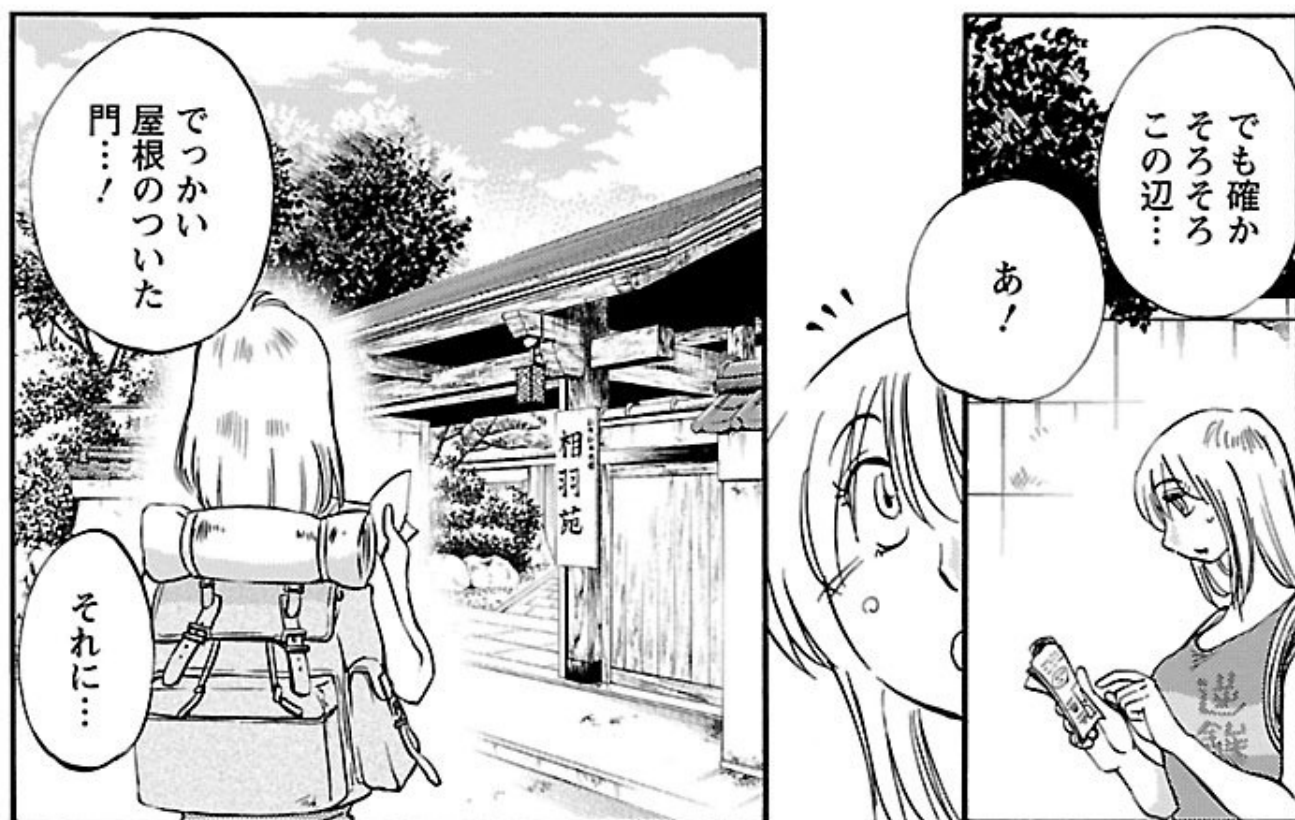


やっと...  
着いたナー

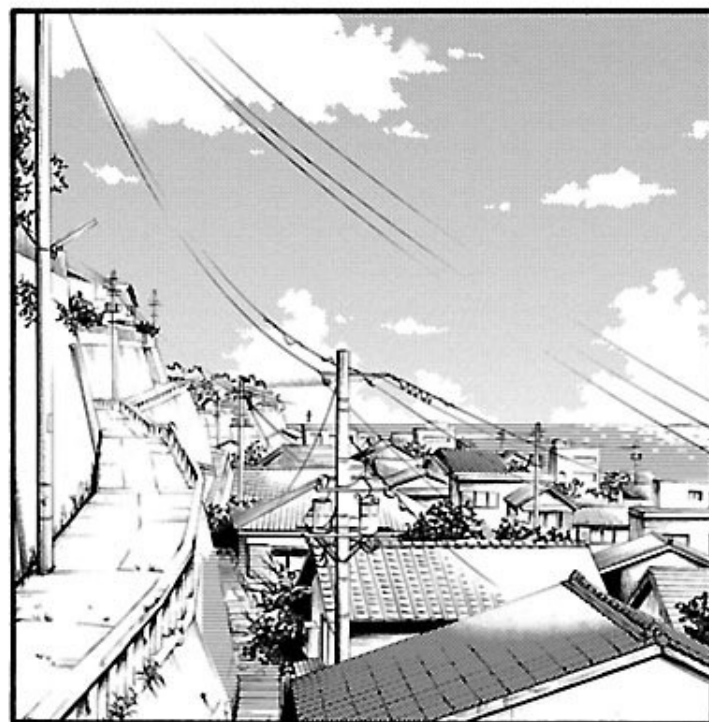
ふおうー  
聞いたとおり  
坂の町...

さあ今度は  
あの旅館  
探すデー

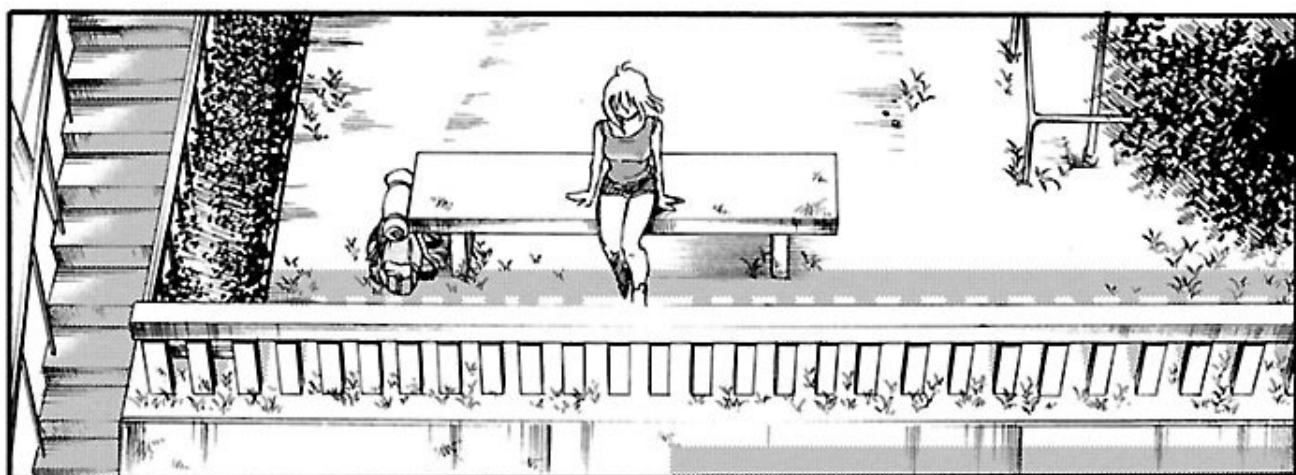
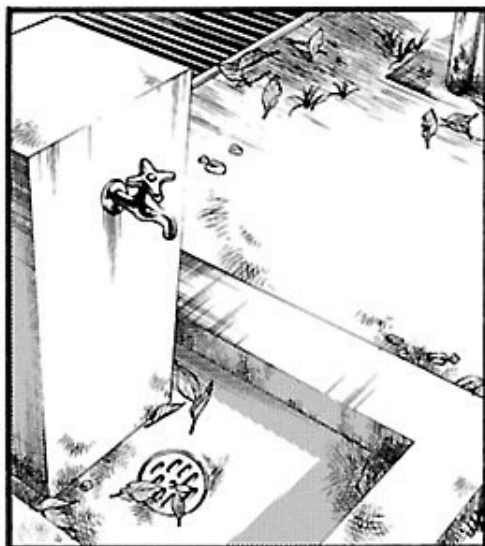


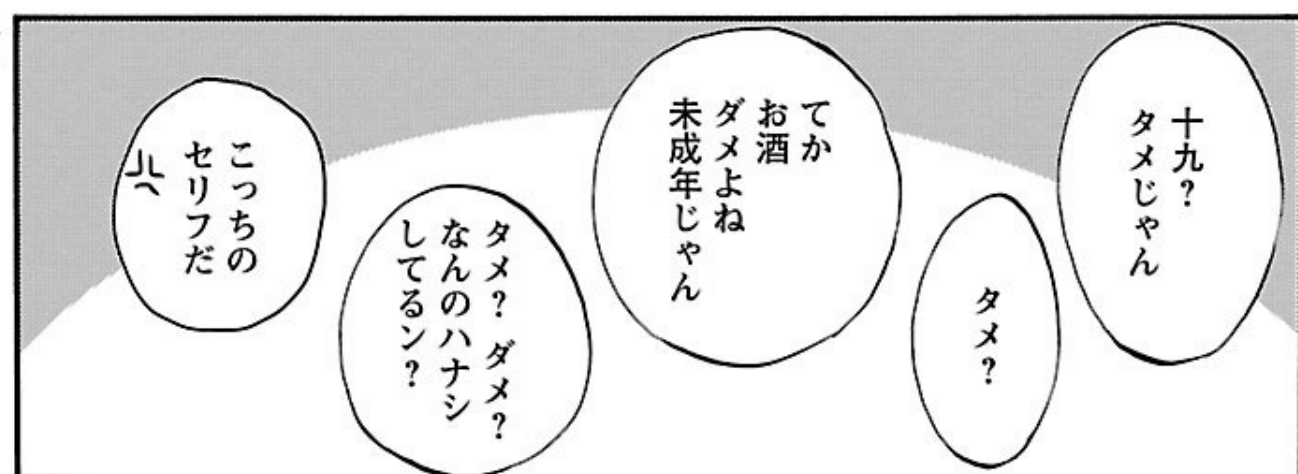
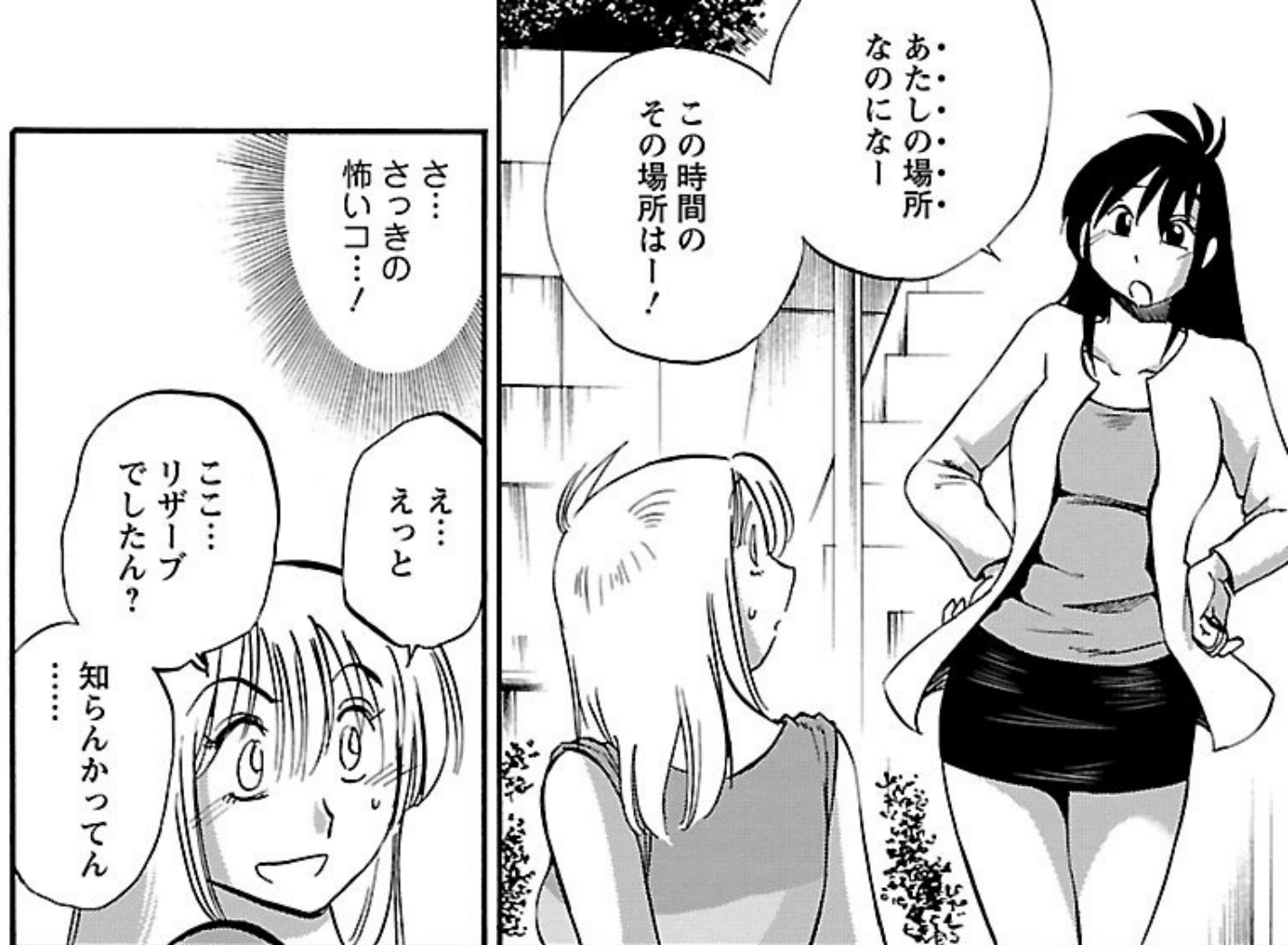








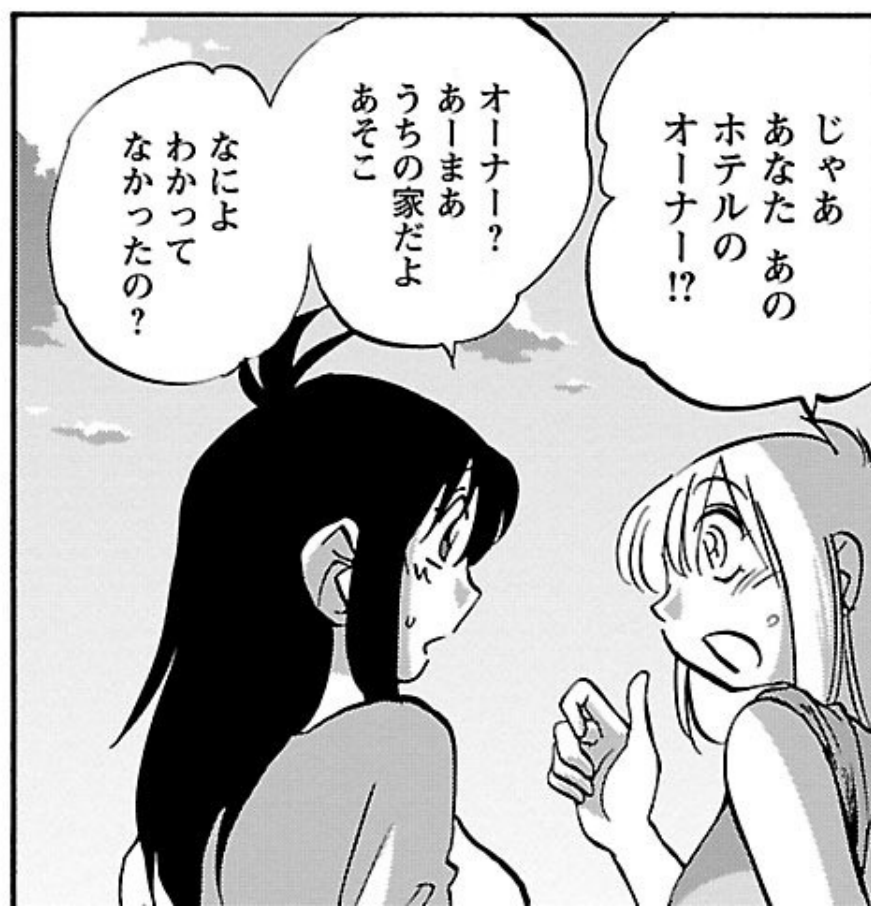
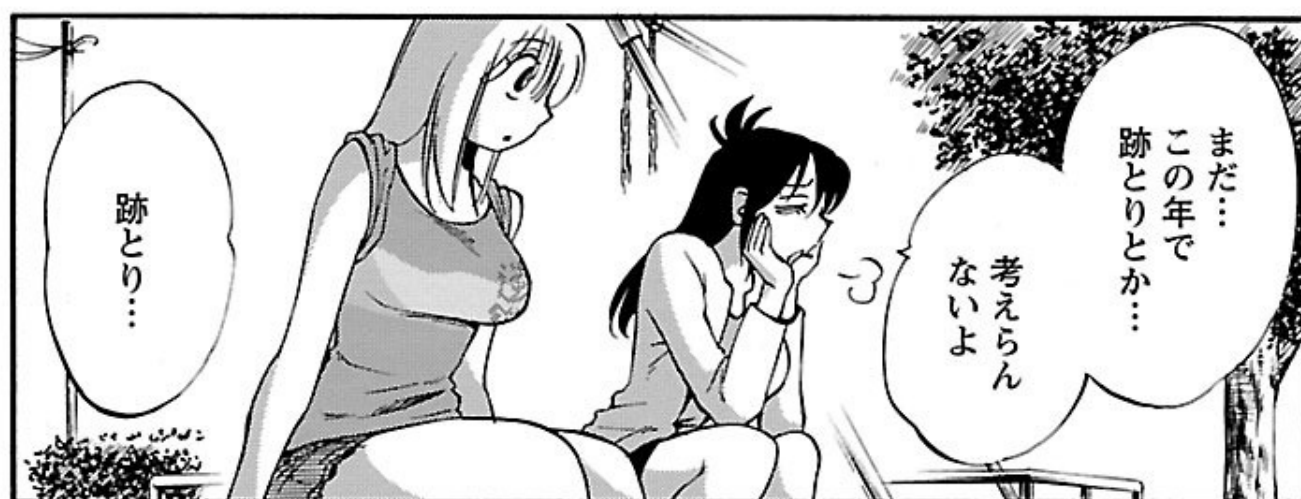
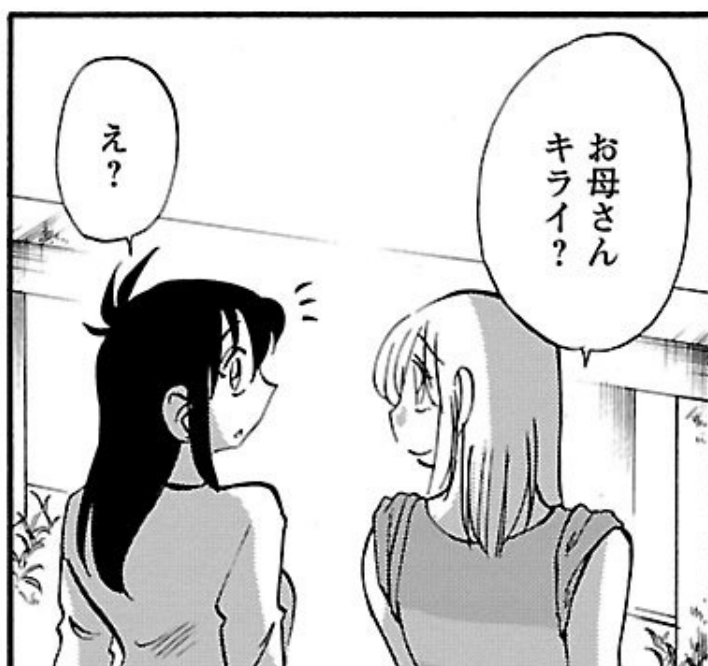




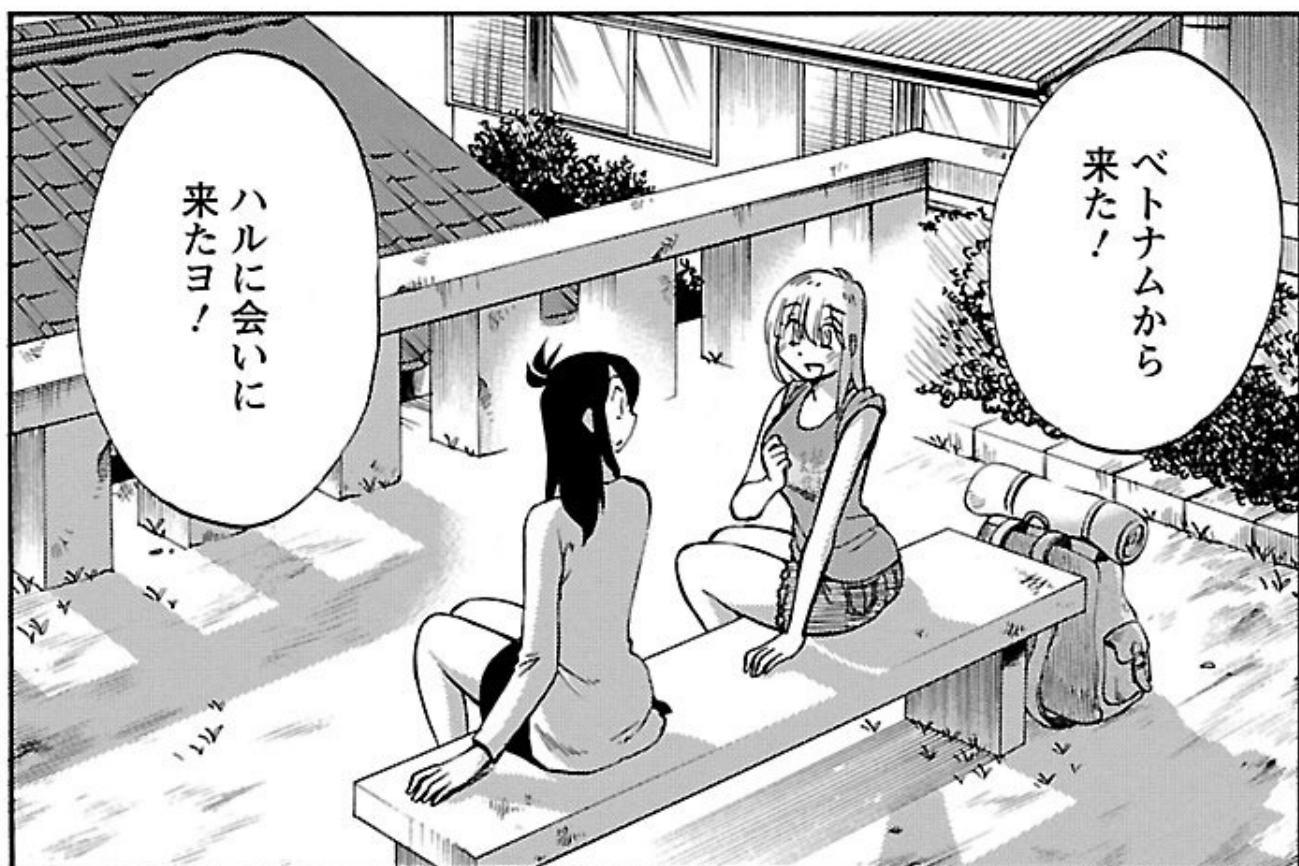
※サントリーにリザーブという  
ウイスキーがあります





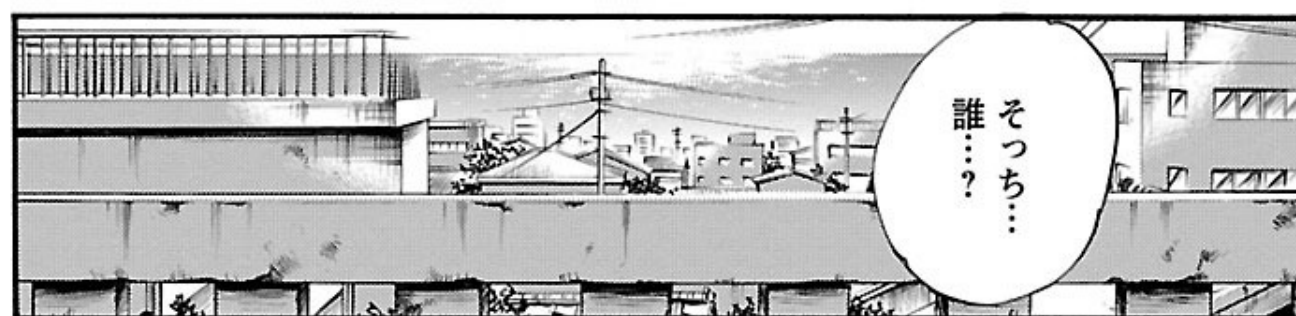












ひるがお

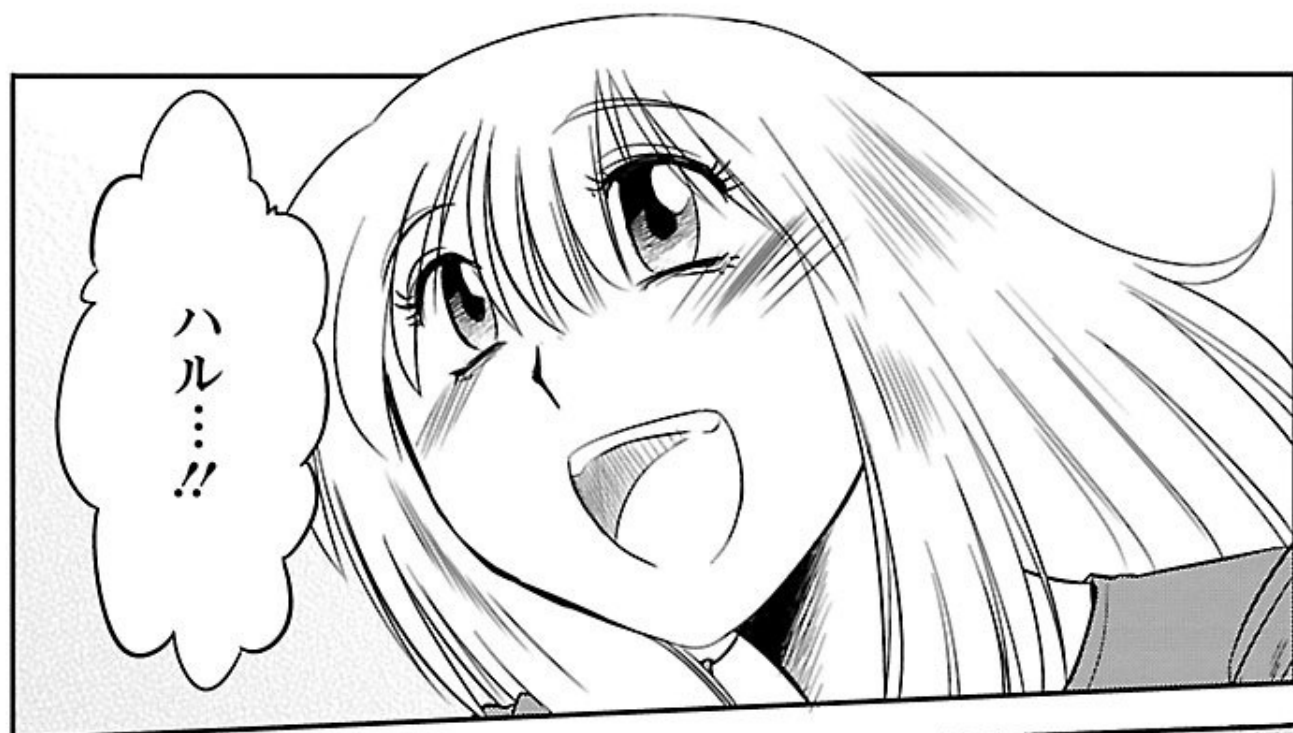
Presented by  
TSUYATSUYA



さいふ役  
写真学生マイちゃん(20)

愛機は  
P-ライ35





第39話 娘 むすめ



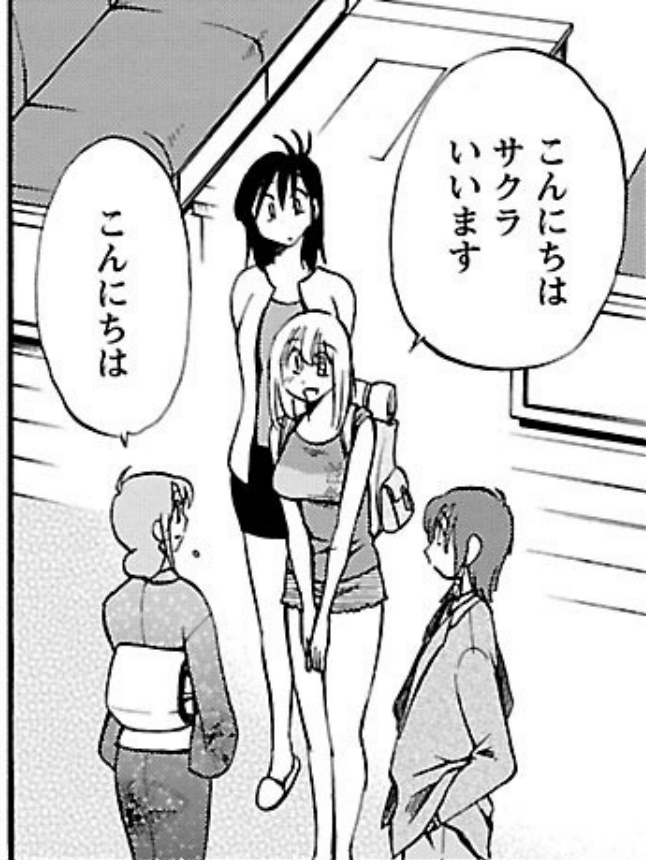




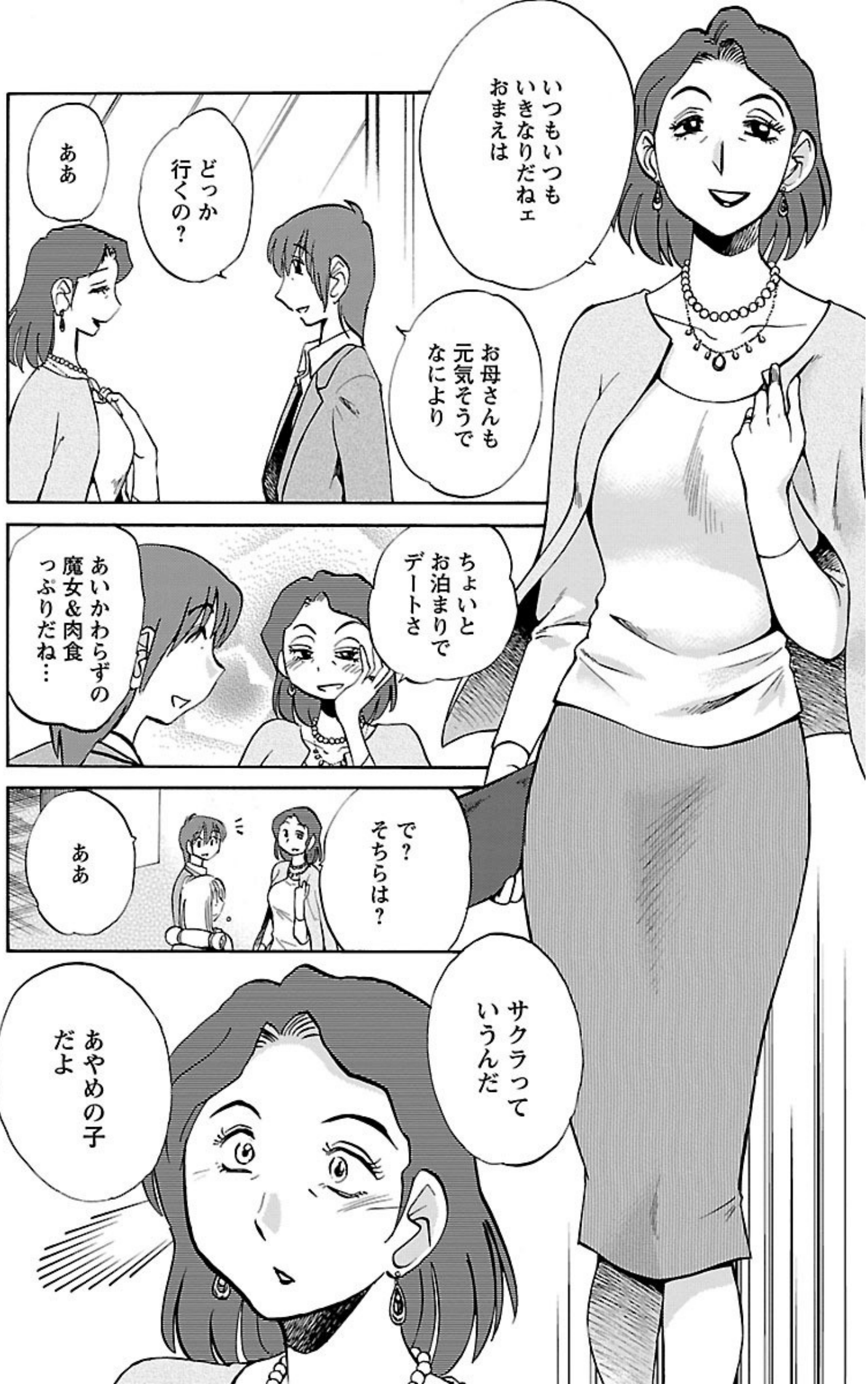












いつもいつも  
いきなりだねエ  
おまえは

お母さんも  
元気そうで  
なにより

どっか  
行くの？

ああ

ちよいと  
お泊まりで  
デートさ

あいかわらずの  
魔女&肉食  
つぶりだね…

で？  
そちらは？

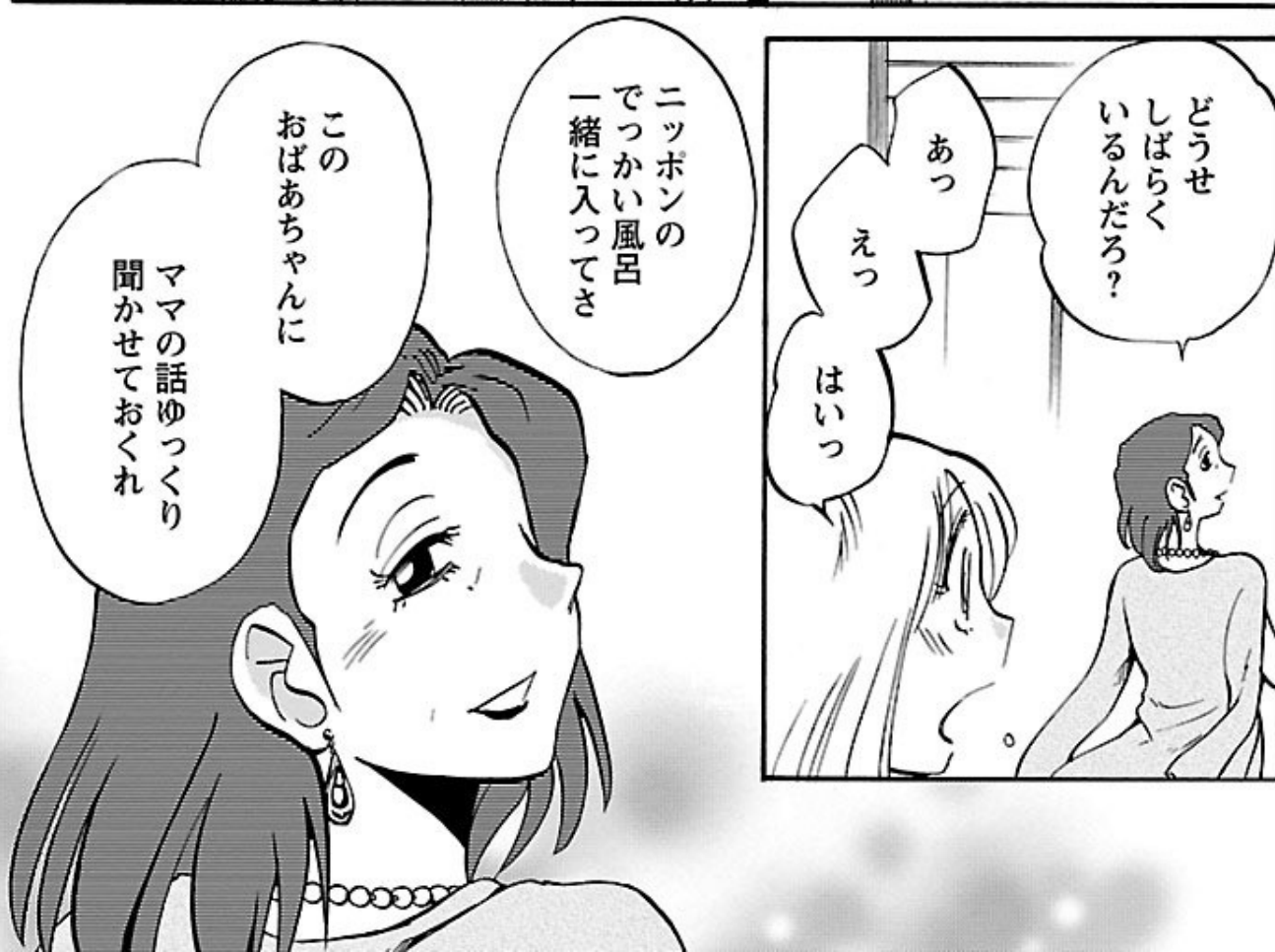
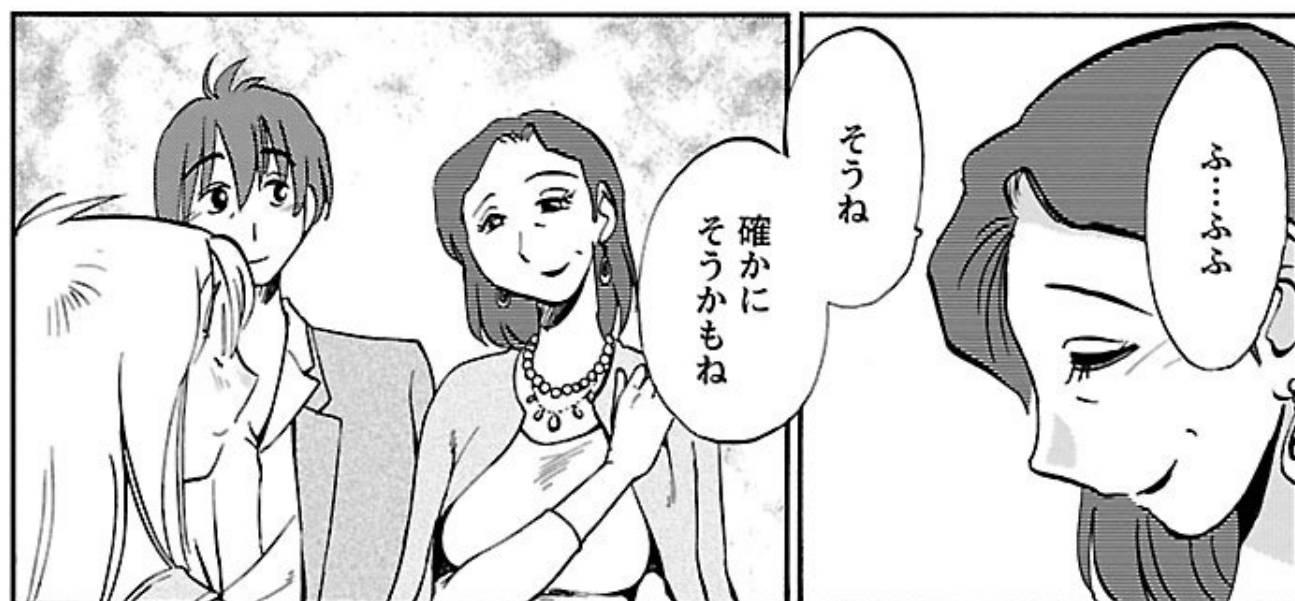
ああ

サクラって  
いうんだ

あやめの子  
だよ





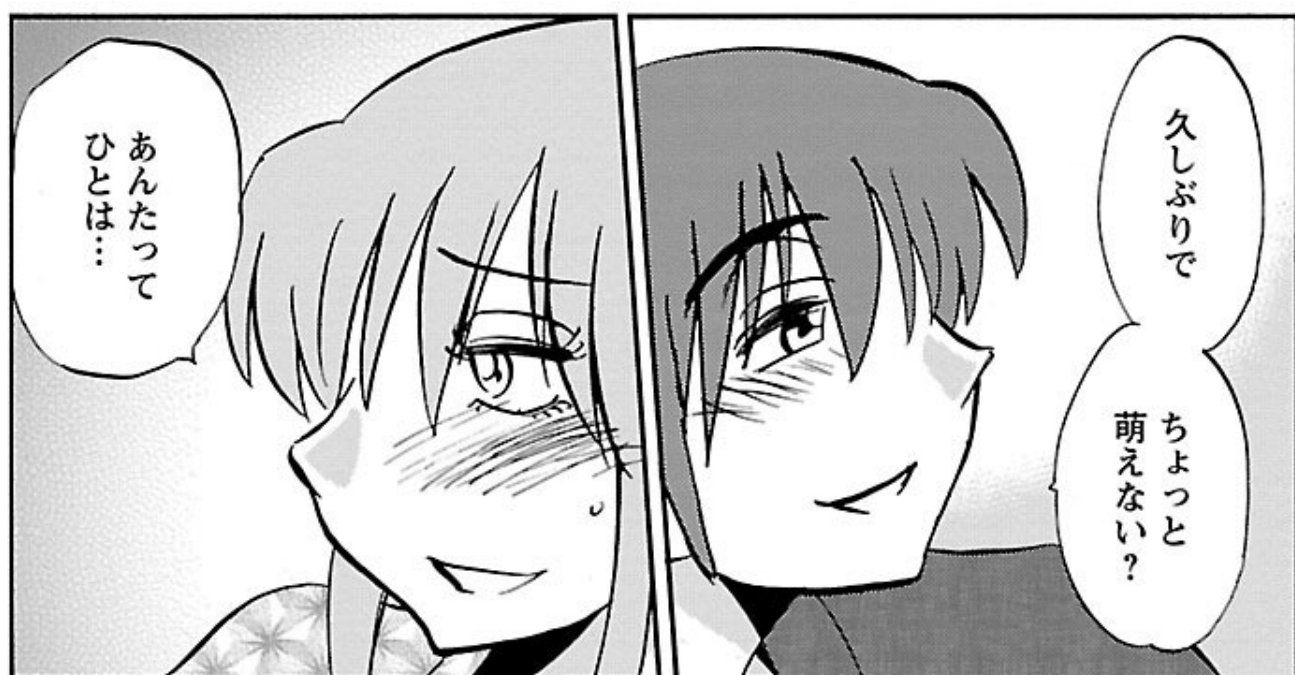
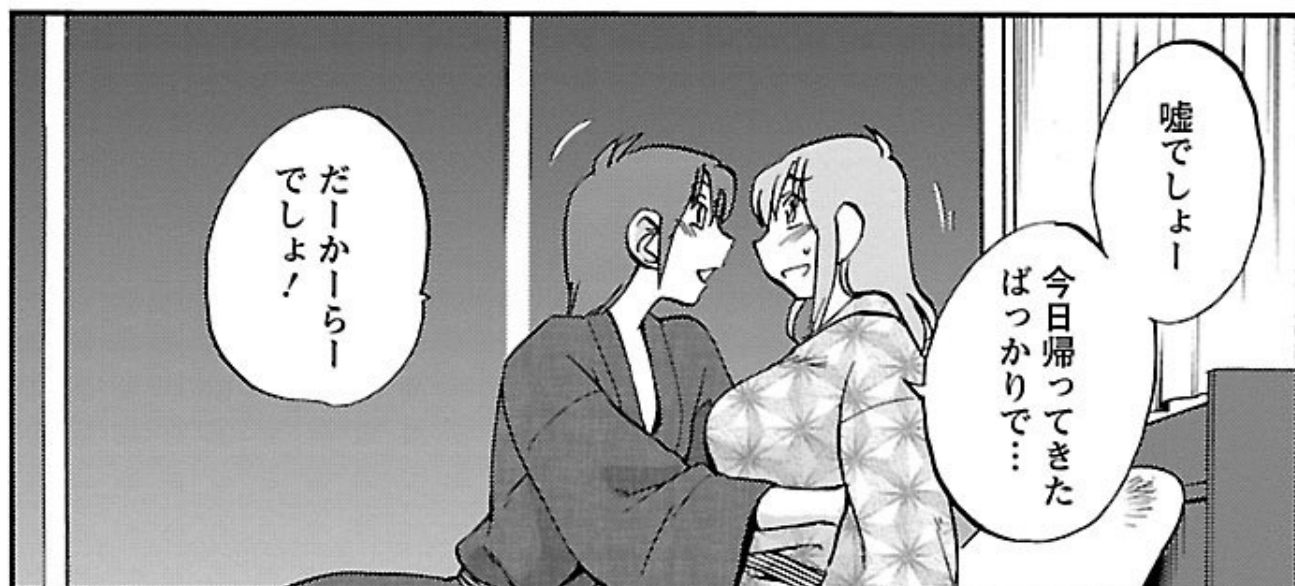


















あ

は

あ

あ

は





携帯電話も  
まだほとんど  
普及してない時代

フラフラと放浪した  
あぐく 実家へ  
連絡をしたのは  
その四ヵ月程あとだった

知らせを受けた  
母とマチコちゃんは  
すぐに二人で  
ホーチミンへ飛び

あやめと共に  
簡素な葬式を  
済ませた後

お父さんは  
現地で茶毘<sup>だび</sup>に  
付された

あやめは

そのまま  
帰ってこなかった

お父さんと  
共に世話になった  
現地の病院で

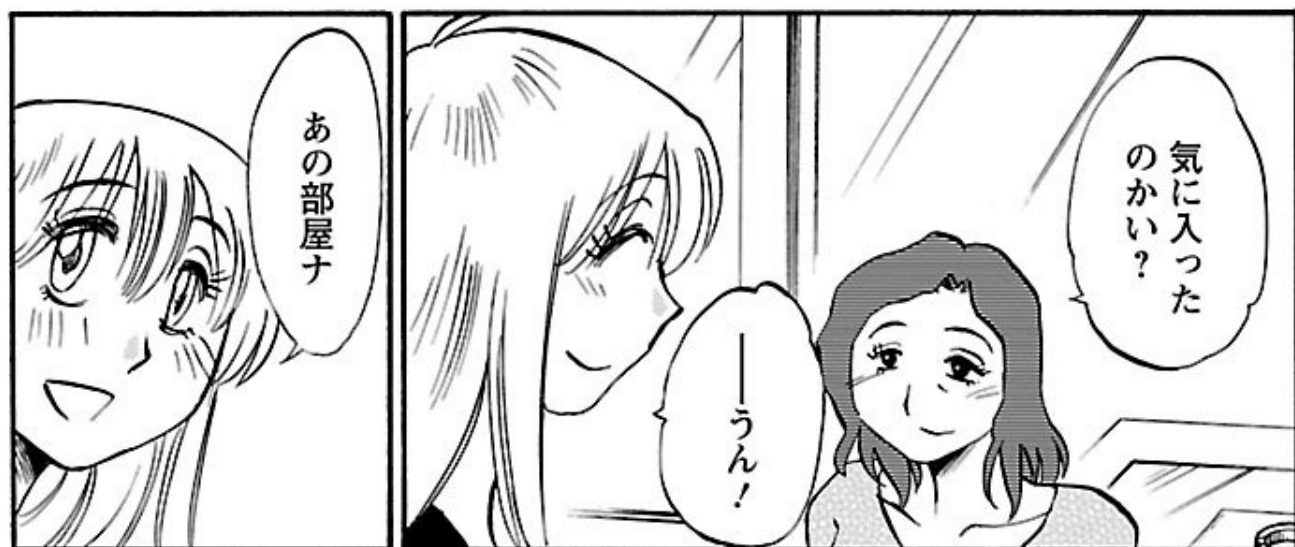
ボランティア  
スタッフとして  
働くと言って…



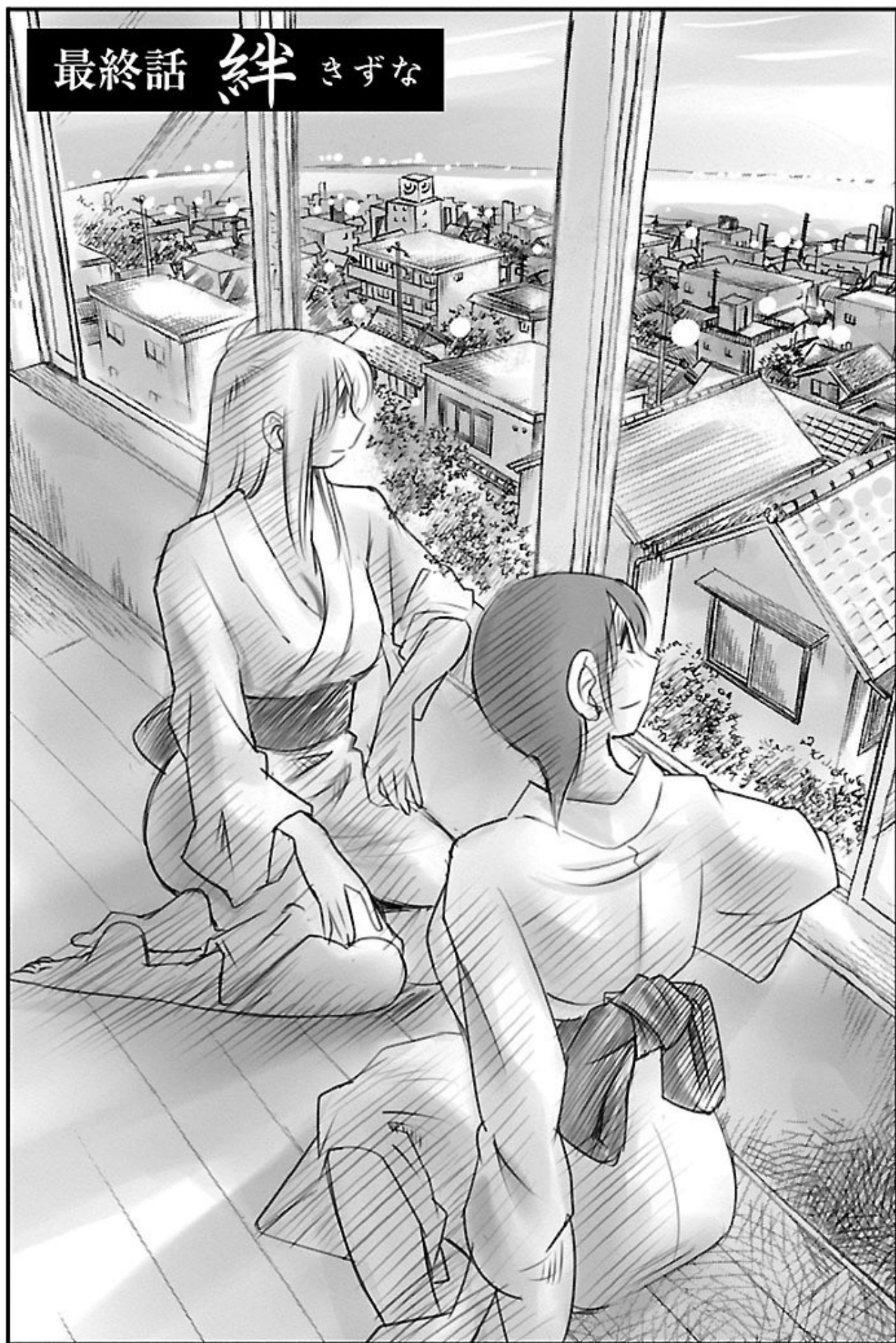








最終話 絆 きずな

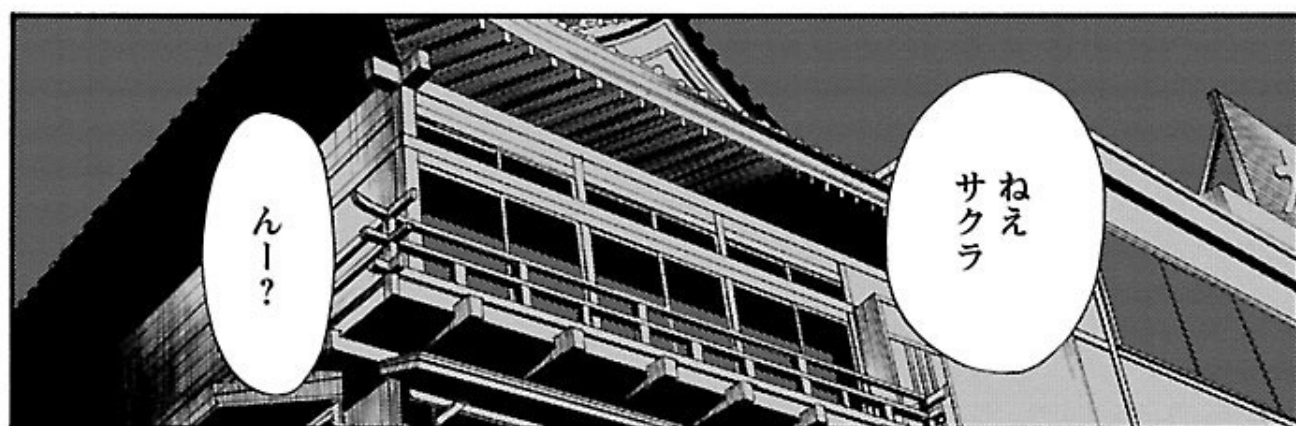




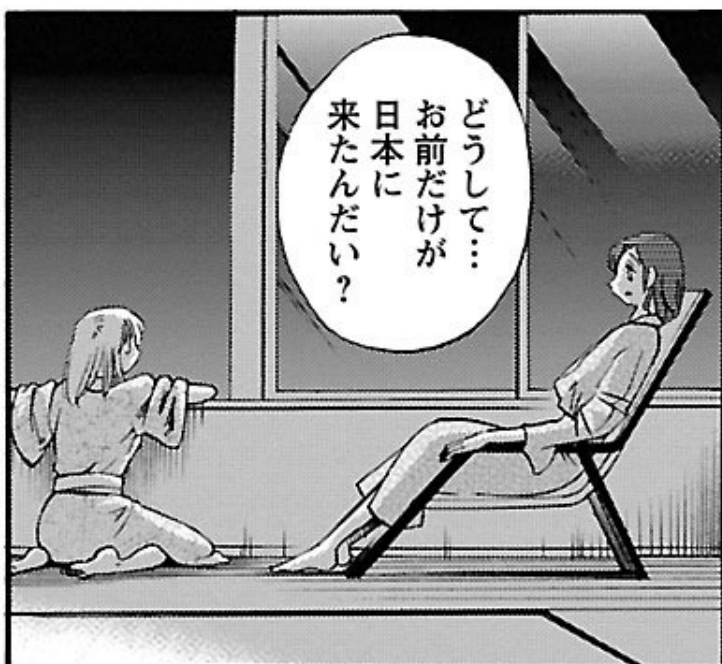


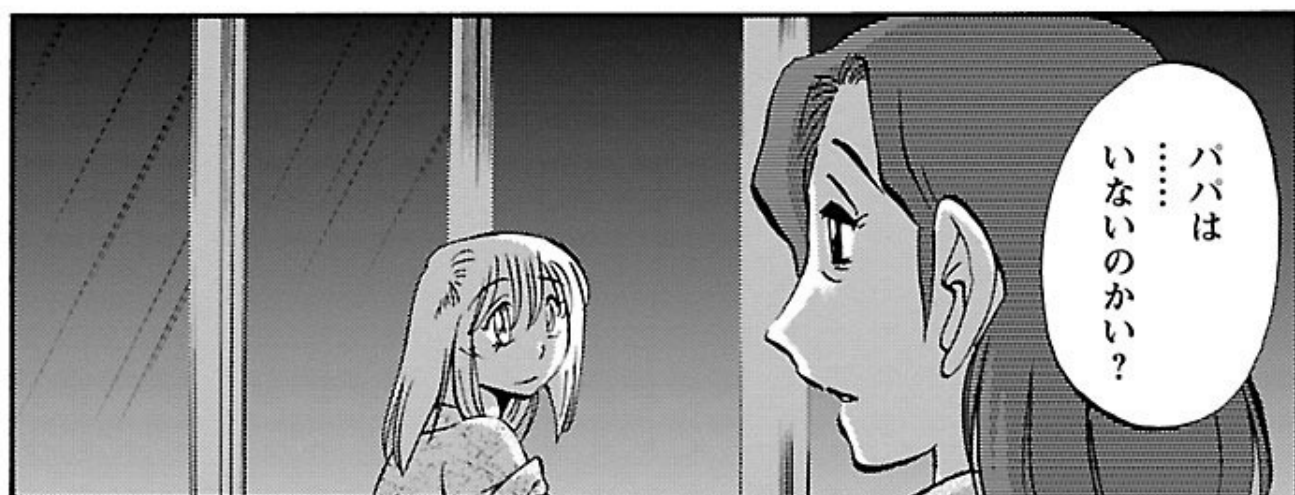


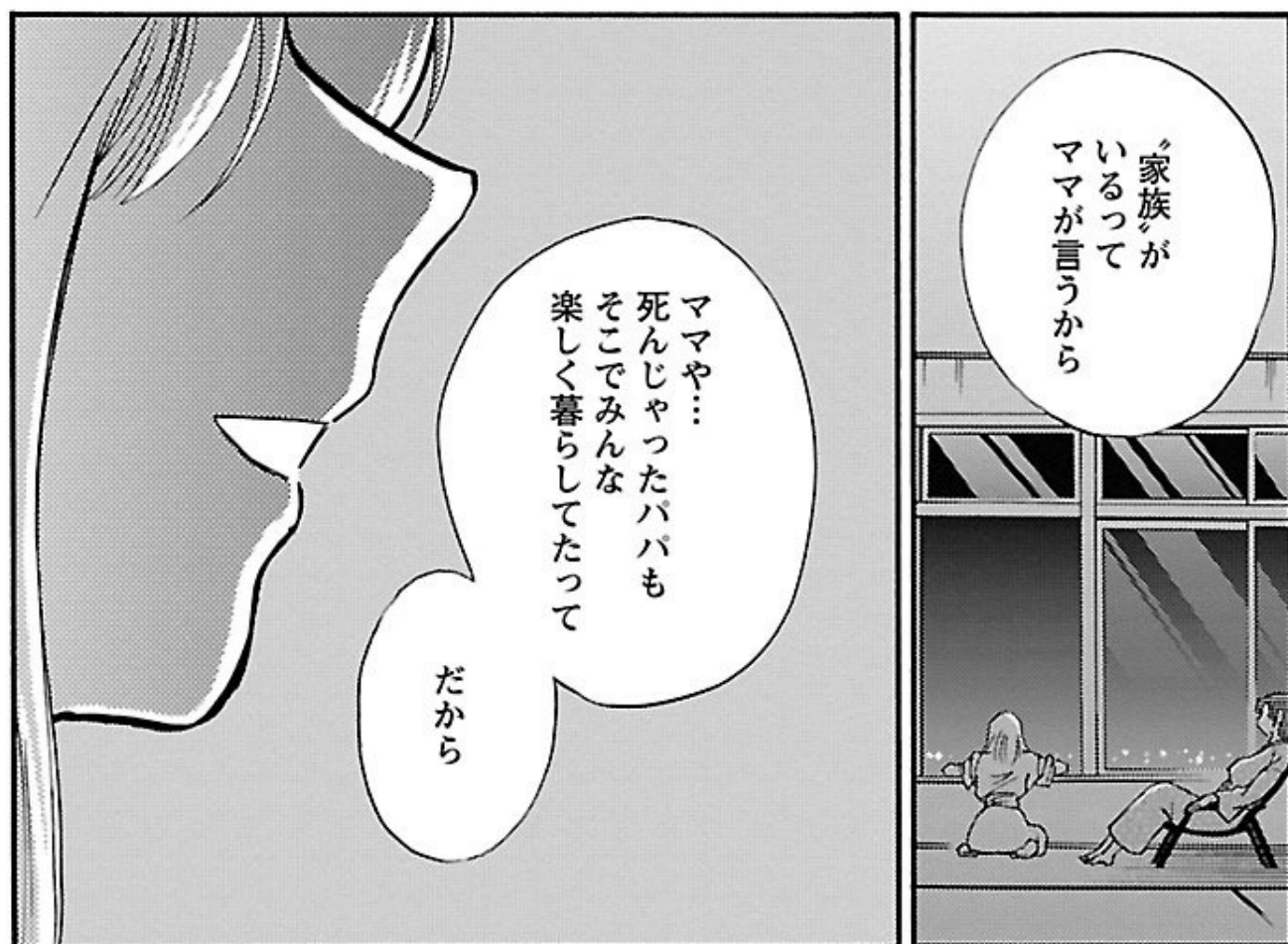
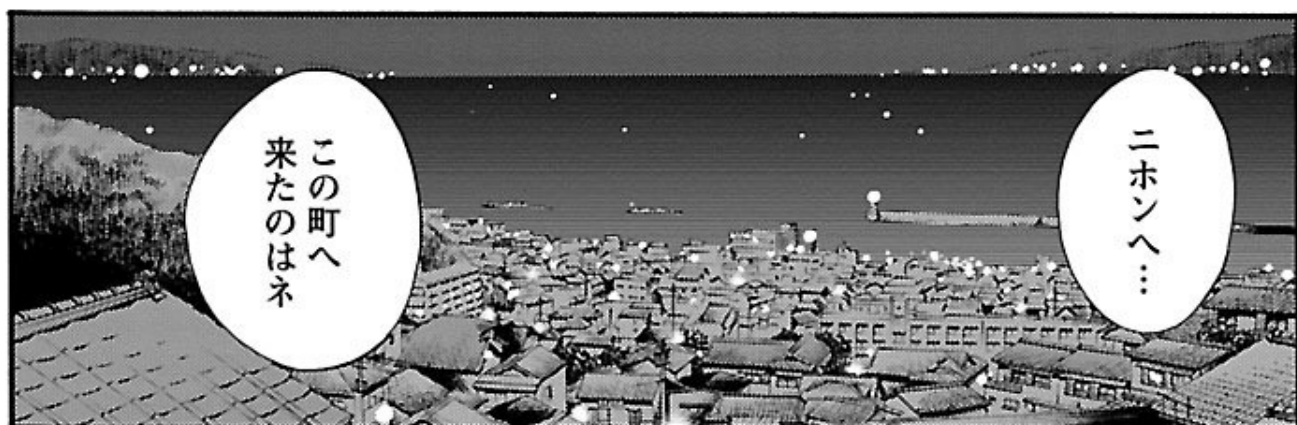
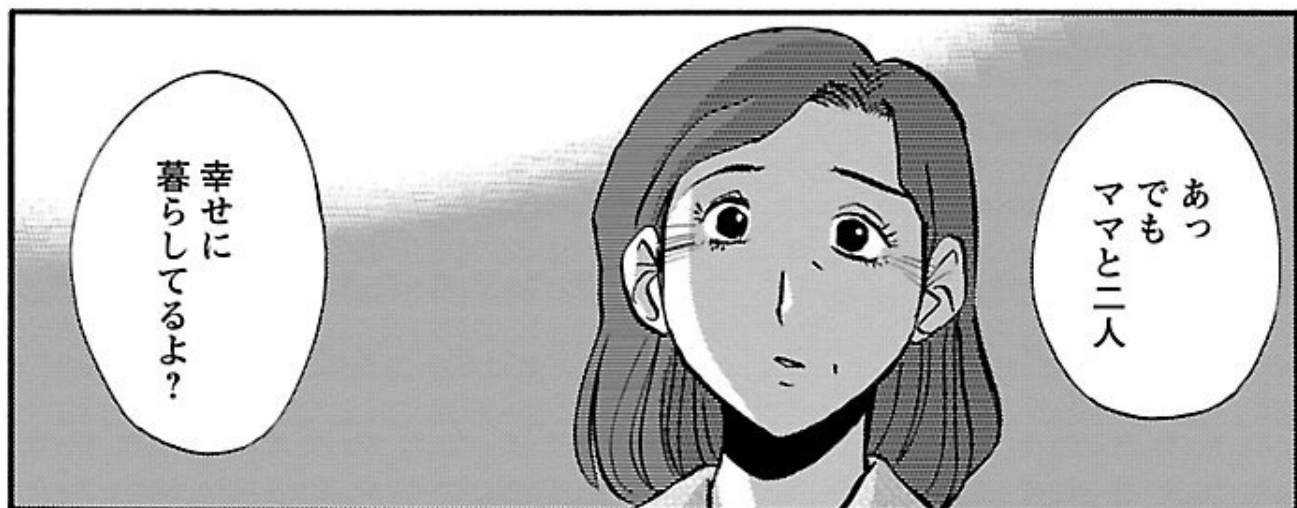




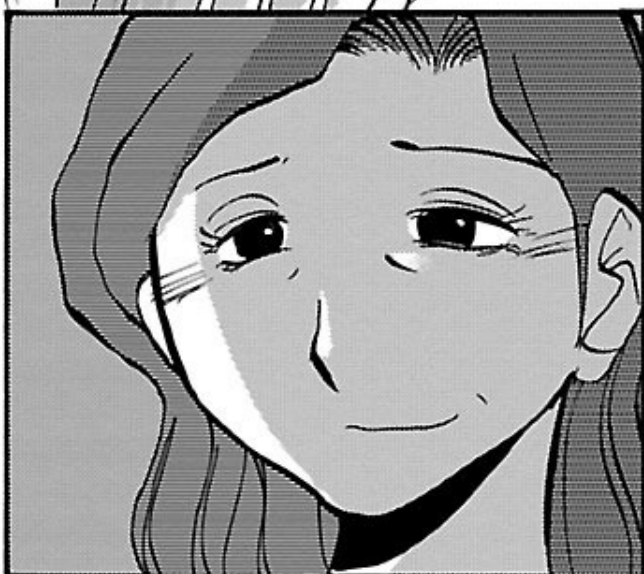










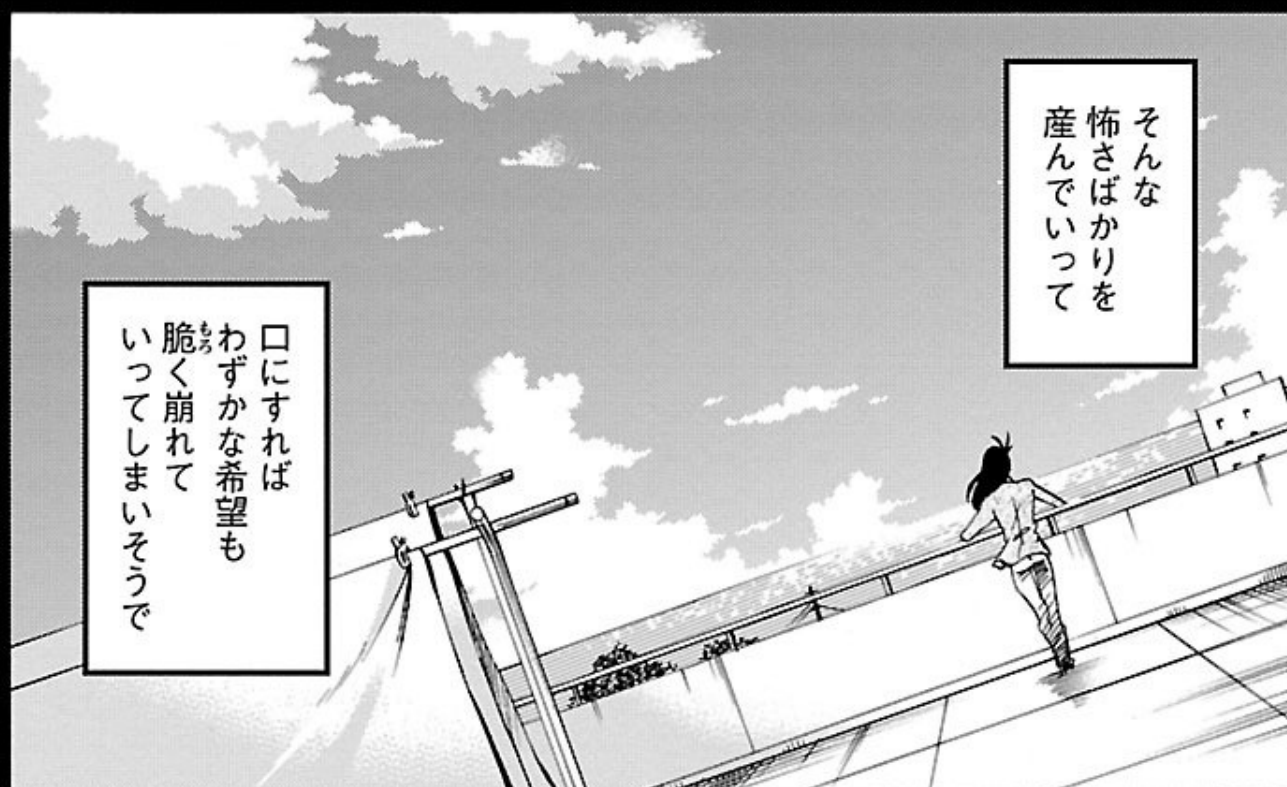


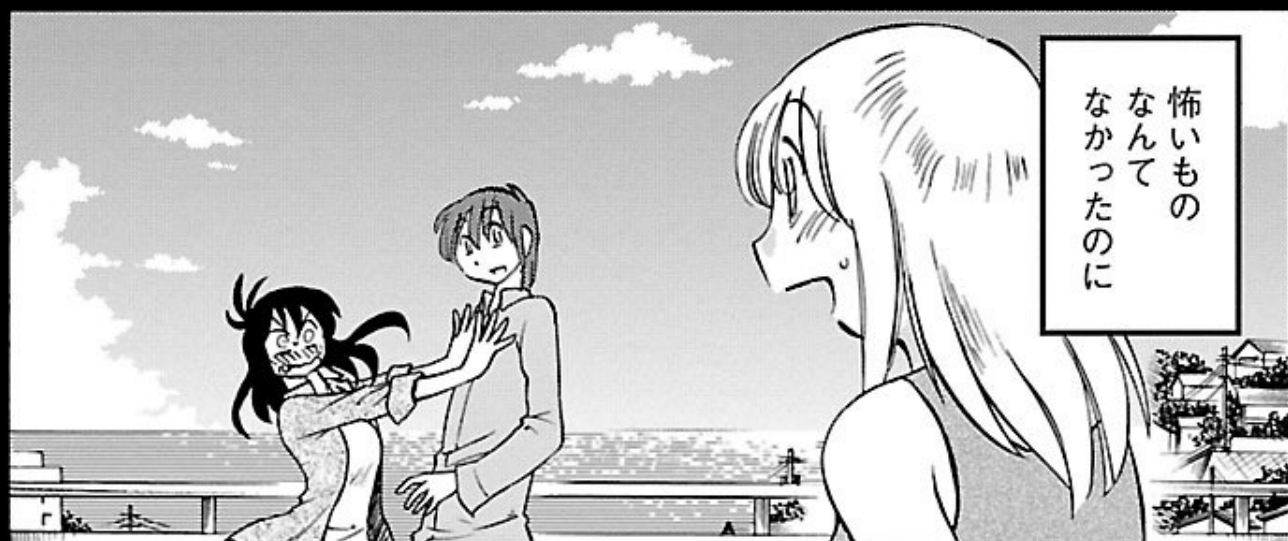












怖いもの  
なんて  
なかったのに



いつも  
あやめに  
怒られ

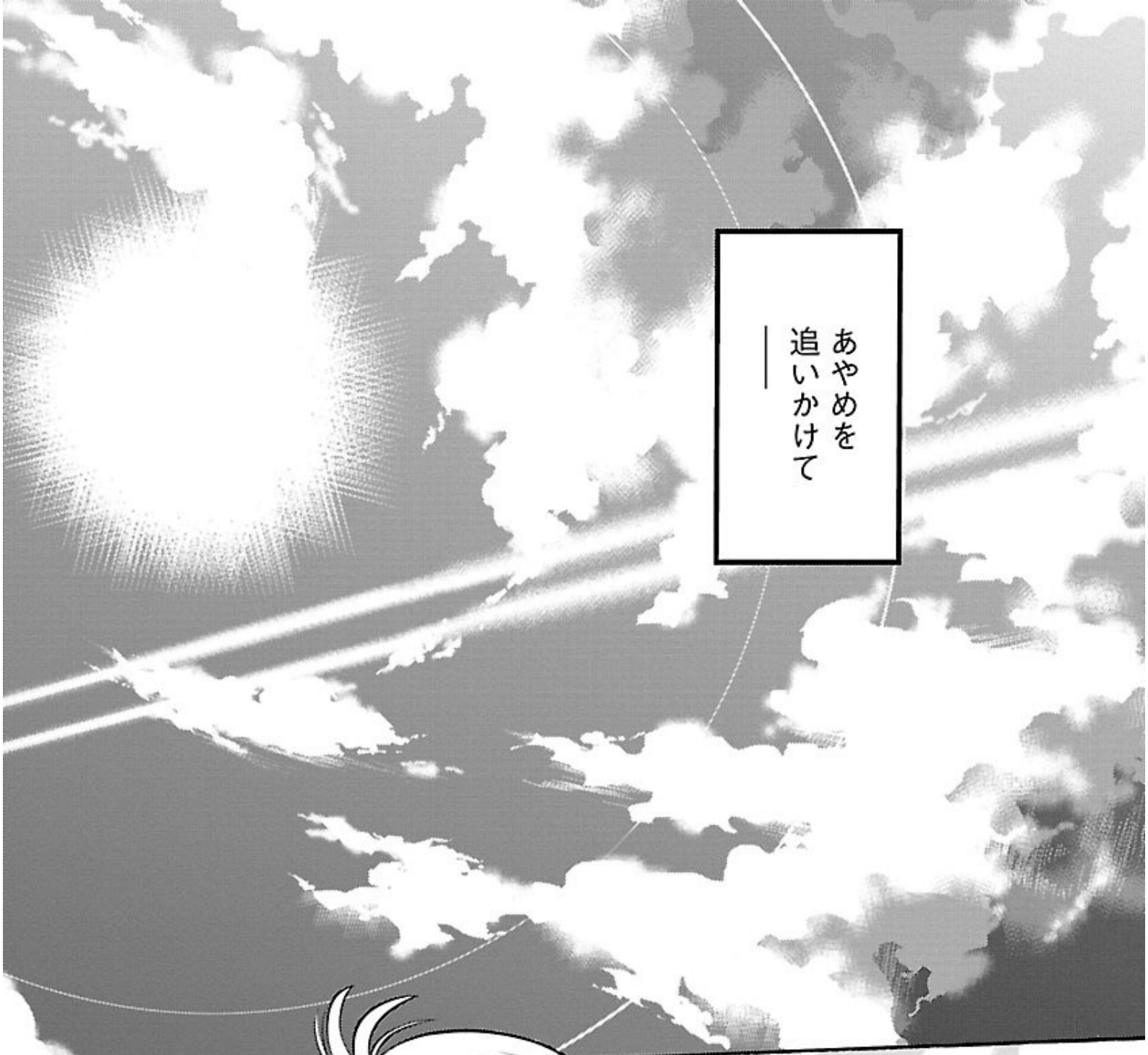
きど  
諭され



思うまま  
求めるまま

素直  
だった  
じゃないか





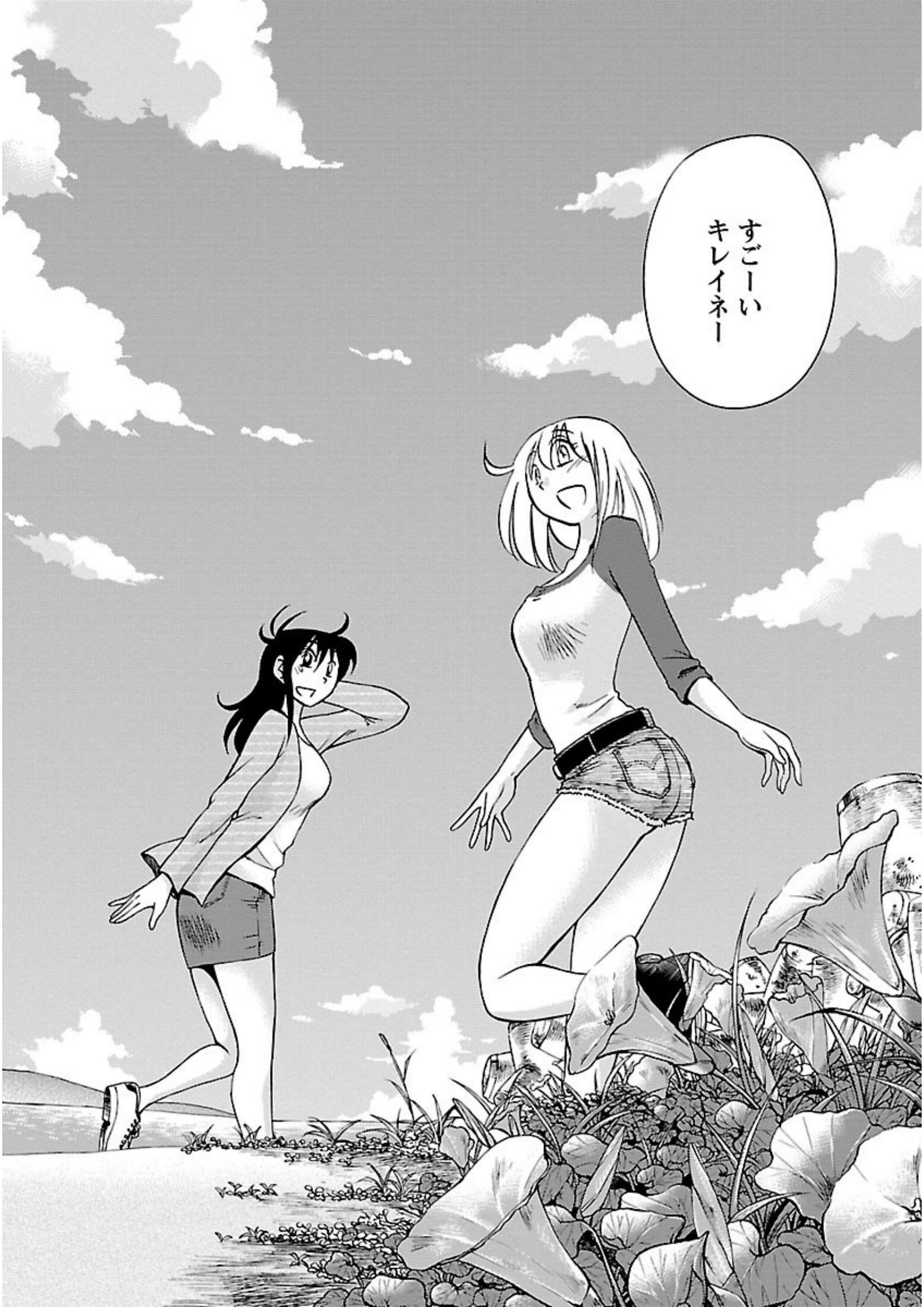
あやめを  
追いかけて



——わあ



す  
ご  
ー  
い  
キ  
レ  
イ  
ネ  
ー





この浜辺はね  
今はこんな  
だけど

お父さんたちの  
小さい頃は  
ぜーんぶ  
砂浜だったん  
だって

今は  
見るカゲも  
ないけどさ

テトラ  
だらけでね

へエー

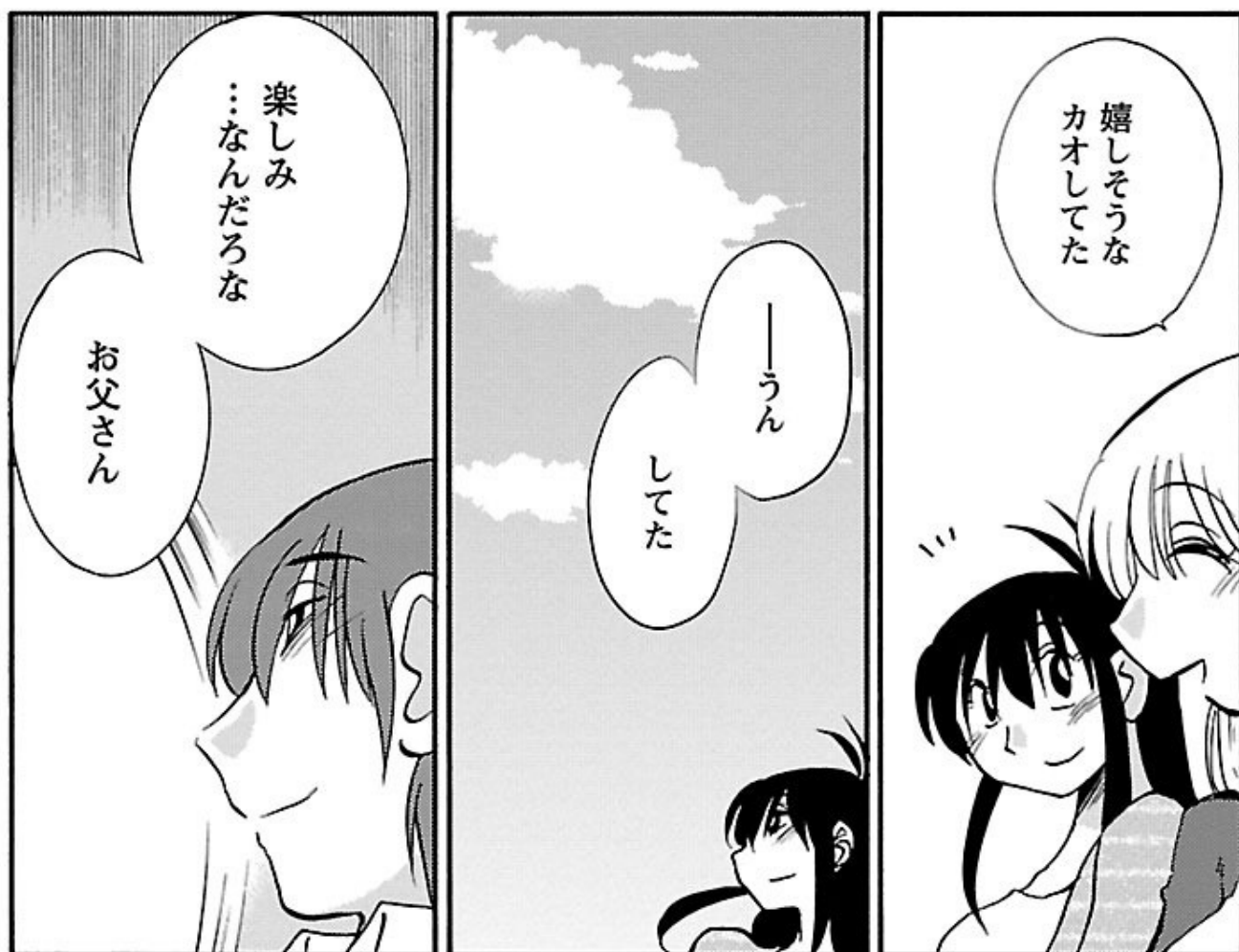
でしょー  
今いっぱい  
咲いてんだー

そういえば  
はるかパパは  
もう  
着いたかナー?

まだ  
空の上  
じゃない?

でも……  
パパ行動力  
すごいねー

ほんとにねー









『ひるがお』完

初出

アクションビザッツ 2015年2月号～9月号

# あやめ

このお話のキモになる部分として  
“ふたりの母親”という設定があります。

そもそも、相羽家に跡取りのための養子をとろうとしたとき、男の子が来るはずだったのに女の子のあやめがきてしまうところからこのややこしい関係ははじまっています。このくだりは“赤毛のアン”でアンが孤児院から男の子と間違っ て来てしまったエピソードから着想を得ました。もともとその後まだ少女だったあやめに父、清治が手を出すというクズっぷりは別ですが(笑)。

ちなみに、そんな父の言い訳というか、あやめの出自の設定ですがまず、あやめは孤児で、養護施設にいました。本人の希望もあり、やがて相羽家の養子に入ったものの、その家は右も左もわからぬ大きな旅館で、しかも手違いとはいえ望まれた男の子ではなかったことで跡取りとなることもできない。当然、そんな彼女は厄介者扱いをされることになります。しかしそんな中、清治だけはなにかと優しく構ってくれました。そんな彼にやがて父性を超えて男性としての魅力を感じるようになっていったのは、ある意味自然でもあったわけです。当然、母は忸怩たる思いだったでしょうが、それでも産まれてきた陽くんへの愛情はやがて生みの母であるあやめと同じか、それ以上のものになっていったのでした。

作中でそういった話も描きたかったのですがあやめの年齢的に・・・描けなかったですね(笑)。





連載が始まってすぐの頃、北海道をぶらりと旅しました。  
その終わりに洞爺駅で夜行列車を待っていた時のこと。  
すぐ近くの浜まで歩いて行くと、そこには海を向いたベンチがあつて  
そのまわりにはひるがおが咲き乱れてました。  
最終回のシーンはこんな場所にしようとそのときに決めました。

その場面まで描くことが出来て本当によかったです。



この作品を担当してくれた岩井さん、中村さん、金光さん、そしてデザイナー様、さらにスタジオシトミのスタッフのみんな、ありがとうございました。

隔月連載から始まって最終回まで5年あまりかかってしまいましたが  
なにより最後まで読んでくださった読者の皆様、本当にありがとうございました。  
また次回作でお会いできればと思います。

2015.8.16 盛夏に。

「ひるがお」は第1話から携わらせていただきました。建物の造りや町の様子等たくさんのものを0から作っていったというのもあって、思い入れの強い作品です。最初艶々先生から任された時は、こんなペーペーに出来る訳ないとウンウン唸りながら頭を抱えっぱなしでした。それでも、つたないながらも最後まで「ひるがお」の世界を作りあげられてよかったです。お疲れ様でした！

きっしー







ANGEL COMICS

## ひるがお ⑤

2015年10月17日第1刷発行

著者 ———— <sup>つやつや</sup>**艶々**

発行者 ———— **梓沢雅治**

発行所 ———— **株式会社エンジェル出版**

〒162-0813 東京都新宿区東五軒町3番28号  
電話 03-5261-4860（営業）

装幀 ———— **古谷昌博**（神楽坂マガジン社）

印刷所 ———— **慶昌堂印刷株式会社**

製本所 ———— **株式会社若林製本工場**

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製・転載は著作権法上での例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内での利用でも著作権法違反です。

©TSUYATSUYA 2010

ISBN978-4-87306-672-1 C9979

■この物語はフィクションです。登場人物・団体等はすべて実在のものとは関係ありません。

デジタル版 2015 年発行

製作所 デジタルカタパルト株式会社  
<http://www.digital-catapult.com>